

平成 25 年度
牧之原市 市民意識調査
～ 報告書 ～

平成 25 年 9 月
牧 之 原 市

● ● ● 目 次 ● ● ●

1 調査の概要	1
1) 調査の目的	1
2) 調査項目	1
3) 調査の設計	1
4) 回収状況	1
2 調査結果	2
1) 調査結果の要約	2
2) 調査結果の詳細	7
< 牧之原市での暮らしについて >	7
< 原子力発電について >	14
< 牧之原市が今後目指すべき姿について >	15
< 市のイメージについて >	21
< 市からの情報発信について >	23
< 公共施設について >	31
< 市の活性化について >	35
< 子育て環境について >	41
< 牧之原市の行政サービスについて >	44
< 回答者の属性 >	55
3 調査票	56

1 調査の概要

1) 調査の目的

この調査は、市の様々な取り組みに対する市民の意識を把握し、市政に反映させるとともに、平成 27 年度から実施する第 2 次総合計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査項目

- ・ 牧之原市での暮らしについて
- ・ 牧之原市が今後目指すべき姿について
- ・ 市からの情報発信について
- ・ 市の活性化について
- ・ 牧之原市の行政サービスについて
- ・ 回答者の属性
- ・ 原子力発電について
- ・ 市のイメージについて
- ・ 公共施設について
- ・ 子育て環境について
- ・ 日ごろ思うこと（自由意見）

3) 調査の設計

- ・ 調査対象：牧之原市在住（市内に住民票がある人）の 16 歳以上の男女
- ・ 調査方法：無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 調査期間：平成 25 年 7 月 12 日～平成 25 年 7 月 26 日
- ・ 発 送 数：1,393 通（1,400 人抽出のうち 転居等で 7 通は不達）

4) 回収状況

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,393 人	858 人	61.6%

抽出数は 1,400 人であるが、事前転居や宛先不明により市内に居住が認められない 7 人については対象外とした
回収数 860 人のうち無効票 2 人

◎ 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。

※百分率は小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このため、百分率の合計が 100%にならないことがある。

※1つの質問に 2 つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

2 調査結果

1) 調査結果の要約

牧之原市での暮らしについて

◆牧之原市に「住み続けたい」は約6割

今の住まいの場所での定住意向は、「住み続けたい」が59.9%で最も多く、平成21年度以降、年々減少している。

◆他の地域へ移りたい理由のトップは、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」で約7割

他の地域へ移りたい理由は、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が64.2%で最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が31.0%、「医療や介護の環境が良くないから」が27.5%、「通勤や通学などに交通面が不便だから」が26.6%の順となっている。

◆今現在、幸せだと思う人は6割以上

今現在、「幸せだと思う」（「大いに思う」＋「ある程度思う」）と回答した人は66.6%と6割以上となっており、平成23年度以降、年々減少している。一方、「幸せだと思わない」（「あまり思わない」＋「まったく思わない」）と回答した人は11.6%と、1割程度にとどまっており、幸福感は高いと思われる。

◆幸福を感じる要因は健康と家族・友人との人間関係

幸せだと思う理由は、「健康であるから」が70.6%で最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が55.3%、「住まいがあるから」が44.5%の順となっている。

原子力発電について

◆浜岡原子力発電所の今後については「停止しておいたほうがよい」が半数以上を占める

浜岡原子力発電所の今後については、「停止しておいたほうがよい」が51.3%と、過半数を占めているものの、昨年度より6.1ポイント減少している。一方、「安全が確認できれば、稼動したほうがよい」は23.3%で、昨年度よりも4.8ポイント増加している。

牧之原市が今後目指すべき姿について

◆牧之原市が今後目指すべき姿のトップは、「災害への備えが万全なまち」で6割以上を占める

牧之原市が今後目指すべき姿は、「地震・津波など災害への備えが万全なまち」が65.4%で最も多く、次いで「医療・福祉が充実したまち」が58.9%と、災害対策、医療・福祉の充実を望む人が多い。

◆重点的に取り組むべき分野のトップは、「防災・減災」で7割近くを占める

重点的に取り組むべき分野は、「防災・減災」が67.8%で最も多く、次いで「保健医療」が39.4%となっており、防災・減災への対策を望む人が突出して多い。

◆市役所の運営に求めることは、「対応の丁寧さ」と「コストの削減」

市役所の運営に求めることは、「対応の丁寧さ」が39.4%で最も多く、次いで「コストの削減」が38.2%、「職員能力の向上」が31.8%、「スピード感」が29.0%の順となっている。

市のイメージについて

◆牧之原市のイメージのトップは、「温暖な気候で生活しやすい」で6割以上を占める

牧之原市のイメージについては、「温暖な気候で生活しやすい」が63.8%で最も多く、次いで「市内に空港があり便利である」が32.8%となっており、温暖な気候をイメージしている人が突出して多い。

市からの情報発信について

◆市から得たい情報は、「健康・医療・福祉」と「防災・防犯」

市から得たい情報については、「健康・医療・福祉」が74.6%で最も多く、次いで「防災・防犯」が61.3%となっており、健康や福祉、防災・防犯への関心が高い人が多い。

◆市からの情報の入手手段は、「広報まきのはら」で8割以上を占める

市からの情報の入手手段は、「広報まきのはら」が87.3%で最も多くなっている。次いで「家族や知人」が33.9%となっており、広報まきのはらで情報を入手している人が突出して多い。

◆SNSの認知度は3割程度であるが、今後の利用意向では半数以上を占める

SNSの認知度は3割程度となっているものの、SNSによる情報配信の利用意向については、「必要があれば利用する」が42.7%と4割以上を占め、「利用したい」(10.3%)と合わせると利用意向のある人は半数以上を占める。認知度、利用意向ともに、年齢が上がるにつれて下がる傾向がみられる。

公共施設について

◆今後、新設・整備を望む公共施設は、「高齢者福祉施設」と「図書館」

今後、新設・整備を望む公共施設は、「高齢者福祉施設」が32.2%で最も多く、次いで「図書館」が30.8%、「公園」が23.1%の順となっている。

◆公共施設の統合・廃止を望まない人は7割以上を占める

公共施設の統合・廃止を望む人は3割未満となっており、その中では、「公営住宅」が最も多く、次いで「市役所」、「図書館」、「高齢者福祉施設」、「小中学校」の順となっている。

市の活性化について

◆土地利用については、「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が4割以上を占める

市の土地利用については、「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が44.1%と最も多く、次いで「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かしていない」が35.1%の順となっている。

◆市の活性化のために望む施設のトップは、「大規模商業店舗」で4割以上を占める

市の活性化のために望む施設については、「大規模商業店舗」が37.5%で最も多く、次いで「防災公園、避難タワー」が36.1%、「観光施設」が33.3%の順となっている。商業・観光等の誘客施設だけでなく、防災への関心が高いことが分かる。

◆市の活性化を望む地域は、「空港周辺」が約3割

市の活性化を望む地域については、「空港周辺」が29.3%と最も多く、次いで「両庁舎周辺の市街地」が16.2%、「相良牧之原インターチェンジ周辺」が14.6%の順となっている。

子育て環境について

◆牧之原市を、“こどもを産み育てやすい環境だと思う”人は約3割

子育て環境について、「(産み育てやすいと)ある程度思う」が27.5%で最も多く、「大いに思う」(2.4%)と合わせると、“こどもを産み育てやすい環境だと思う”が約3割を占める。

◆こどもを産み育てやすいと思わない理由のトップは、「医療機関の少なさ」

こどもを産み育てやすい環境だと思わない理由については、「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」が77.4%で最も多く、次いで「医療費が無料でないため」が42.4%、「親子で遊べる施設や、公園が少ないため」が36.2%の順となっている。

牧之原市の行政サービスについて

◆みんなが主役 想いが実現するまち◆

「行政改革の取り組み」の満足度が最も低い

『広報紙などによる十分な情報発信』を除く全項目で、満足度の評価【-2点から2点の相対評価】はマイナス値となっている。特に、『行政改革の取り組み』の満足度の評価点は-0.54点で最も低い。

一方、重要度の評価点は0.67点と『広報紙などによる十分な情報発信』に次いで2番目に高く、この分野では最も改善が必要なものとなっている。

◆支えあい学びあう幸せのまち◆

「救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制」は重要度が最も高く、満足度は低い

『こども医療費制度』、『幼稚園・保育園の整備』、『小・中学校施設の整備』を含む9項目において、比較的満足度も重要度も評価点が高くなっている。一方、『救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』は重要度の評価点が1.16点と全項目中最も高い。また、満足度の評価点は-0.53点となっており、この分野では最も改善が必要なものとなっている。

◆知恵や技術を活かした活力あるまちづくり◆

すべての項目で満足度がマイナス評価、重要度がプラス評価

すべての項目で満足度の評価点がマイナス値で、重要度の評価点はプラス値となっている。特に、『空港を活用するための取り組み』は、満足度の評価点が-0.75点と低く、重要度の評価点は0.76点で最も高くなっている。

◆うみ・そら・みどりと共生するまち◆

生活環境対策・消防体制・上水道施設に関する取り組みの満足度が高く、 震災対策・公共交通に関する取り組みの満足度は低い

『生活環境対策などへの取り組み』、『消防体制の整備への取り組み』、『上水道施設整備の取り組み』が、満足度も重要度も高くなっている。しかし、その他の項目の重要度の評価点はいずれも高いものの、満足度の評価点は低くなっており、特に『震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』では、満足度の評価点が-0.67点と低く、重要度の評価点は1.16点で全項目中最も高い。

～ すべての取り組みの満足度・重要度の評価点順位 ～

■■■ 満足度 ■■■

■■■ 重要度 ■■■

順位	取り組み	分野	25年度 (A)	24年度 (B)	差 (A)-(B)	順位	取り組み	分野	25年度 (A)	24年度 (B)	差 (A)-(B)
1	学校や地域で子どもを守る取り組み		0.48	0.59	-0.11	1	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制		1.16	1.12	0.04
2	こども医療費制度		0.43	0.29	0.14	2	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	■	1.16	1.12	0.04
3	教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供		0.33	0.37	-0.04	3	自主防災組織の強化のための取り組み	■	1.12	1.08	0.04
4	幼稚園・保育園の整備		0.33	0.34	-0.01	4	こども医療費制度		1.11	1.08	0.03
5	市の情報や取り組みについて、広報紙などによる十分な情報発信	■	0.29	0.10	0.19	5	生活環境対策などへの取り組み	■	1.07	1.03	0.04
6	小・中学校施設の整備		0.25	0.29	-0.04	6	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	■	1.05	0.96	0.09
7	健康相談などの日常的な保健活動		0.19	0.21	-0.02	7	学校や地域で子どもを守る取り組み		1.01	0.97	0.04
8	健康づくりサービスの推進		0.14	0.19	-0.05	8	幼稚園・保育園の整備		1.00	0.99	0.01
9	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	■	0.13	0.01	0.12	9	小・中学校施設の整備		0.99	1.00	-0.01
10	子育て支援の取り組み		0.11	0.06	0.05	10	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	■	0.95	0.89	0.06
11	上水道施設整備の取り組み	■	0.05	0.03	0.02	11	子育て支援の取り組み		0.93	0.94	-0.01
12	生活環境対策などへの取り組み	■	0.03	0.14	-0.11	12	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	■	0.88	0.86	0.02
13	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.01	-0.04	0.05	13	福祉施設などの整備	■	0.87	0.87	0.00
14	地区公民館などの活動拠点の施設整備	■	-0.01	-0.03	0.02	14	道路交通の安全対策	■	0.84	0.85	-0.01
15	文化や歴史の活用などの取り組み		-0.03	-0.07	0.04	15	健康づくりサービスの推進		0.83	0.75	0.08
16	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み		-0.04	-0.11	0.07	16	公害防止対策への取り組み	■	0.82	0.64	0.18
17	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	■	-0.05	-	-	17	高齢者への福祉サービスの取り組み		0.82	0.88	-0.06
18	障がい者への福祉サービスの取り組み		-0.09	-0.04	-0.05	18	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	■	0.81	0.76	0.05
19	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	■	-0.12	-0.06	-0.06	19	市の情報や取り組みについて、広報紙などによる十分な情報発信	■	0.79	0.72	0.07
20	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	■	-0.16	-0.21	0.05	20	障がい者への福祉サービスの取り組み		0.77	0.80	-0.03
21	茶業安定の取り組み	■	-0.19	-0.11	-0.08	21	空港を活用するための取り組みの推進	■	0.76	0.54	0.22
22	各種イベントの開催	■	-0.19	-0.37	0.18	22	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み		0.75	0.73	0.02
23	自主防災組織の強化のための取り組み	■	-0.20	-0.08	-0.12	23	茶業安定の取り組み		0.75	0.57	0.18
24	公共スポーツ施設の整備	■	-0.22	-0.20	-0.02	24	企業誘致の取り組み	■	0.72	0.77	-0.05
25	公害防止対策への取り組み	■	-0.24	-0.33	0.09	25	道路や河川の補修や道路や河川の整備	■	0.71	0.74	-0.03
26	自然環境の保全への取り組み	■	-0.25	-0.32	0.07	26	上水道施設整備の取り組み	■	0.71	0.73	-0.02
27	特産品の消費推進の取り組み	■	-0.27	-0.30	0.03	27	特産品の消費推進の取り組み	■	0.70	0.66	0.04
28	福祉施設などの整備	■	-0.28	-0.36	0.08	28	自然環境の保全への取り組み	■	0.68	0.57	0.11
29	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	■	-0.35	-0.32	-0.03	29	健康相談などの日常的な保健活動		0.68	0.70	-0.02
30	NPOの育成・支援など、ボランティア活動に参加できる仕組み整備	■	-0.36	-	-	30	行政改革の取り組み		0.67	0.65	0.02
31	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	■	-0.37	-0.28	-0.09	31	公共交通の充実	■	0.65	0.57	0.08
32	情報通信技術（IT）の環境整備の取り組み	■	-0.38	-0.42	0.04	32	商工業の振興施策の取り組み	■	0.60	0.51	0.09
33	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	■	-0.40	-0.27	-0.13	33	商店街の魅力向上の取り組み	■	0.59	0.52	0.07
34	公園・緑地の管理や整備の取り組み	■	-0.43	-0.29	-0.14	34	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	■	0.58	0.42	0.16
35	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	■	-0.46	-0.54	0.08	35	計画的な土地利用の推進	■	0.55	-	-
36	道路や河川の補修や道路や河川の整備	■	-0.50	-0.46	-0.04	36	起業支援、産業雇用支援の取り組み	■	0.54	-	-
37	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	■	-0.53	-0.60	0.07	37	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	■	0.52	0.42	0.10
38	行政改革の取り組み	■	-0.54	-0.55	0.01	38	農漁業の担い手への支援の取り組み	■	0.48	0.40	0.08
39	音楽や演劇などの接する機会の提供	■	-0.56	-0.45	-0.11	39	公園・緑地の管理や整備の取り組み	■	0.47	0.42	0.05
40	道路交通の安全対策	■	-0.59	-0.45	-0.14	40	地区公民館などの活動拠点の施設整備	■	0.45	0.48	-0.03
41	観光誘客促進のための取り組み	■	-0.60	-0.73	0.13	41	観光誘客促進のための取り組み	■	0.45	0.47	-0.02
42	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	■	-0.60	-0.78	0.18	42	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	■	0.45	0.44	0.01
43	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	■	-0.60	-0.58	-0.02	43	教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供	■	0.44	0.32	0.12
44	計画的な土地利用の推進	■	-0.64	-	-	44	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	■	0.44	0.39	0.05
45	商工業の振興施策の取り組み	■	-0.66	-0.55	-0.11	45	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	■	0.40	0.48	-0.08
46	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	■	-0.67	-0.71	0.04	46	情報通信技術（IT）の環境整備の取り組み	■	0.37	0.45	-0.08
47	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	■	-0.74	-0.56	-0.18	47	文化や歴史の活用などの取り組み	■	0.33	0.13	0.20
48	空港を活用するための取り組みの推進	■	-0.75	-0.66	-0.09	48	公共スポーツ施設の整備	■	0.31	0.33	-0.02
49	起業支援、産業雇用支援の取り組み	■	-0.81	-	-	49	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	■	0.31	0.42	-0.11
50	農漁業の担い手への支援の取り組み	■	-0.81	-0.81	0.00	50	各種イベントの開催	■	0.24	0.17	0.07
51	公共交通の充実	■	-0.83	-0.71	-0.12	51	NPOの育成・支援など、ボランティア活動に参加できる仕組み整備	■	0.20	-	-
52	商店街の魅力向上の取り組み	■	-0.85	-0.79	-0.06	52	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	■	0.15	0.12	0.03
53	企業誘致の取り組み	■	-0.93	-0.93	0.00	53	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	■	0.12	-	-
54	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	■	-1.03	-1.03	0.00	54	音楽や演劇などの接する機会の提供	■	0.02	-0.04	0.06

※「姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み」、「NPOの育成・支援など、ボランティア活動に参加できる仕組み整備」、「計画的な土地利用の推進」、「起業支援、産業雇用支援の取り組み」は、今年度新たに追加された項目

* 分野の凡例

■ みんなが主役 想いが実現するまち

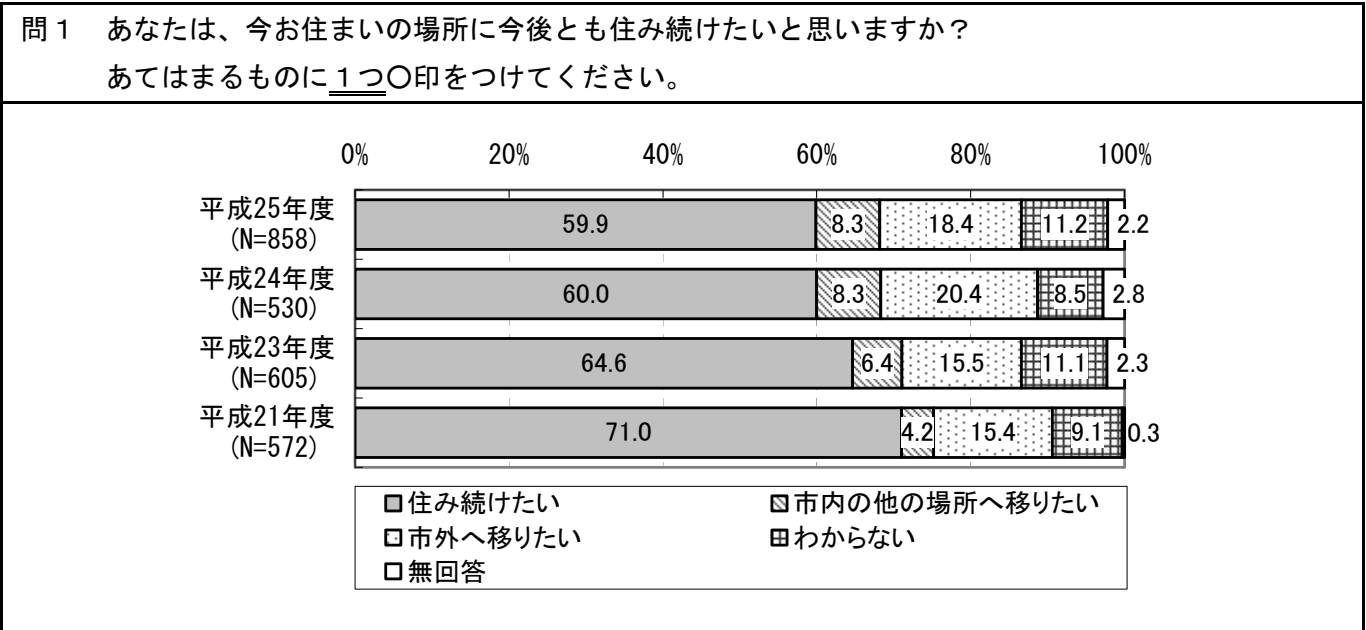
■ 支えあい学びあう幸せのまち

■ 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり

■ うみ・そら・みどりと共生するまち

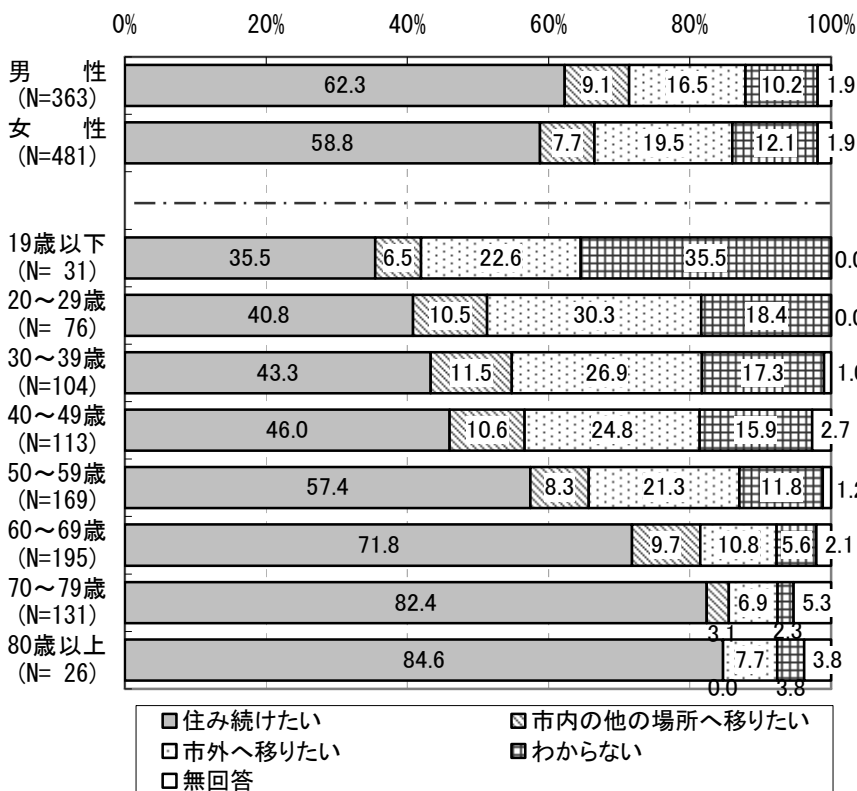
2) 調査結果の詳細

<牧之原市での暮らしについて>



現在の住まいの場所での定住意向については、「住み続けたい」が59.9%で、最も高い。「市外へ移りたい」が昨年度より2.0ポイント低くなっているものの、「住み続けたい」は昨年度より低く、平成21年度以降、年々減少している。

クロス集計



【性別】

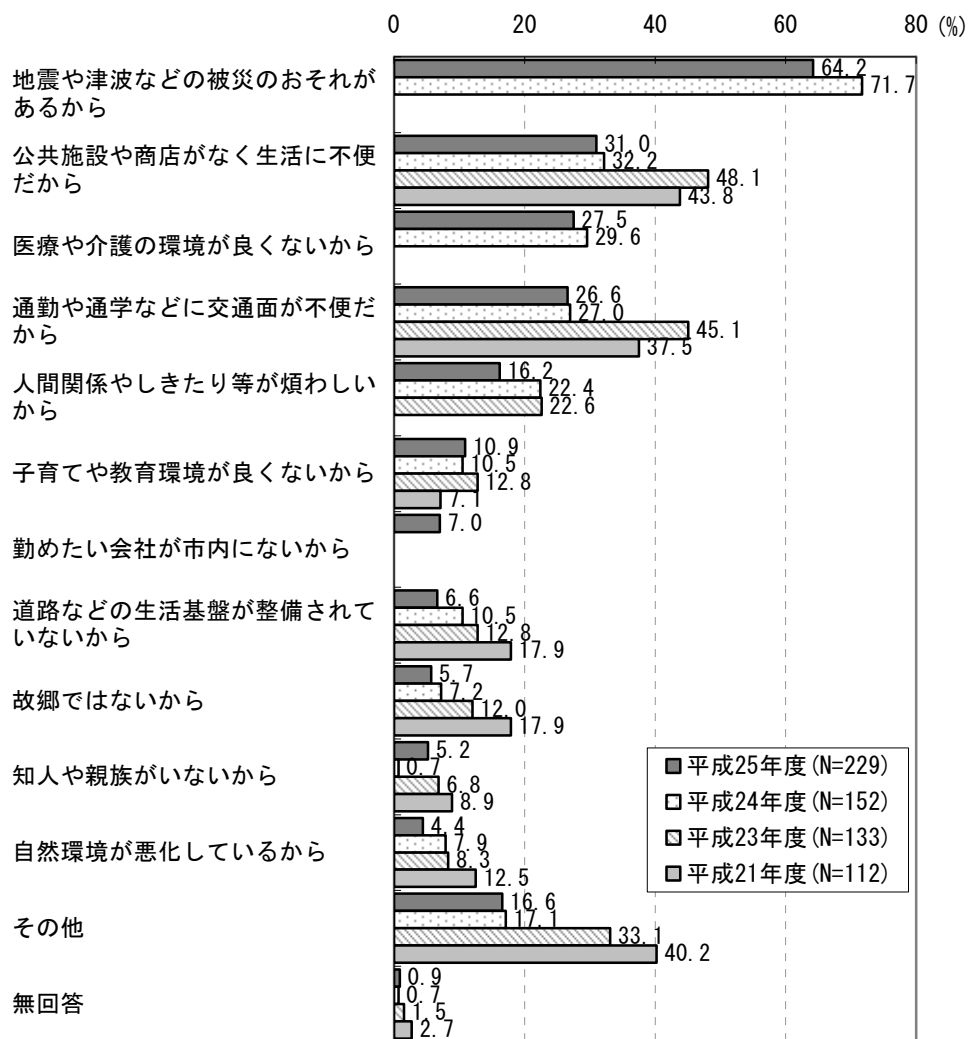
女性において「市外へ移りたい」が19.5%と、男性を3.0ポイント上回っている。

【年代別】

年代が上がるにつれて「住み続けたい」が多く、特に60歳以上においては7割を超えている。一方、60歳未満では「市外へ移りたい」が2割以上を占め、特に20歳代では30.3%と、概ね3人に1人は市外への転出意向がみられる。

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きます。)

問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



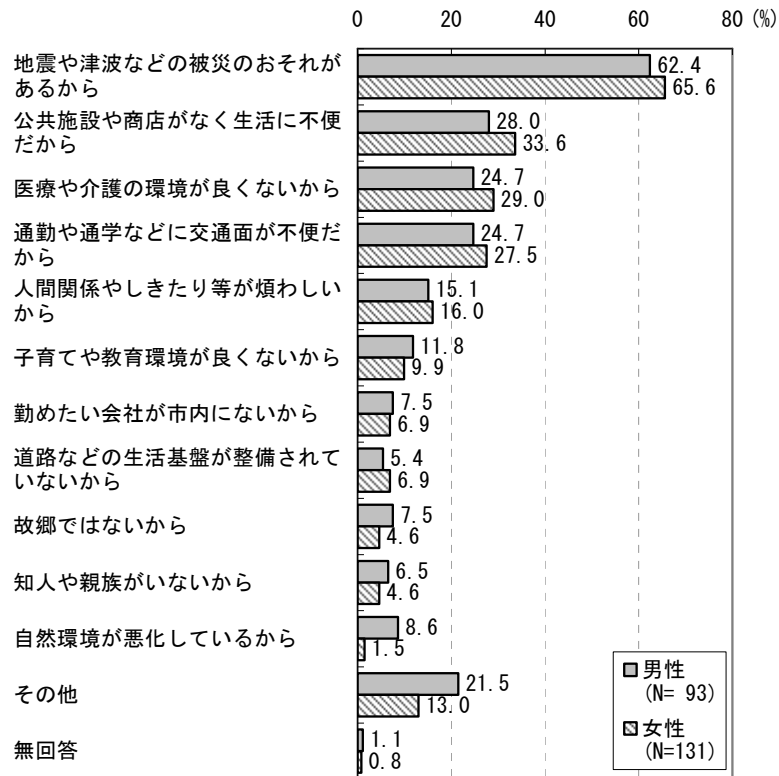
※「地震や津波などの被災のおそれがあるから」は、平成24年度より追加された項目

※「勤めたい会社が市内にないから」は、平成25年度より追加された項目

問1で「市内の他の場所へ移りたい」または「市外へ移りたい」と回答した229人に他の地域へ移りたい理由についてうかがったところ、「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が64.2%と最も多く、次いで「公共施設や商店がなく生活に不便だから」が31.0%、「医療や介護の環境が良くないから」が27.5%などとなっている。

また、新たに追加された「勤めたい会社が市内にないから」は7.0%と1割近くを占めている。

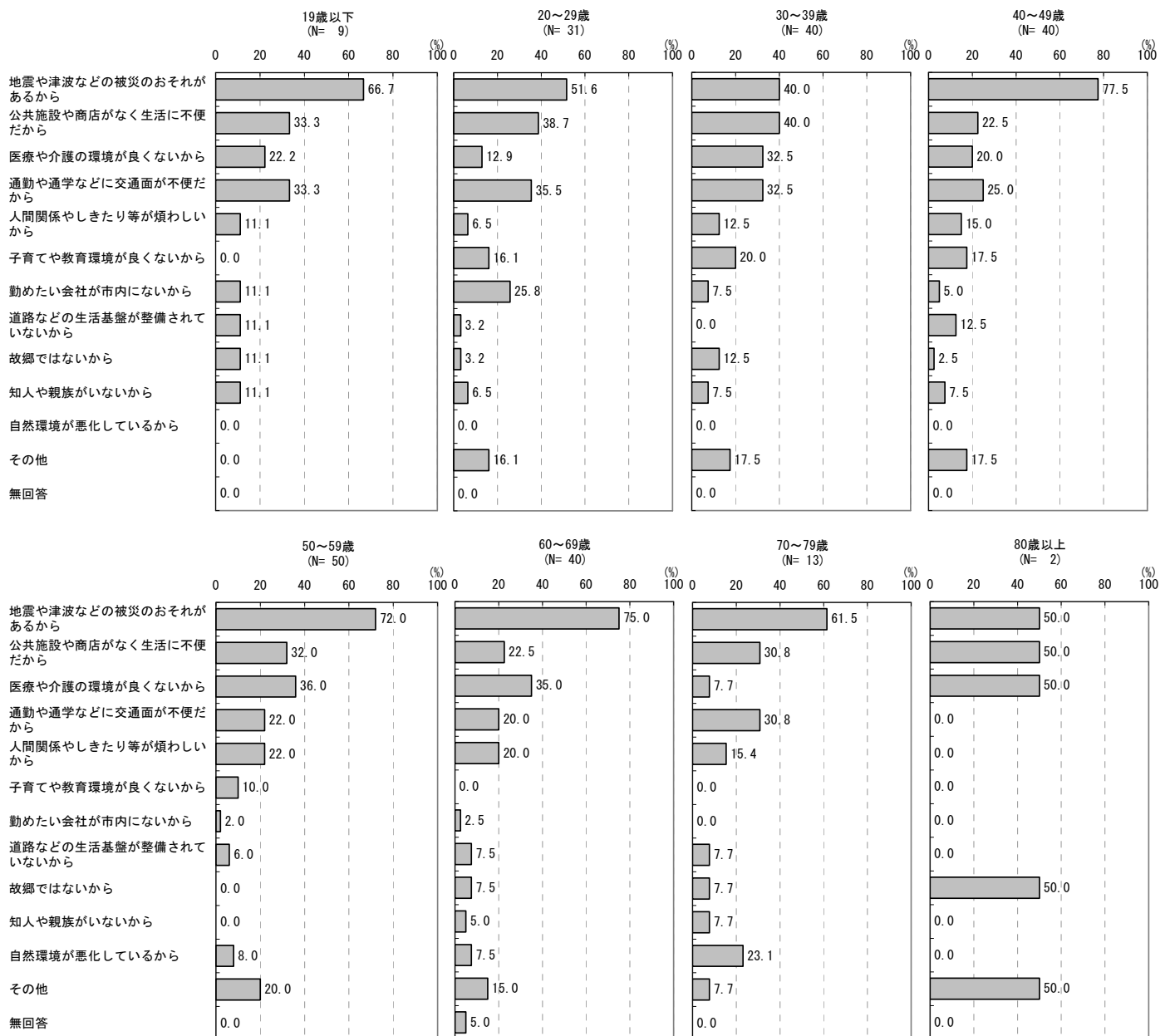
クロス集計



【性別】

ほとんどの項目において、男性に比べて女性の割合が高く、特に「公共施設や商店がなく生活に不便だから」では33.6%と、男性を5.6ポイント上回っている。

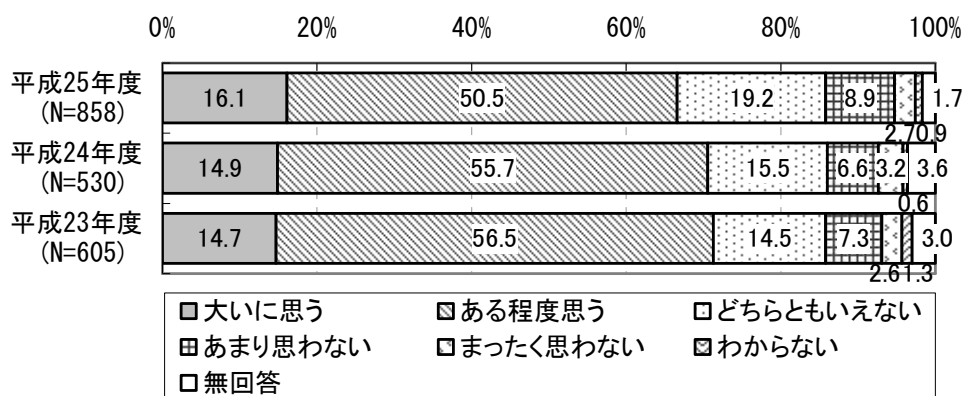
また、「医療や介護の環境が良くないから」も女性において29.0%と、男性を4.3ポイント上回っている。



【年代別】

40～60 歳代において「地震や津波などの被災のおそれがあるから」が7割を超えて多くなっている。また、20 歳代では「勤めたい会社が市内にないから」が、40 歳未満では「通勤や通学などに交通面が不便だから」が、30 歳代、50～60 歳代では「医療や介護の環境が良くないから」が、70 歳代では「自然環境が悪化しているから」が他の年代に比べて多くなっている。

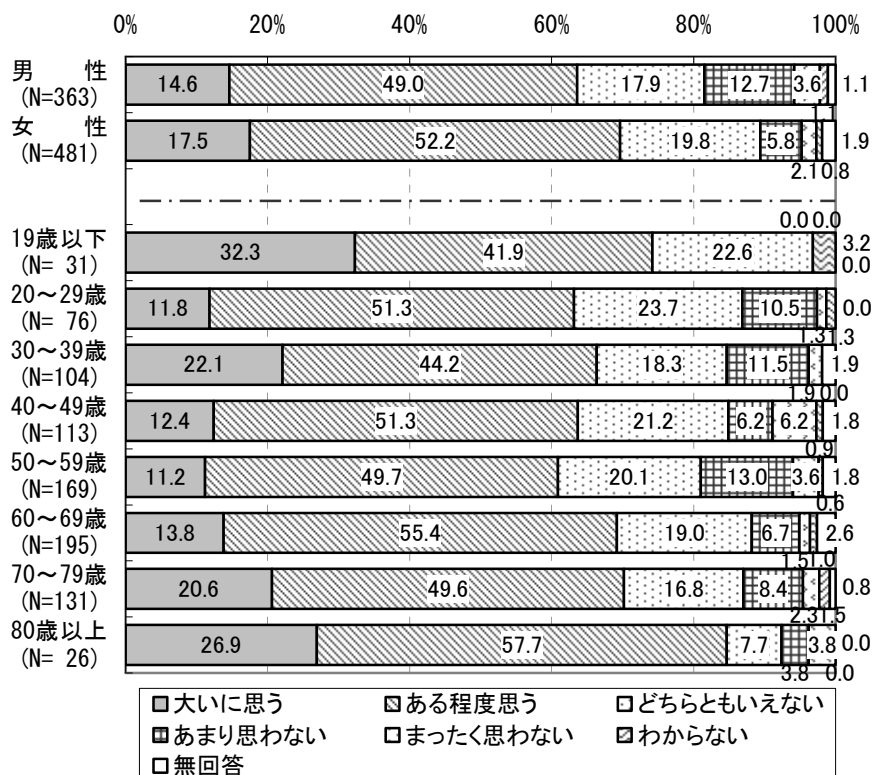
問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



今現在、幸せだと思うかについては、「ある程度思う」が50.5%と約半数を占めている。次いで「どちらともいえない」が19.2%、「大いに思う」が16.1%などとなっている。「大いに思う」と「ある程度思う」を合わせた“幸せだと思う”は66.6%、「あまり思わない」と「まったく思わない」を合わせた“幸せだと思わない”は11.6%となっている。

昨年度と比べると、“幸せだと思う”が低くなっている。

クロス集計



【性別】

女性において「ある程度思う」が52.2%と半数以上を占め、「幸せだと思う」が69.7%と男性を6.1ポイント上回っている。一方、男性では“幸せだと思わない”が16.3%と1割を超え、女性を8.4ポイント上回っている。

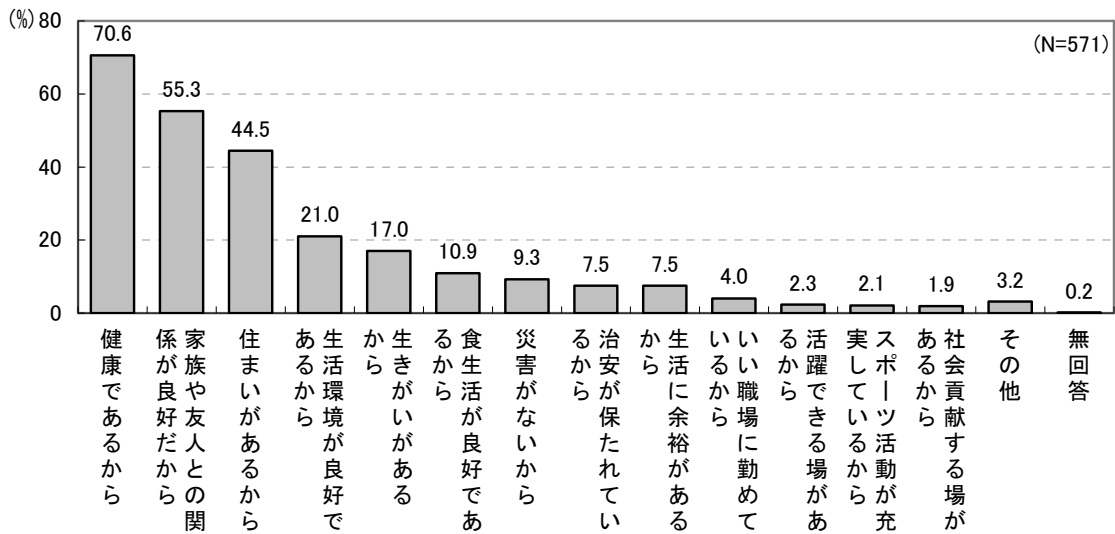
【年代別】

19歳以下において「大いに思う」が32.3%と唯一3割を超えている。また、80歳以上において“幸せだと思う”が唯一8割を超えている。

一方で、50歳代では“幸せだと思わない”が16.6%と他の年代に比べて高く、“幸せだと思う”が6割程度となっている。

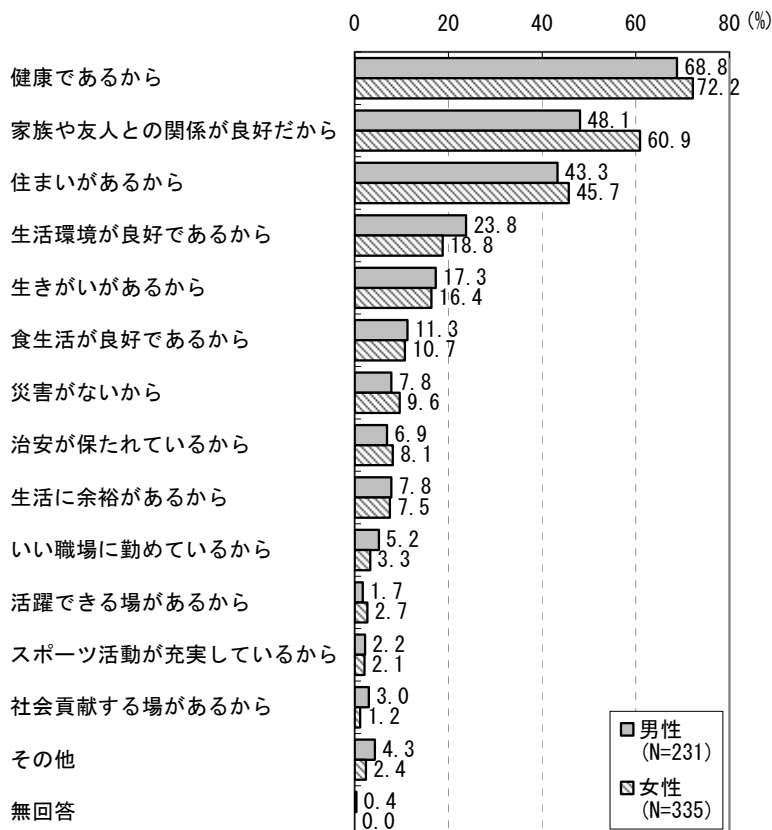
(問3で「1 大いに思う」または「2 ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



問3で「大いに思う」または「ある程度思う」と回答した 571 人に幸せだと思う理由についてうかがったところ、「健康であるから」が 70.6%と最も多く、次いで「家族や友人との関係が良好だから」が 55.3%、「住まいがあるから」が 44.5%などとなっている。

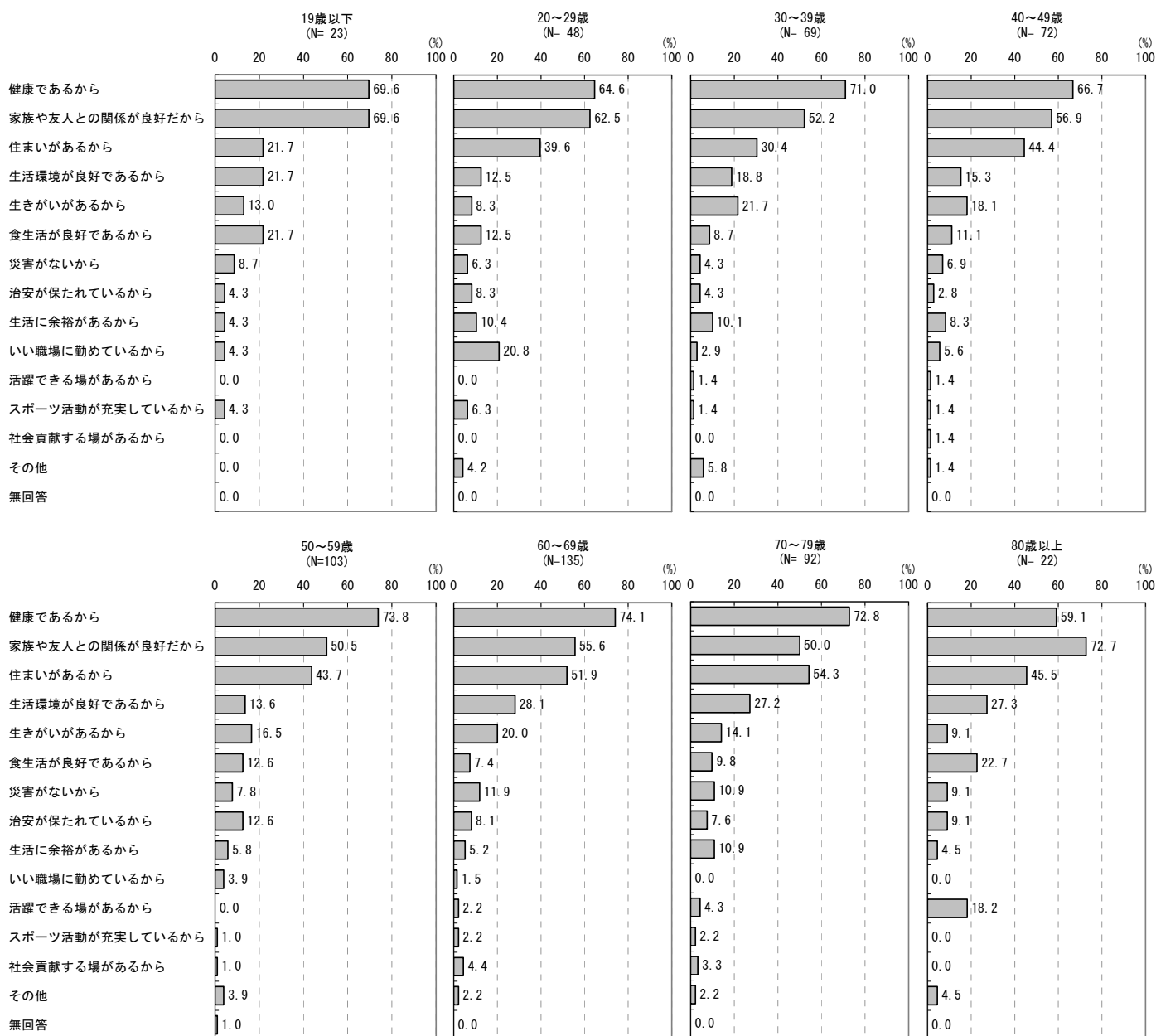
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目では、男性に比べて女性の割合が上回っており、特に「家族や友人との関係が良好だから」では 60.9%と、男性を 12.8 ポイント上回っている。

一方で、「生活環境が良好であるから」では男性において 23.8%と、女性を 5.0 ポイント上回っている。



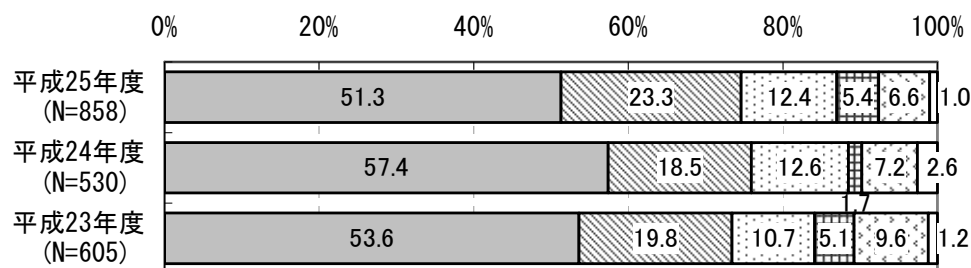
【年代別】

10～70歳代においては「健康であるから」が最も多く、19歳以下、80歳以上では「家族や友人との関係が良好だから」が高い割合となっている。また、20歳代では「いい職場に勤めているから」が、80歳以上では「食生活が良好であるから」や「活躍できる場があるから」が他の年代に比べて多くなっている。

<原子力発電について>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？

あてはまるものに1つ○印をつけてください。

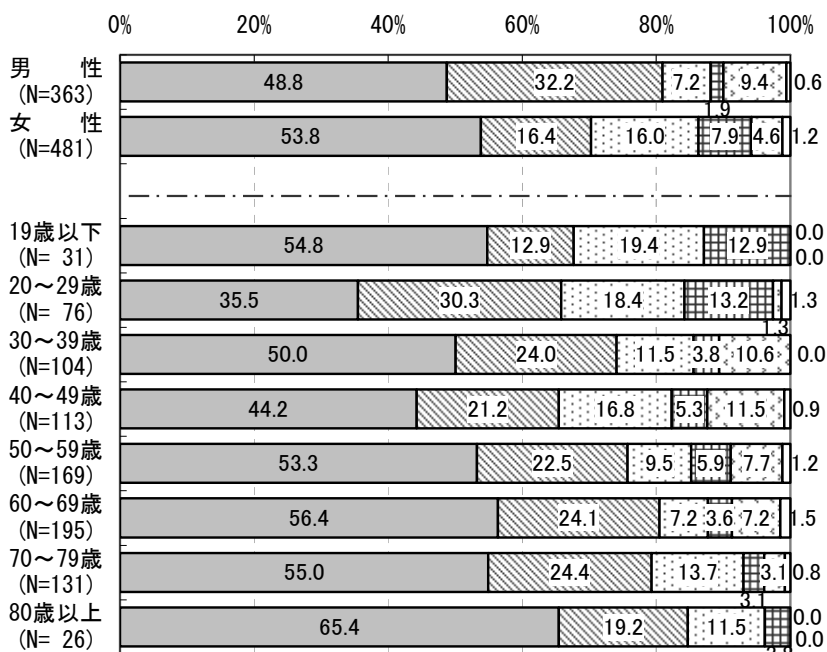


- 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- ▨ 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- どちらともいえない
- ▩ わからない
- ▤ その他
- 無回答

浜岡原子力発電所の今後については、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が51.3%と過半数を占めている。一方、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は23.3%で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」の半分に留まっている。

昨年度と比較すると、「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」は4.8ポイント高くなっている。

クロス集計



- 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
- ▨ 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
- どちらともいえない
- ▩ わからない
- ▤ その他
- 無回答

【性別】

女性において「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」が53.8%と、男性を5.0ポイント上回っている。一方、男性では「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が32.2%と、女性を15.8ポイント上回っている。

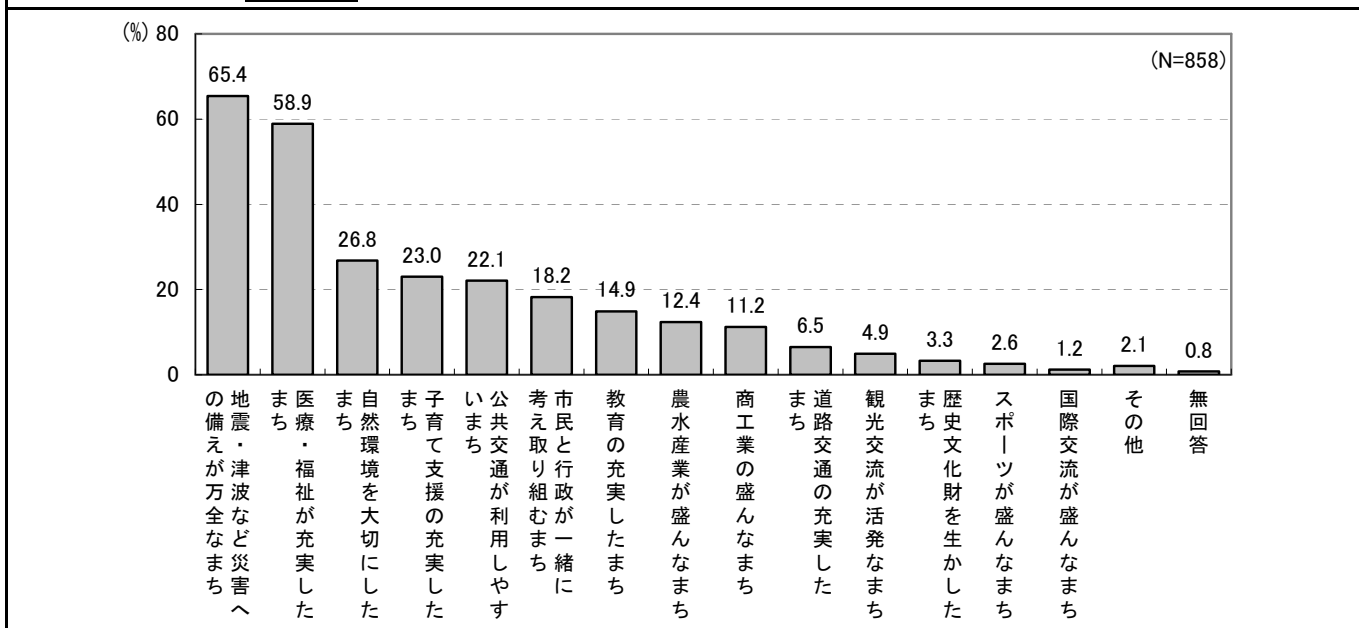
【年代別】

20歳代において「浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい」が30.3%と最も多くなっている。一方で、「浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい」は、80歳以上で6割を超えている。

<牧之原市が今後目指すべき姿について>

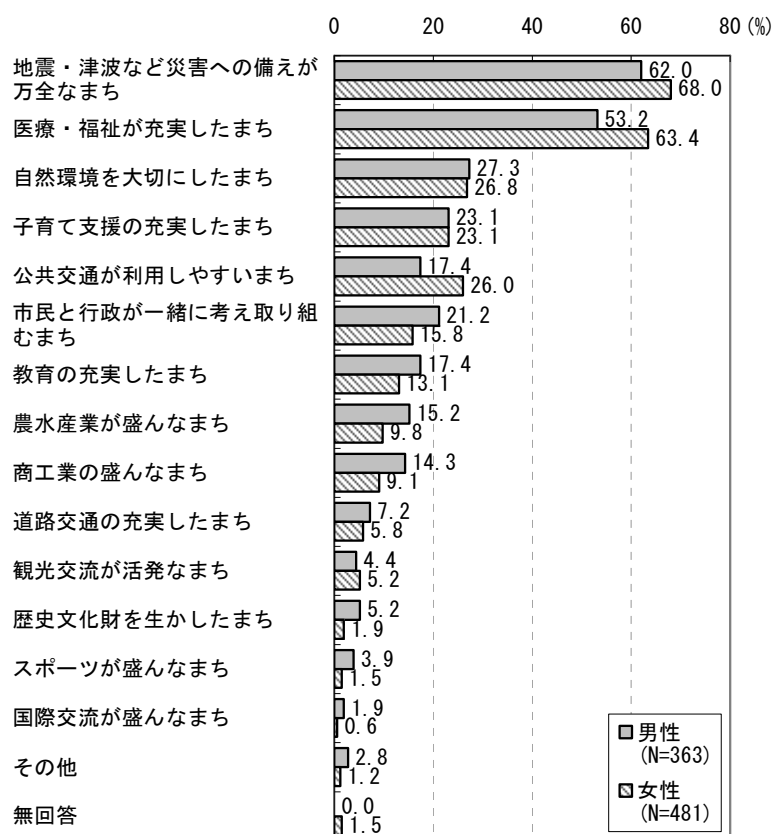
問6 あなたは、牧之原市が今後目指すべき姿はどれだと思いますか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



牧之原市が今後目指すべき姿については、「地震・津波など災害への備えが万全なまち」が 65.4%と最も多く、次いで「医療・福祉が充実したまち」が 58.9%、「自然環境を大切にしましたまち」が 26.8%などとなっている。災害対策、医療・福祉の充実への関心が高いことが分かる。

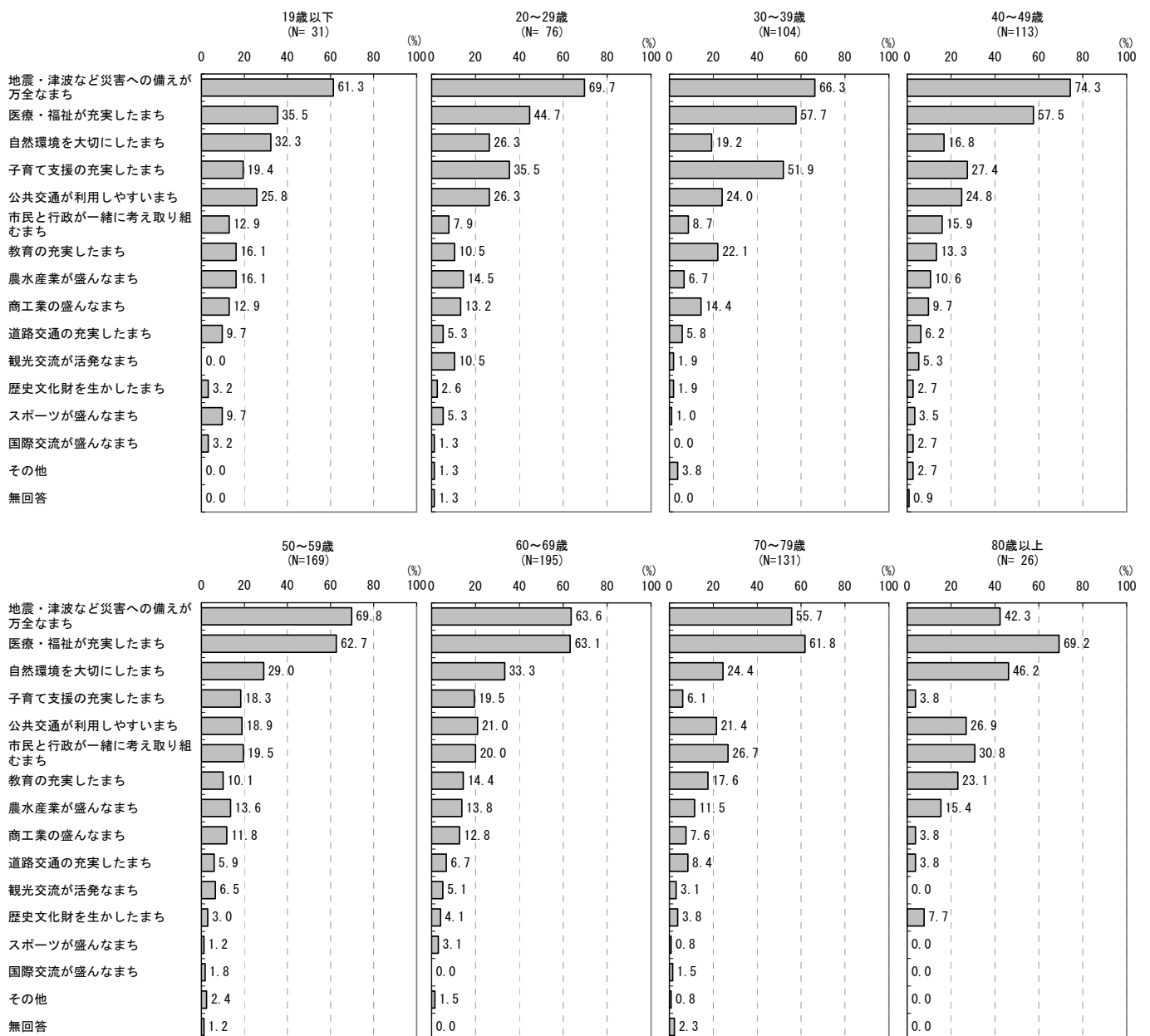
クロス集計



【性別】

女性においては、「医療・福祉が充実したまち」で 10.2 ポイント、「公共交通が利用しやすいまち」で 8.6 ポイント、男性を上回っている。

男性においては、「市民と行政が一緒に考え取り組むまち」や「農水産業が盛んなまち」で 5.4 ポイント、「商工業の盛んなまち」で 5.2 ポイント、女性を上回っている。

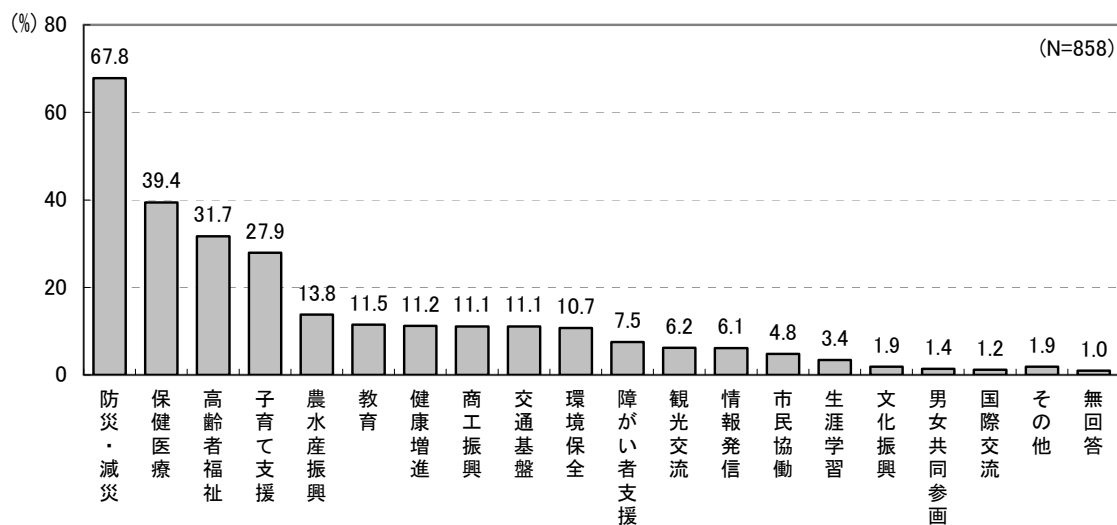


【年代別】

10～60歳代においては「地震・津波など災害への備えが万全なまち」が最も多く、70歳以上では「医療・福祉が充実したまち」が最も高い割合となっている。また、20～30歳代の子育て世代では「子育て支援の充実したまち」が、30歳代では「教育の充実したまち」が、70歳以上では「市民と行政と一緒に考え取り組むまち」が、他の年代に比べて多くなっている。

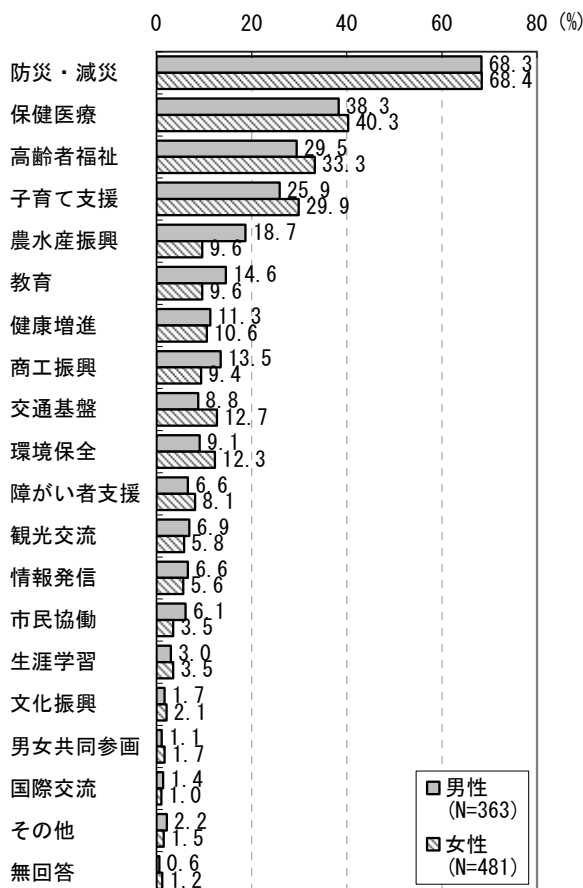
問7 あなたは、次の5年間に、市が重点的に取り組むべき分野はどれだと思いますか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



次の5年間に市が重点的に取り組むべき分野については、「防災・減災」が67.8%と最も多く、次いで「保健医療」が39.4%、「高齢者福祉」が31.7%、「子育て支援」が27.9%などとなっている。災害対策、医療・福祉分野への関心が高いことが分かる。

クロス集計

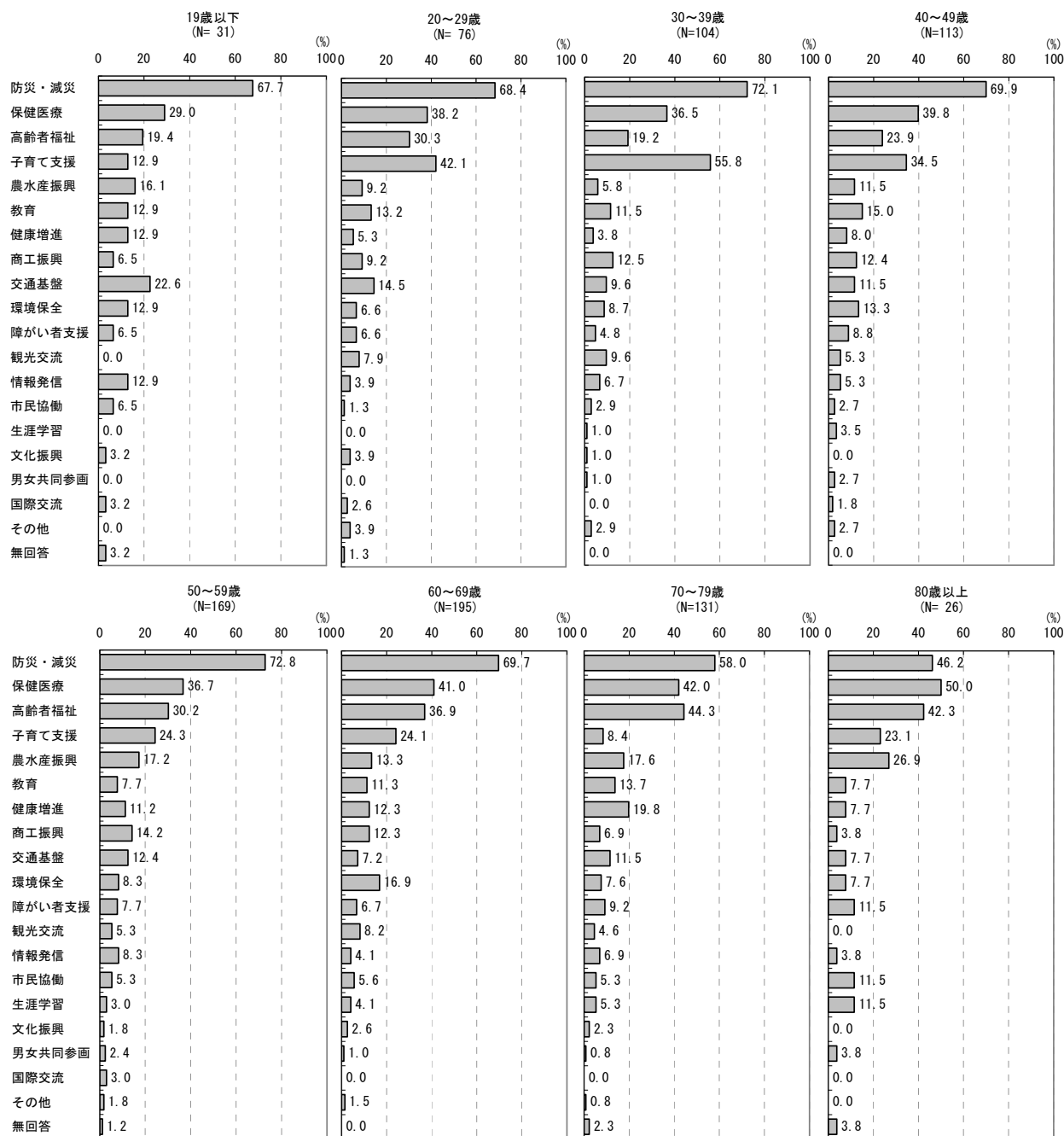


【性別】

男女ともに「防災・減災」が最も多く、ほぼ同割合となっており、回答割合の高い項目は同様の傾向となっている。

また、男性においては「農水産振興」で9.1ポイント、「教育」で5.0ポイント、女性を上回っており、産業や教育への関心が高いことが分かる。

女性においては、「子育て支援」で4.0ポイント、「高齢者福祉」で3.8ポイント、男性を上回っており、福祉への関心が高いことが分かる。

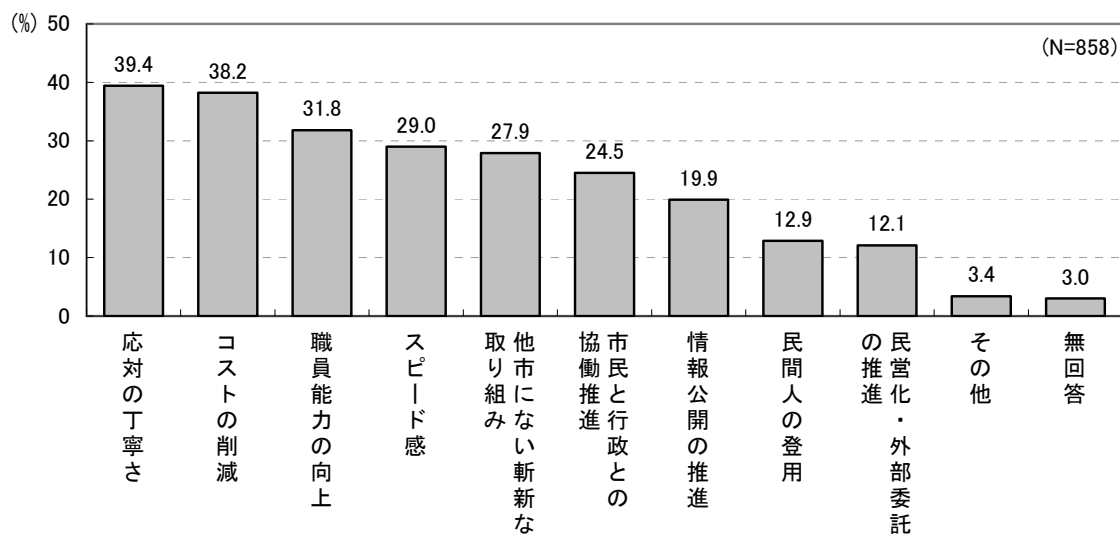


【年代別】

80歳未満においては「防災・減災」が最も多く、80歳以上では「保健医療」が最も高い割合となっている。また、20～40歳代の子育て世代では「子育て支援」が、70歳以上では「高齢者福祉」が、20歳未満では「交通基盤」が、他の年代に比べて多くなっている。

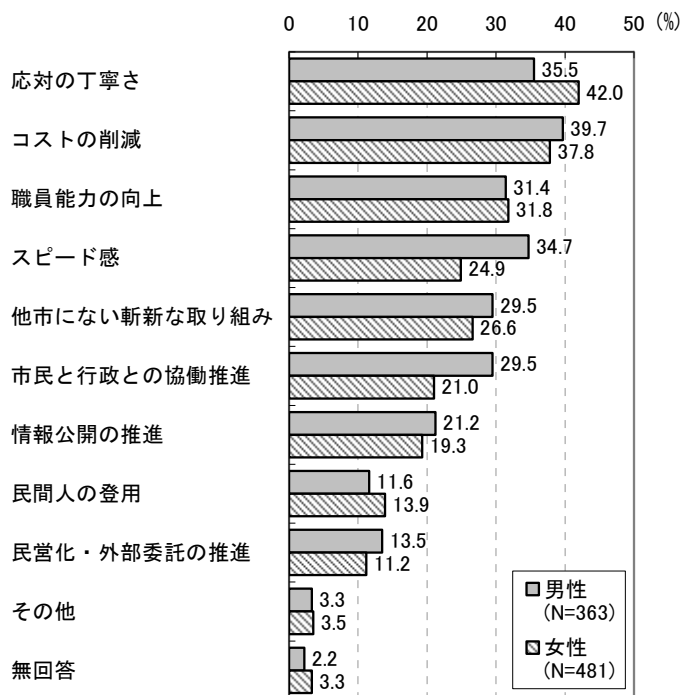
問8 あなたが牧之原市役所の運営に求めるものは何ですか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



牧之原市役所の運営に求めるものについては、「対応の丁寧さ」が 39.4%と最も多く、次いで「コストの削減」が 38.2%、「職員能力の向上」が 31.8%、「スピード感」が 29.0%などとなっている。

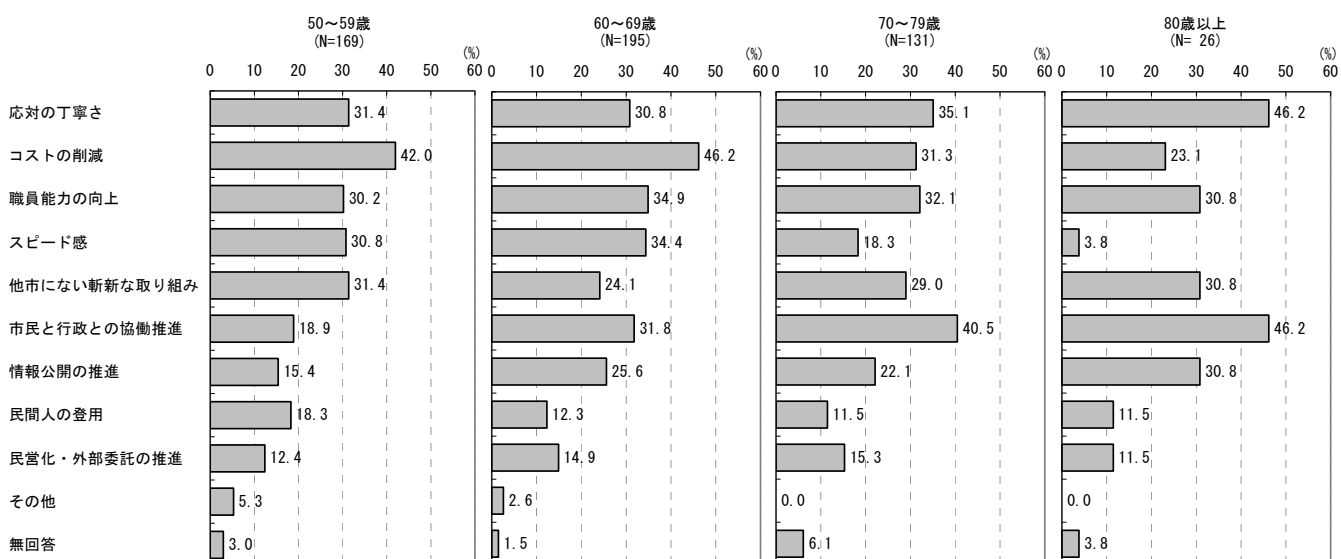
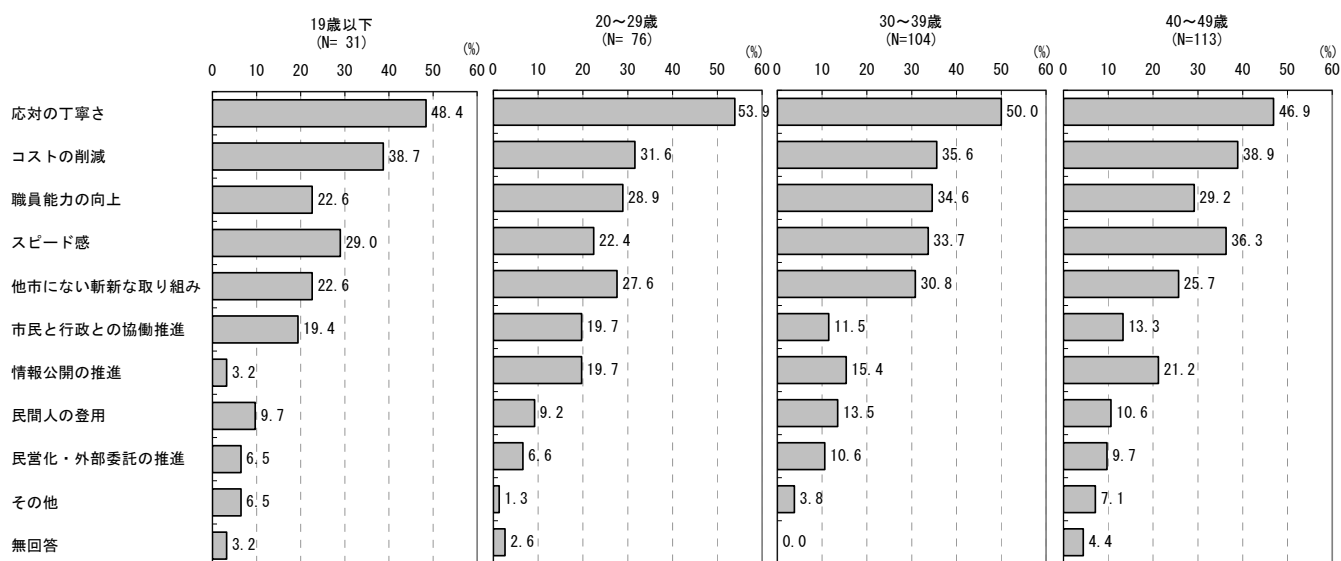
クロス集計



【性別】

男性においては「コストの削減」が 39.7%と最も多く、女性においては「対応の丁寧さ」が 42.0%と最も多くなっている。

また、ほとんどの項目で女性に比べて男性の割合が高く、特に「スピード感」で 9.8 ポイント、「市民と行政との協働推進」で 8.5 ポイント、女性を上回っている。



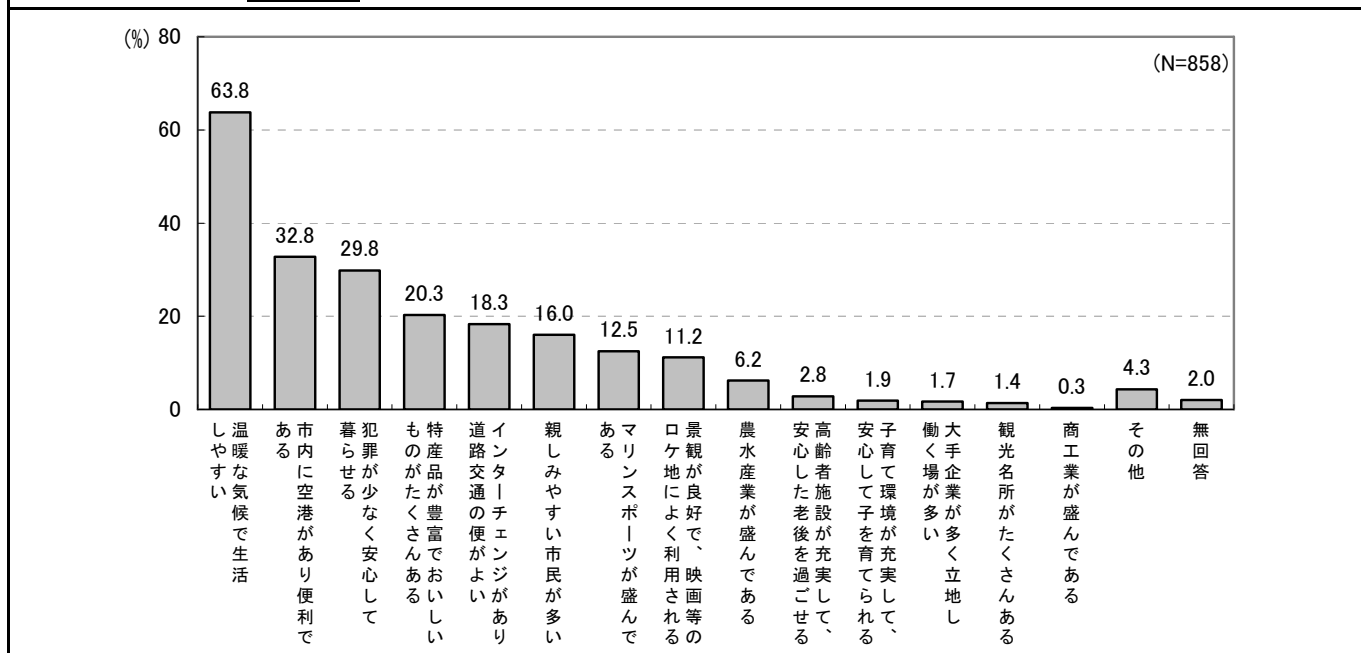
【年代別】

50歳未満、80歳以上においては「対応の丁寧さ」、50～60歳代では「コストの削減」、70歳以上では「市民と行政との協働推進」が最も高い割合となっている。また、40歳代、60歳以上では「情報公開の推進」が、30～60歳代では「スピード感」が、他の年代に比べて多くなっている。

<市のイメージについて>

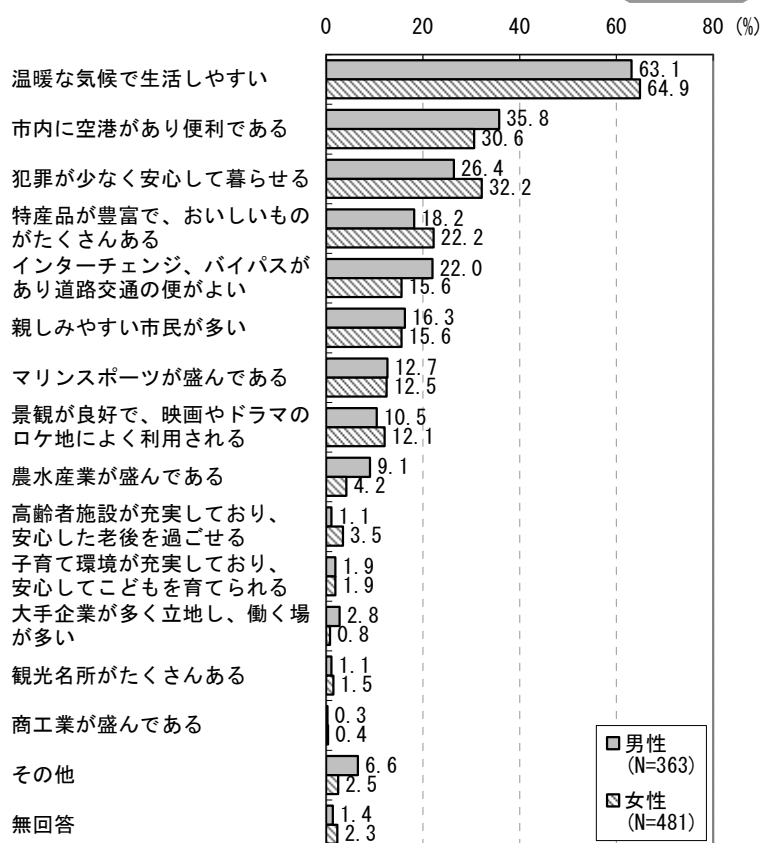
問9 あなたは、牧之原市を市外の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市外の人に牧之原市を紹介する時の内容については、「温暖な気候で生活しやすい」が 63.8%と最も多く、次いで「市内に空港があり便利である」が 32.8%、「犯罪が少なく安心して暮らせる」が 29.8%、「特産品が豊富で、おいしいものがたくさんある」が 20.3%などとなっている。

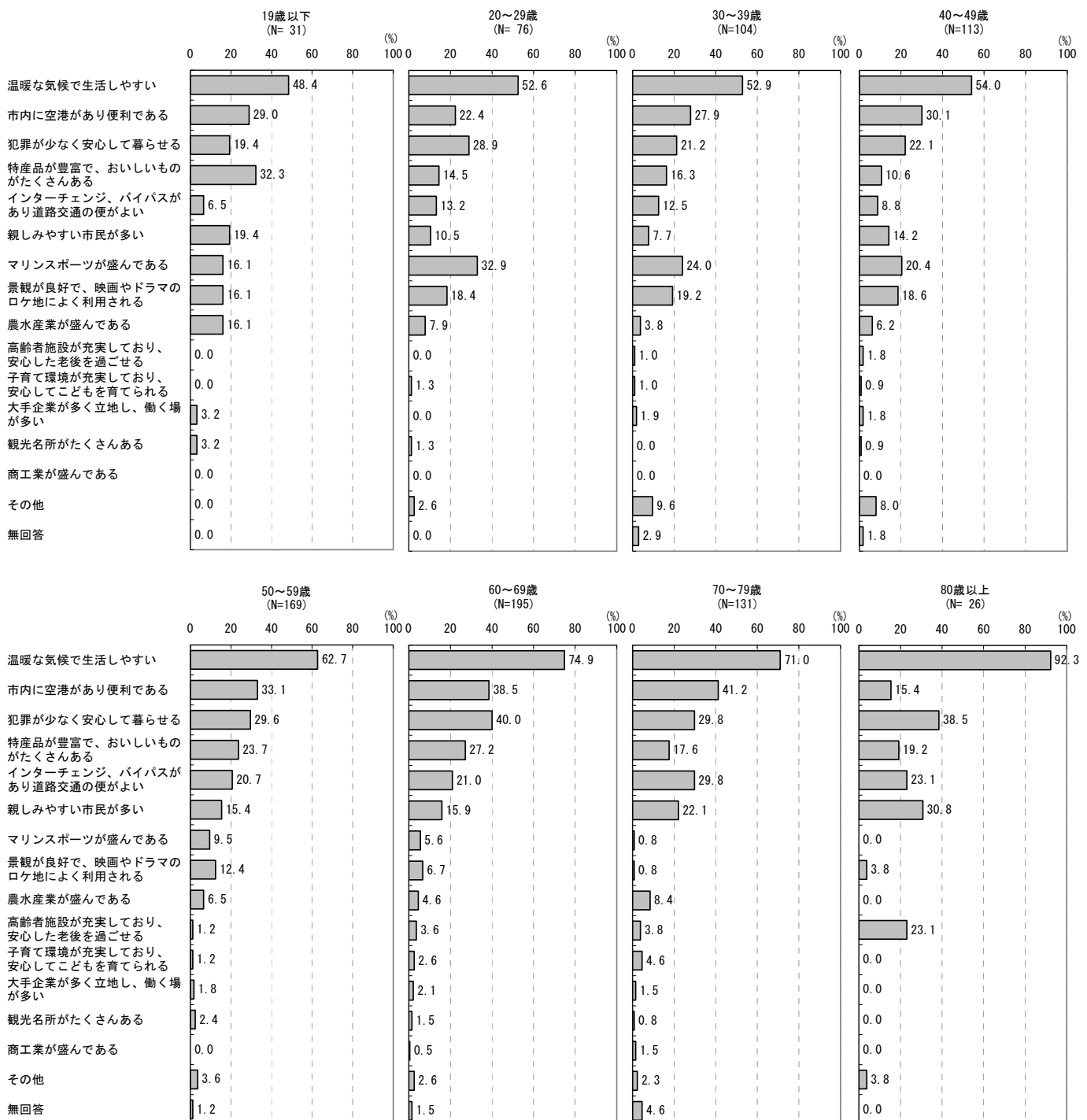
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっているものの、男性においては「インターチェンジ、バイパスがあり道路交通の便がよい」で 6.4 ポイント、「市内に空港があり便利である」で 5.2 ポイント女性を上回っており、交通の便の良さを紹介する人が多いことが分かる。

女性においては「犯罪が少なく安心して暮らせる」で、男性を 5.8 ポイント上回っている。

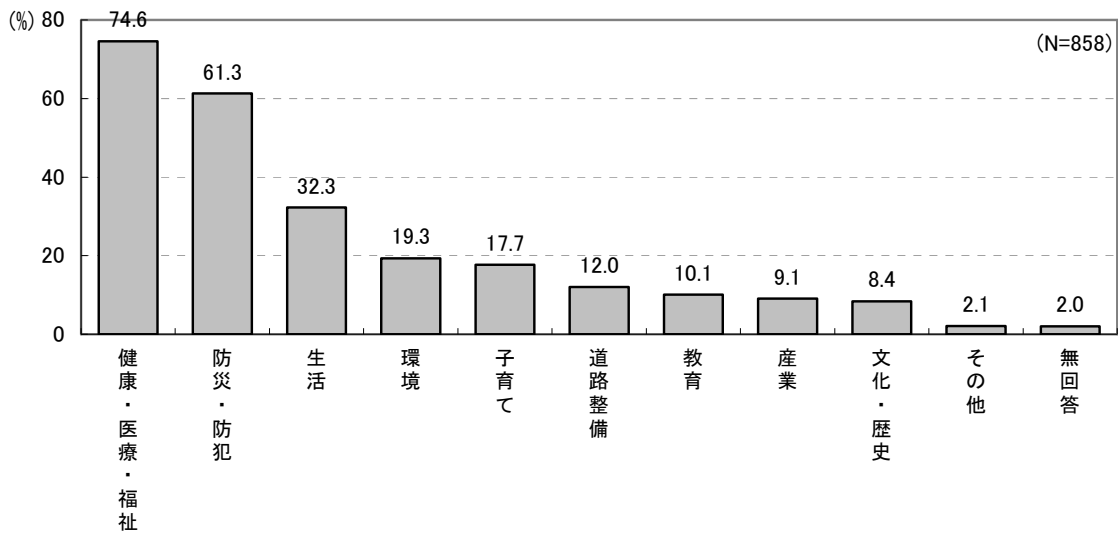


【年代別】

すべての年代で「温暖な気候で生活しやすい」が最も多く、特に80歳以上では9割を超えている。また、20~40歳代では「マリンスポーツが盛んである」や「景観が良好で、映画やドラマのロケ地によく利用される」が、80歳以上では「高齢者施設が充実しており、安心して老後を過ごせる」が、他の年代に比べて多くなっている。

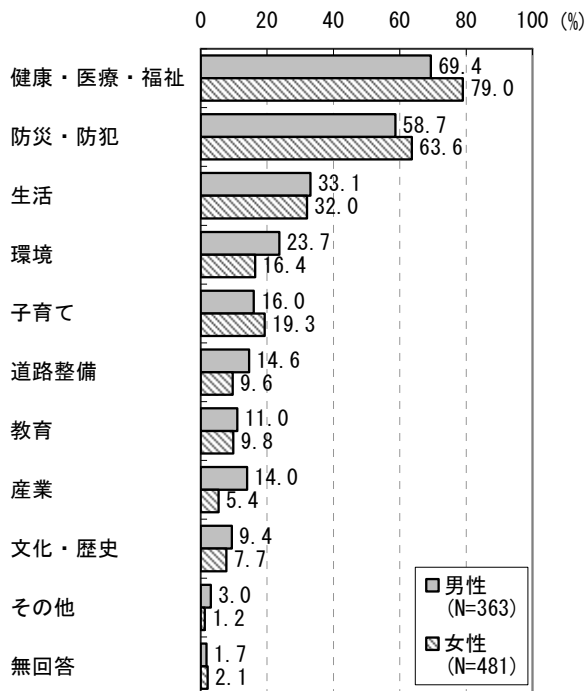
<市からの情報発信について>

問10 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市からの情報として得たいものについては、「健康・医療・福祉」が74.6%と最も多く、次いで「防災・防犯」が61.3%、「生活」が32.3%などとなっている。健康や福祉、防犯・防災への関心が高いことが分かる。

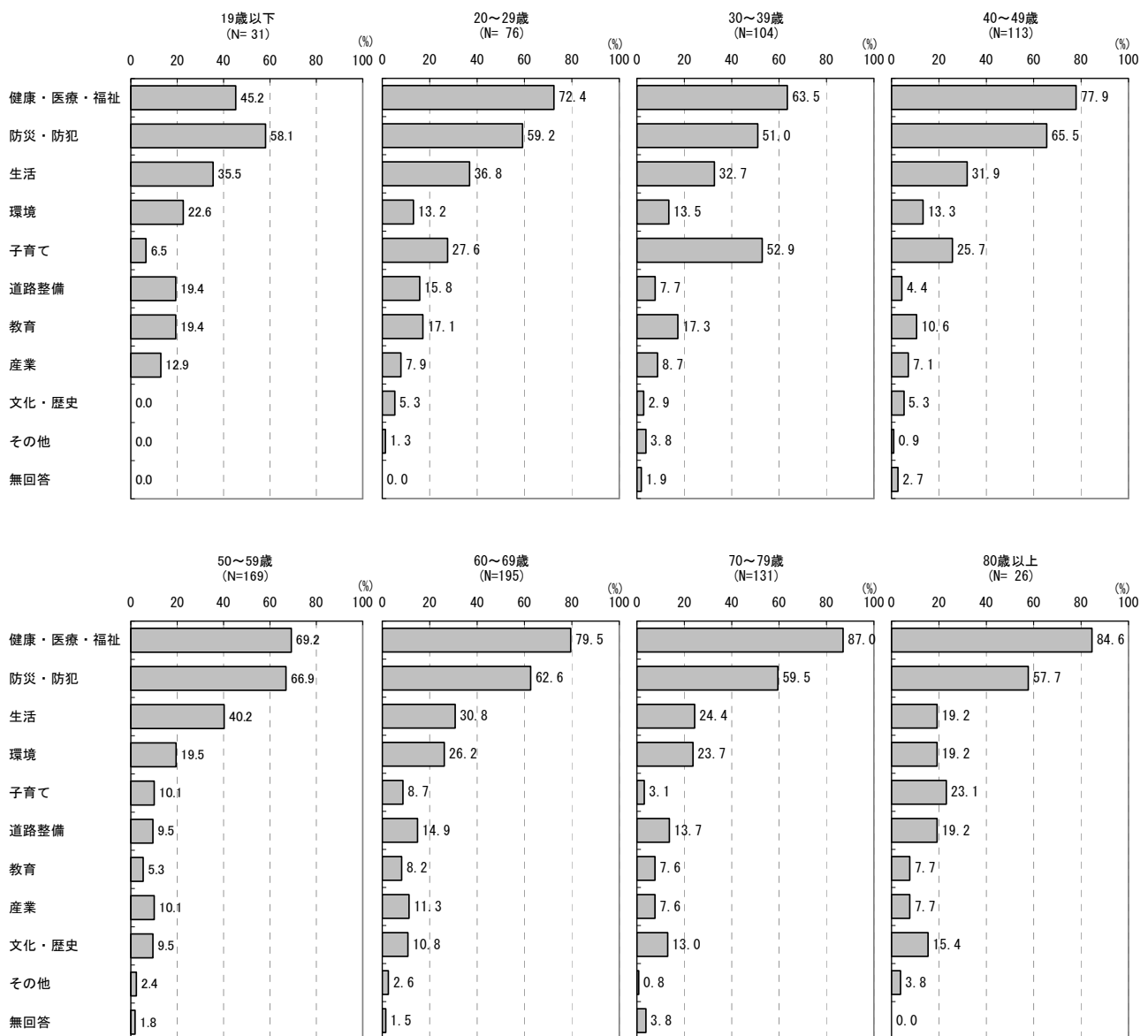
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっているものの、男性においては「産業」で8.6ポイント、「環境」で7.3ポイント女性を上回っている。

女性においては「健康・医療・福祉」で9.6ポイント、「防災・防犯」で4.9ポイント、男性を上回っている。

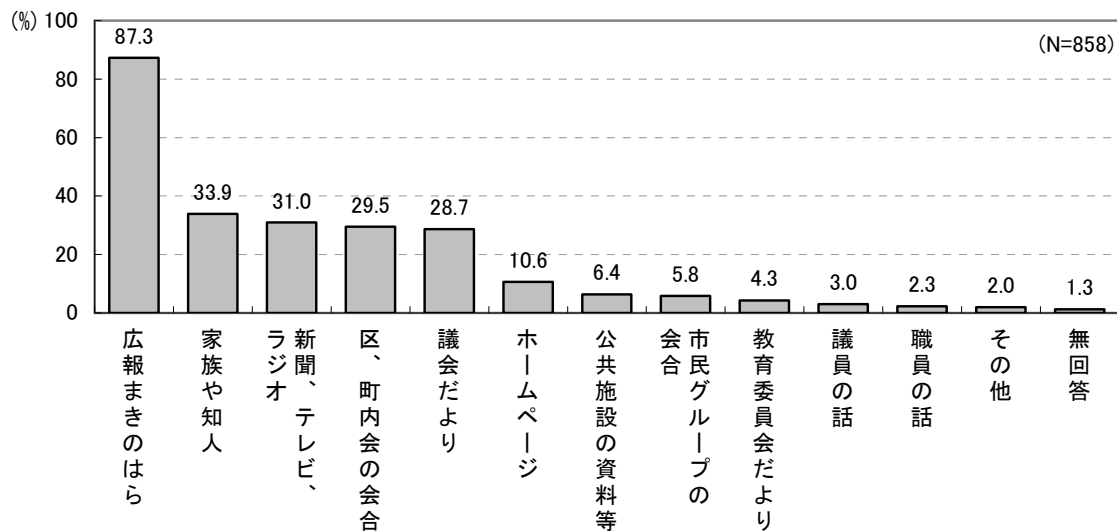


【年代別】

19歳以下では「防災・防犯」が最も多く、20歳以上では「健康・医療・福祉」が最も多くなっている。また、20~40歳代では「子育て」が、40歳未満では「教育」が、他の年代に比べて多くなっている。

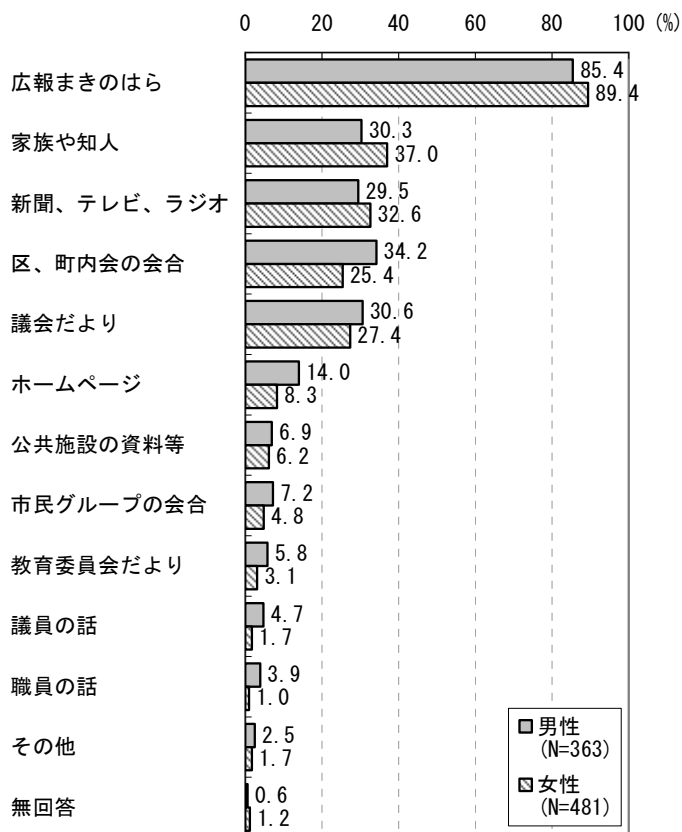
問11 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？

あてはまるもの全てに○印をつけてください。



市からの情報の入手手段については、「広報まきのほら」が 87.3%と最も多く、他の項目と比べても突出して高くなっている。次いで「家族や知人」が 33.9%、「新聞、テレビ、ラジオ」が 31.0%、「区、町内会の会合」が 29.5%、「議会だより」が 28.7%などとなっている。

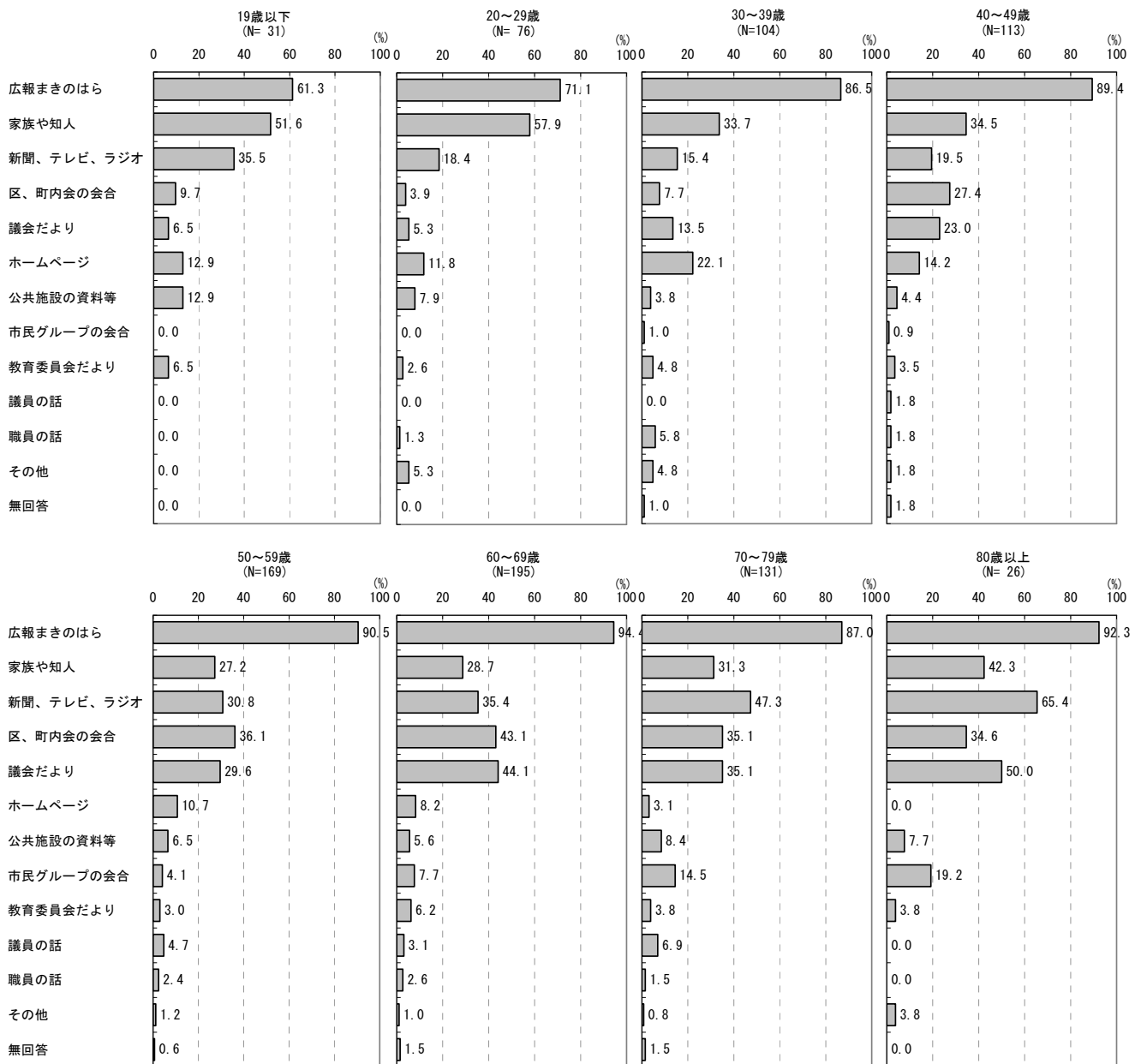
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっており、性別による大きな差異はみられない。

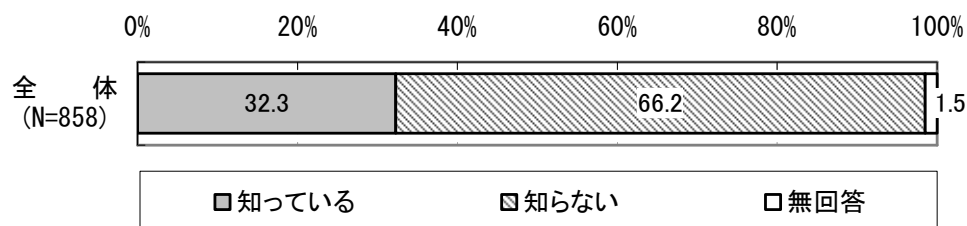
男性においては「区、町内会の会合」で、女性を 8.8 ポイント上回っており、女性においては「家族や知人」で男性を 6.7 ポイント上回っている。



【年代別】

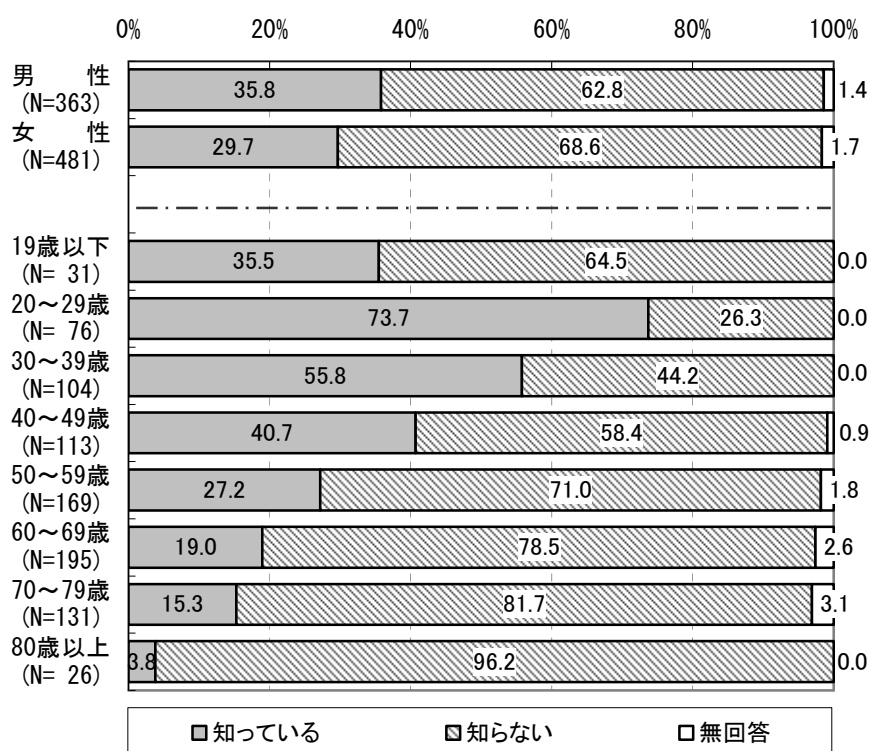
すべての年代で「広報まきのほら」が最も多くなっている。30歳未満では「家族や知人」、50歳以上では「区、町内会の会合」、60歳以上では「議会だより」が、他の年代に比べて多くなっている。また、30歳未満では情報の入手手段が他の年代に比べてやや少ないことが分かる。

問12 あなたは、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を知っていますか？
 あてはまるほうに○印をつけてください。



SNSの認知度については、「知らない」が66.2%と6割以上を占め、「知っている」は32.3%と、認知度は3割程度となっている。

クロス集計



【性別】

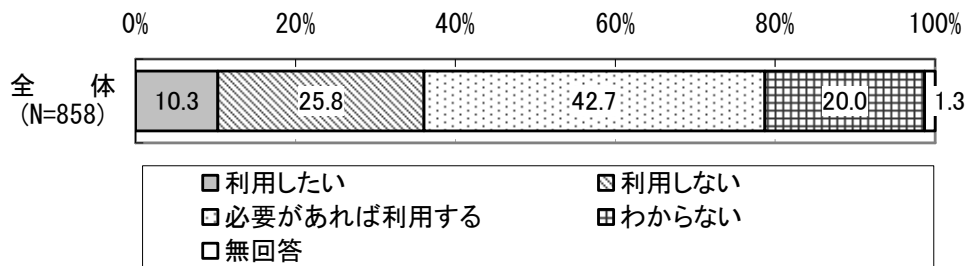
男性において「知っている」が35.8%と3割以上を占め、女性を6.1ポイント上回っている。

【年代別】

20～30歳代において「知っている」が半数以上を占め、特に20歳代では7割以上の認知度となっている。

一方で、年齢が上がるにつれて認知度は低くなっており、80歳以上では1割未満となっている。

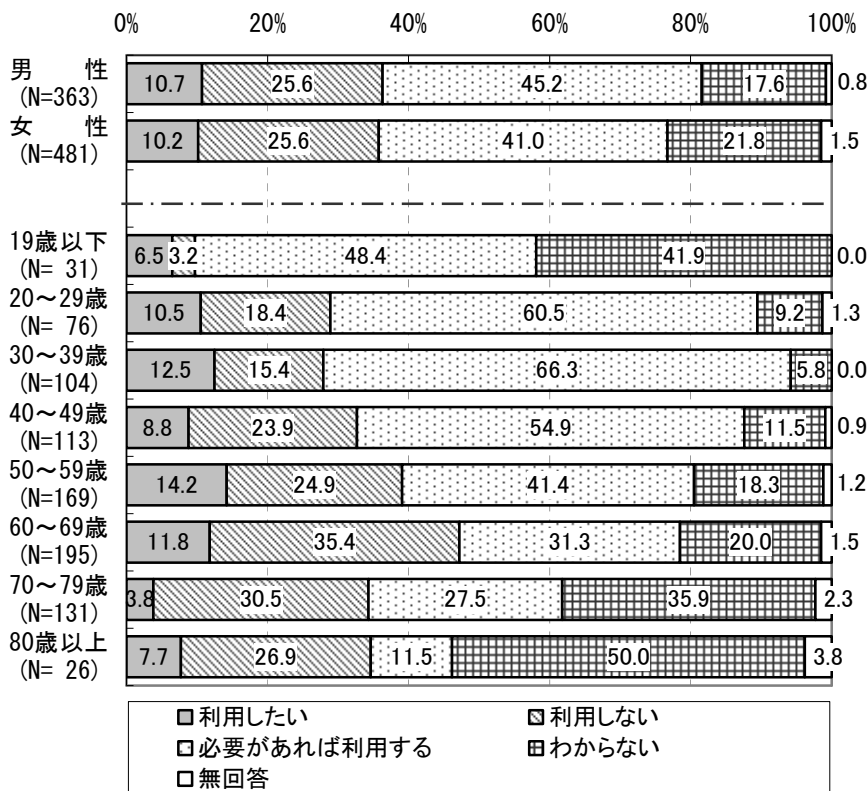
問13 市では、7月からSNSにより、行政情報や地域の話題、市の魅力などの情報配信に取り組みます。
あなたは、このサイトを利用してみたいですか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



SNSによる情報配信の利用意向については、「必要があれば利用する」が42.7%と4割以上を占め最も多く、次いで「利用しない」が25.8%、「利用したい」が10.3%となっている。

「利用したい」と「必要があれば利用する」を合わせた利用意向のある人は、半数以上を占めている。

クロス集計



【性別】

男性において「必要があれば利用する」が45.2%と、女性を4.2ポイント上回っているものの、性別による大きな差異はみられない。

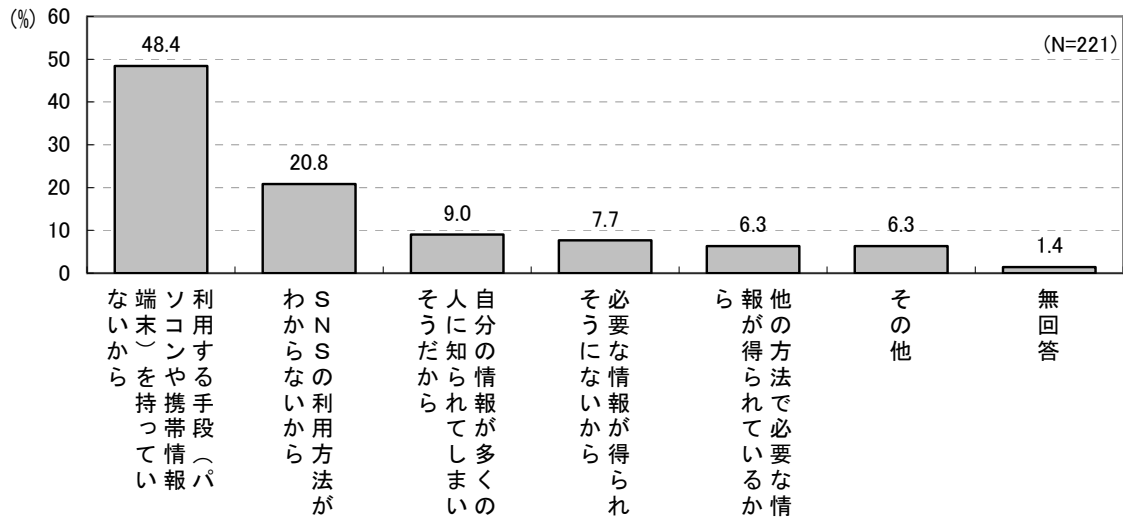
【年代別】

すべての年代において「利用したい」は1割程度となっているものの、「必要があれば利用する」は年齢が下がるにつれて多い傾向があり、特に20～30歳代では6割を超えている。

一方で、年齢が上がるにつれて利用意向は低くなっており、60～70歳代では「利用しない」が3割を超えている。

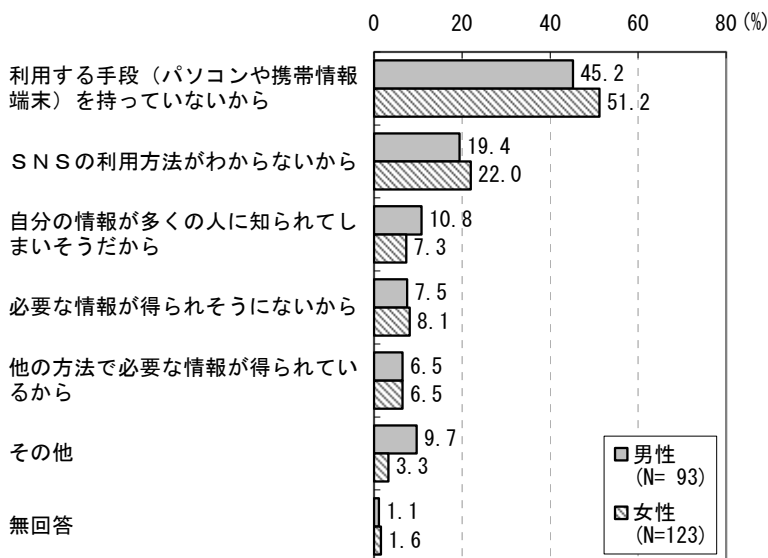
(問 13 で「2 利用しない」と答えた方にお聞きします。)

問 14 利用しない理由は何ですか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。



問 13 で「利用しない」と回答した 221 人に利用しない理由についてうかがったところ、「利用する手段（パソコンや携帯情報端末）を持っていないから」が 48.4%と最も多く、次いで「SNSの利用方法がわからないから」が 20.8%などとなっている。

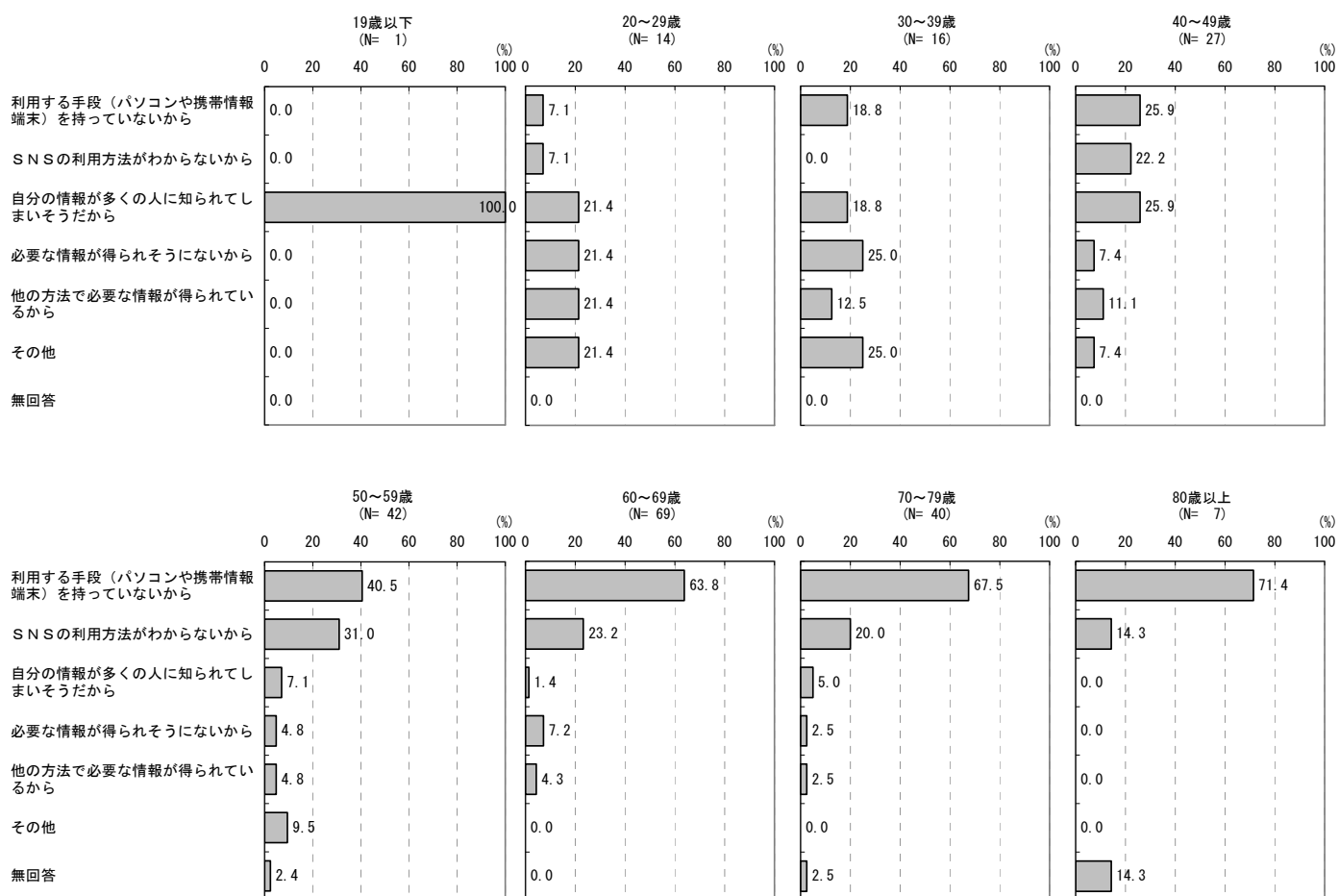
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっており、性別による大きな差異はみられない。

女性においては「利用する手段（パソコンや携帯情報端末）を持っていないから」が 51.2%と半数以上を占め、男性を 6.0 ポイント上回っている。

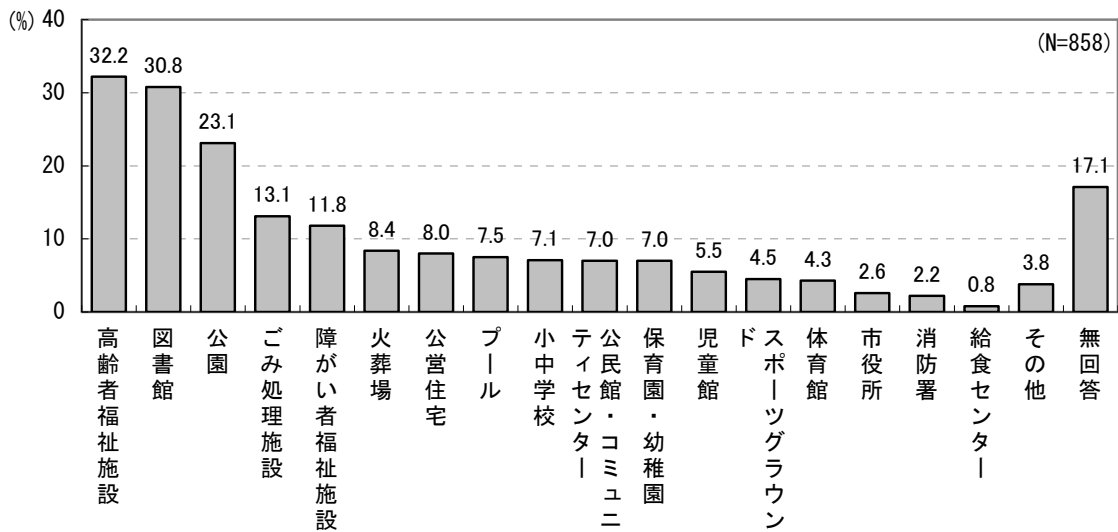


【年代別】

50歳以上では「利用する手段 (パソコンや携帯情報端末) を持っていないから」が最も多く、50歳未満では「自分の情報が多くの人に知られてしまいそうだから」や「必要な情報が得られそうにないから」などが多くなっている。また、40歳以上では「SNSの利用方法がわからないから」の割合も多くなっている。

<公共施設について>

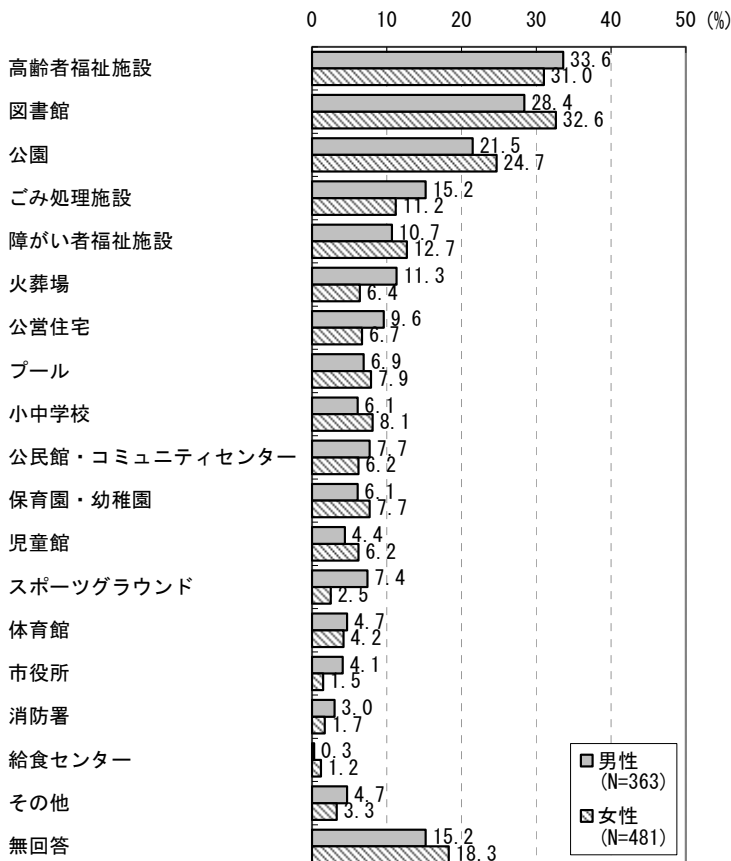
問15 あなたは、市内で今後、新設・整備する必要がある公共施設はどれだと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



新設・整備の必要があると思う公共施設については、「高齢者福祉施設」が 32.2%と最も多く、次いで「図書館」が 30.8%、「公園」が 23.1%などとなっている。

また、無回答が 17.1%と 2割未満となっていることから、8割以上の人が何かしらの公共施設について新設・整備が必要であると考えていることが分かる。

クロス集計

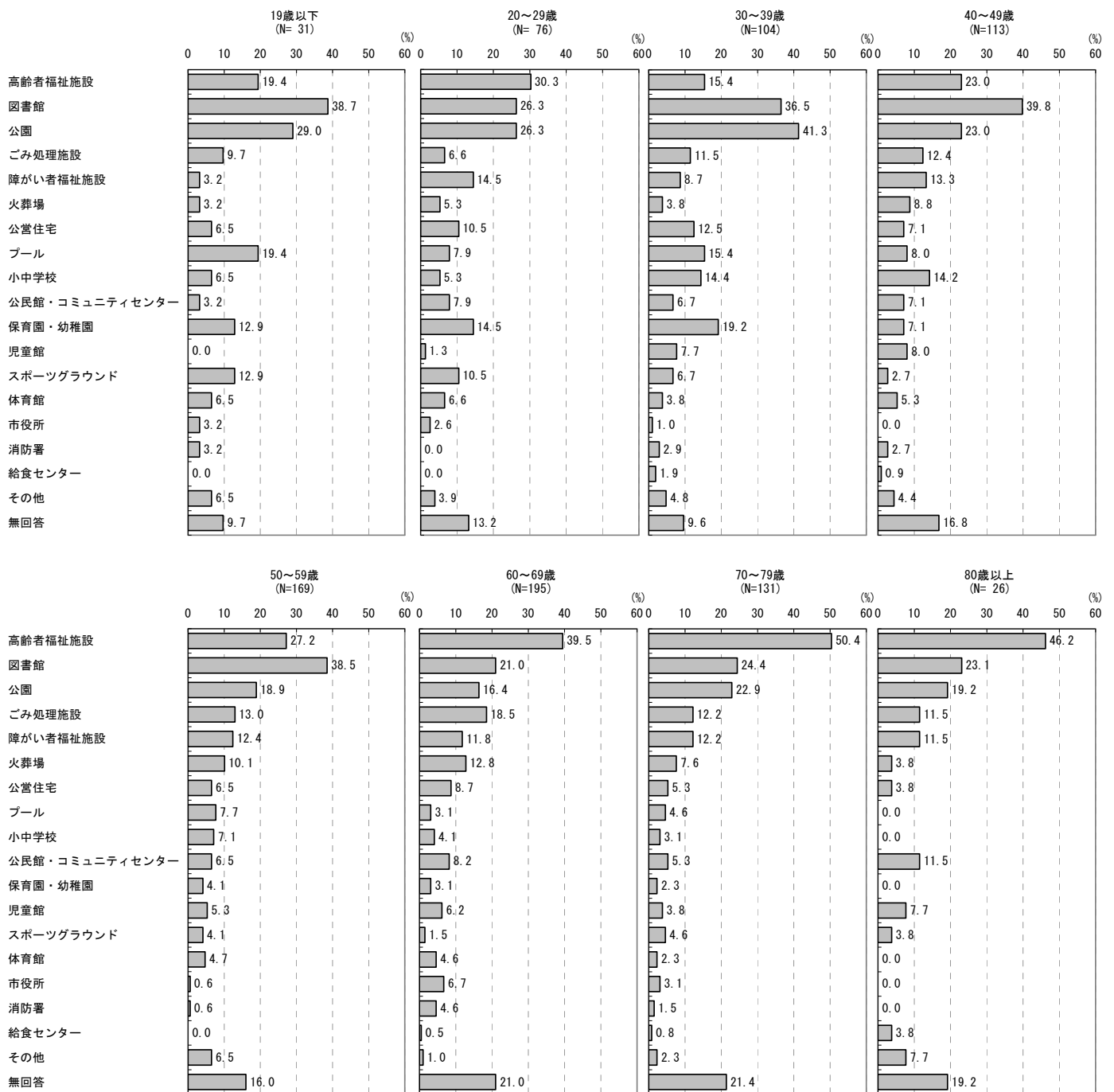


【性別】

男性が 45.2%と、は「高齢者福祉施設」が最も多く、女性が 45.2%と、は「図書館」が最も多くなっている。

また、男性では「火葬場」や「スポーツグラウンド」で 4.9 ポイント、「ゴミ処理施設」で 4.0 ポイント、女性を上回っている。

女性では「図書館」で 4.2 ポイント、男性を上回っている。

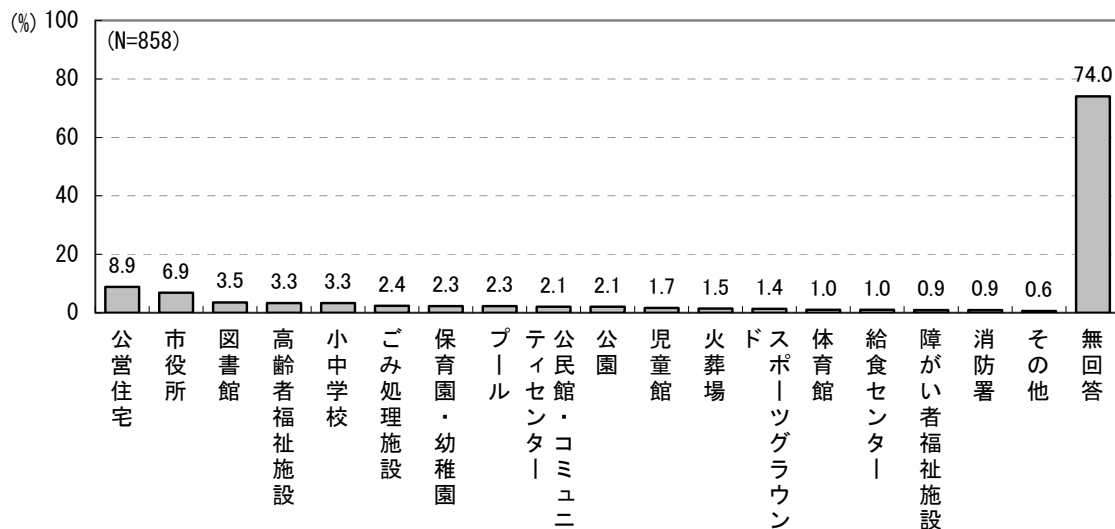


【年代別】

19歳以下、40～50歳代では「図書館」が、20歳代、60歳以上では「高齢者福祉施設」が、30歳代では「公園」が最も多くなっている。また、子育て世代である20～30歳代では「保育園・幼稚園」、40歳代では「小中学校」が、他の年代に比べて多くなっている。

問16 あなたは、市内で、統合・廃止する必要がある公共施設はどれだと思いますか？

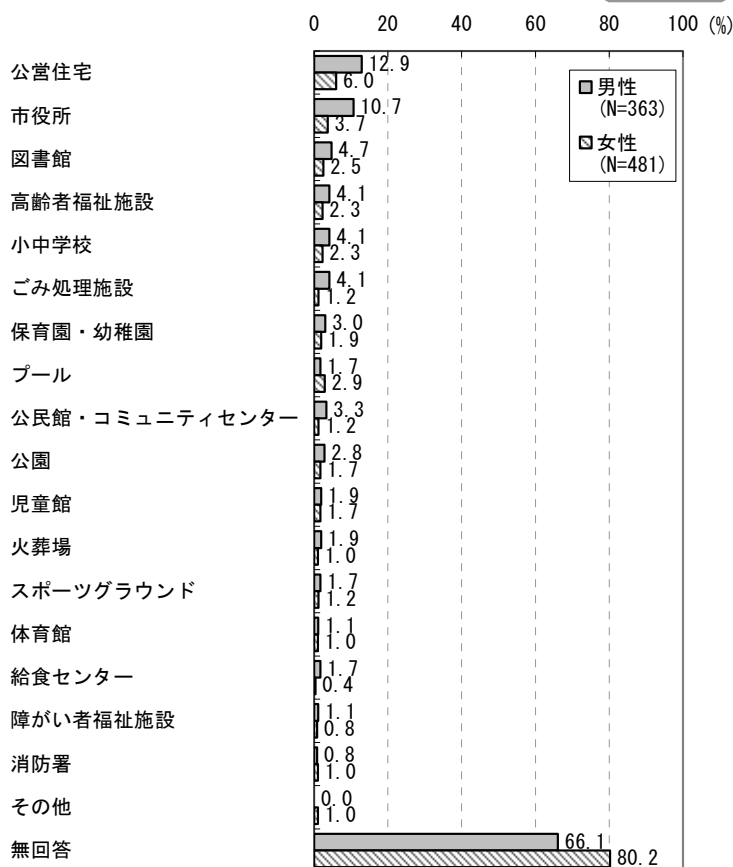
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



統合・廃止の必要があると思う公共施設については、無回答が74.0%と7割以上を占め、公共施設の統合・廃止が必要であると考えている人は3割未満となっている。

統合・廃止が必要な施設としては「公営住宅」が最も多く、次いで「市役所」、「図書館」、「高齢者福祉施設」、「小中学校」の順となっている。

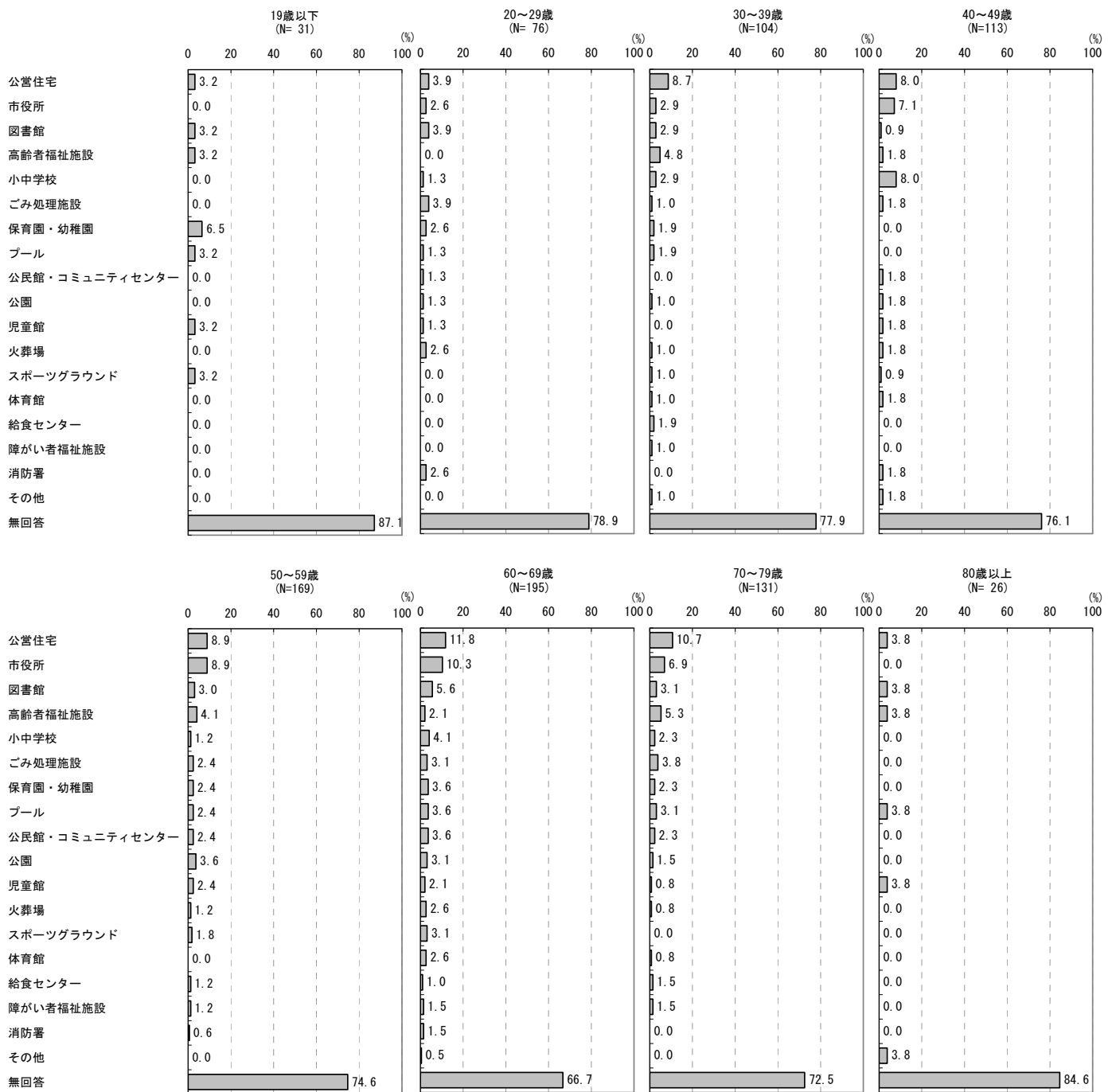
クロス集計



【性別】

男性に比べて、女性では無回答が約8割を占め、公共施設の統合・廃止が必要と考えている人は男性で3割程度、女性で約2割となっている。

男性においては「公営住宅」や「市役所」で1割以上の方が統合・廃止が必要であると考えていることが分かる。

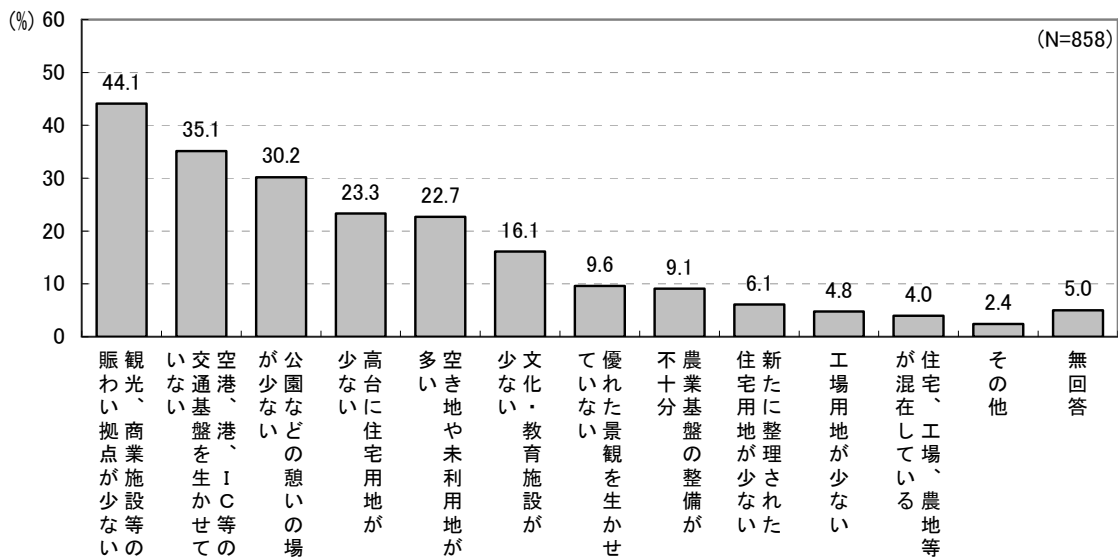


【年代別】

60～70 歳代で公共施設の統合・廃止が必要と考えている人が多く、特に「公営住宅」では1割を超えている。

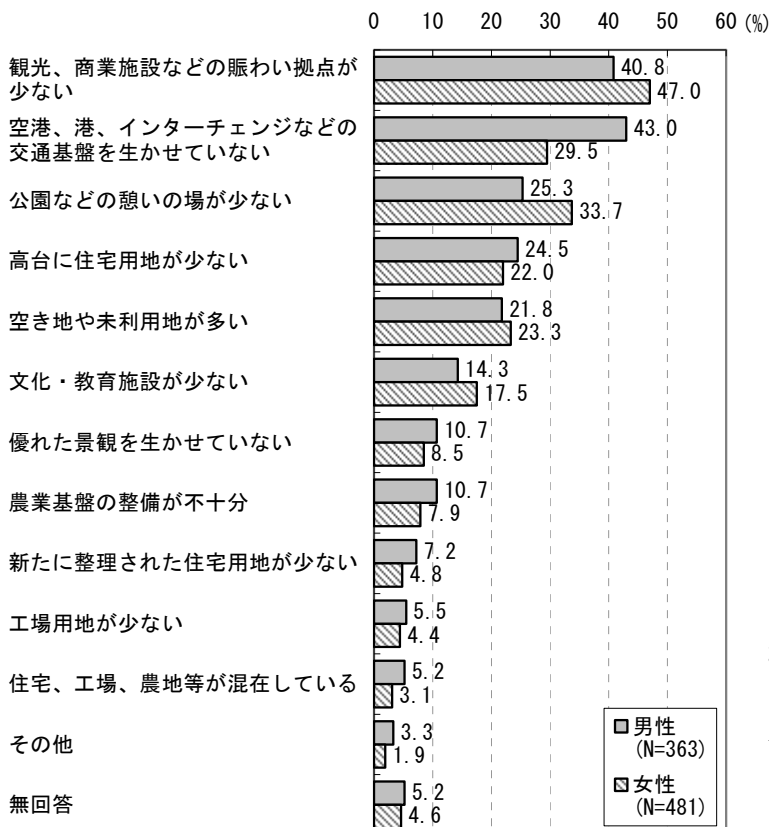
<市の活性化について>

問17 あなたは、市全体の土地の利用の仕方についてどう思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市全体の土地利用の仕方については、「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が 44.1%と最も多く、次いで「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かせていない」が 35.1%、「公園などの憩いの場が少ない」が 30.2%などとなっている。

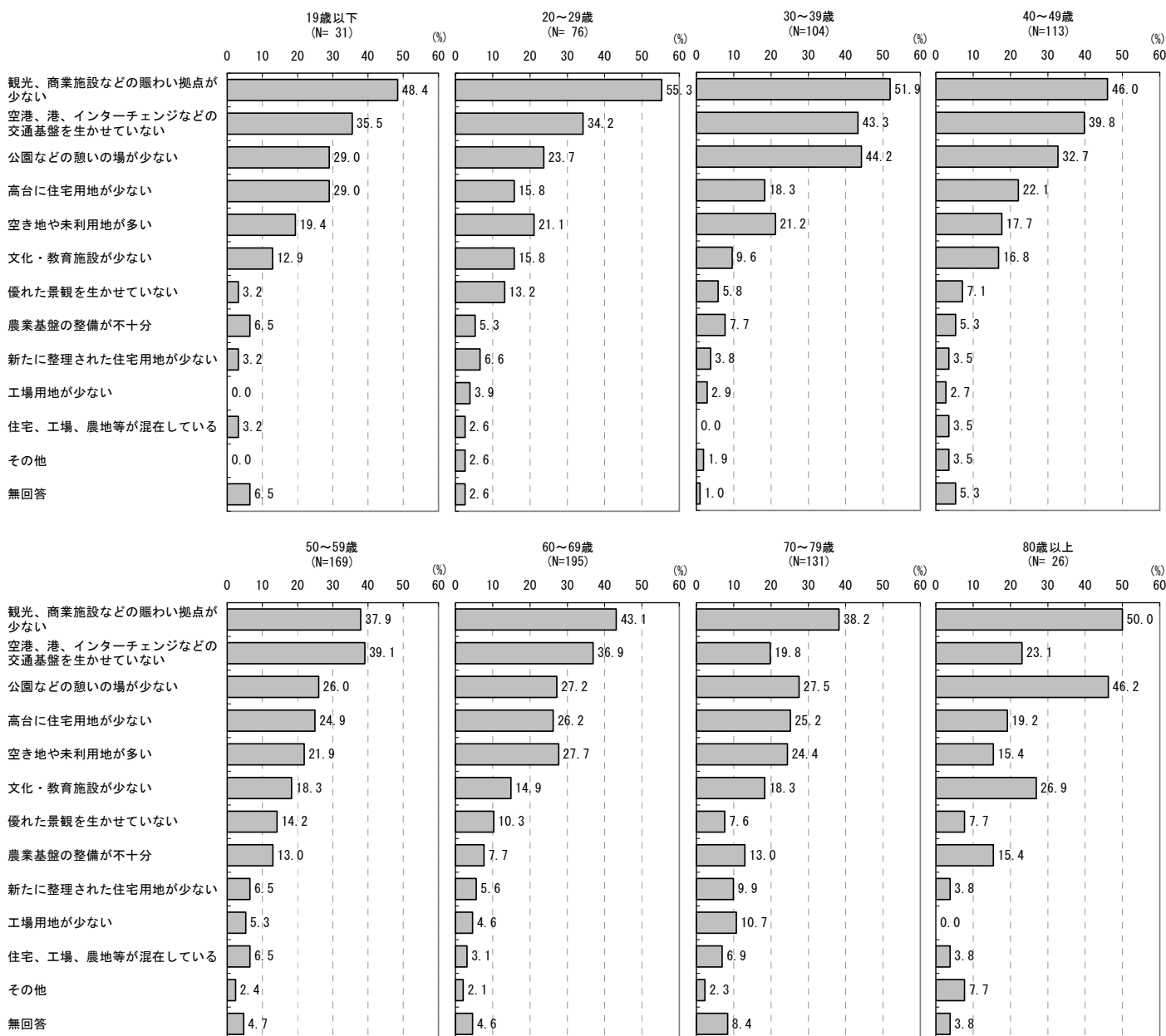
クロス集計



【性別】

男性においては「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かせていない」が最も多く、女性においては「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が最も多くなっている。

また、女性では「公園などの憩いの場が少ない」で、男性を 8.4 ポイント上回っている。

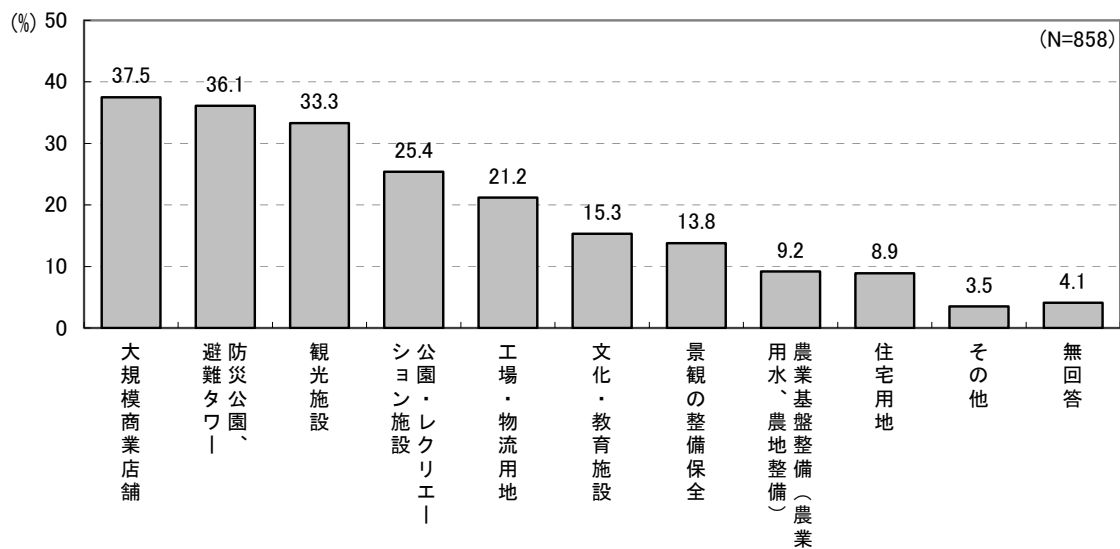


【年代別】

50歳代では「空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かしていない」が最も多く、その他の年代では「観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない」が最も多くなっている。また、子育て世代である30歳代と高齢者層の80歳以上で「公園などの憩いの場が少ない」が、他の年代に比べて多くなっている。

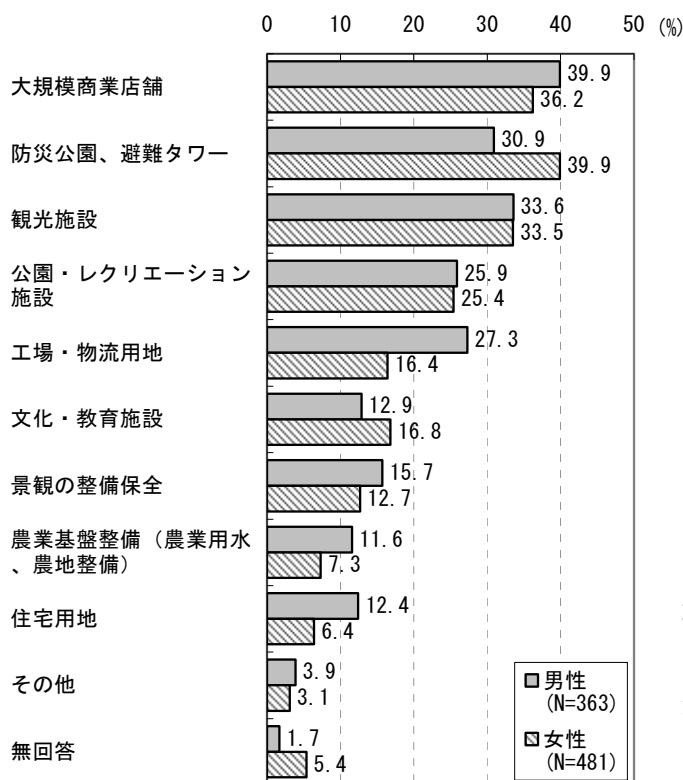
問18 あなたは、市の活性化には何が重要だと思いますか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



市の活性化に必要なものについては、「大規模商業店舗」が37.5%と最も多く、次いで「防災公園、避難タワー」が36.1%、「観光施設」が33.3%などとなっている。誘客施設だけでなく、防災への関心が高いことが分かる。

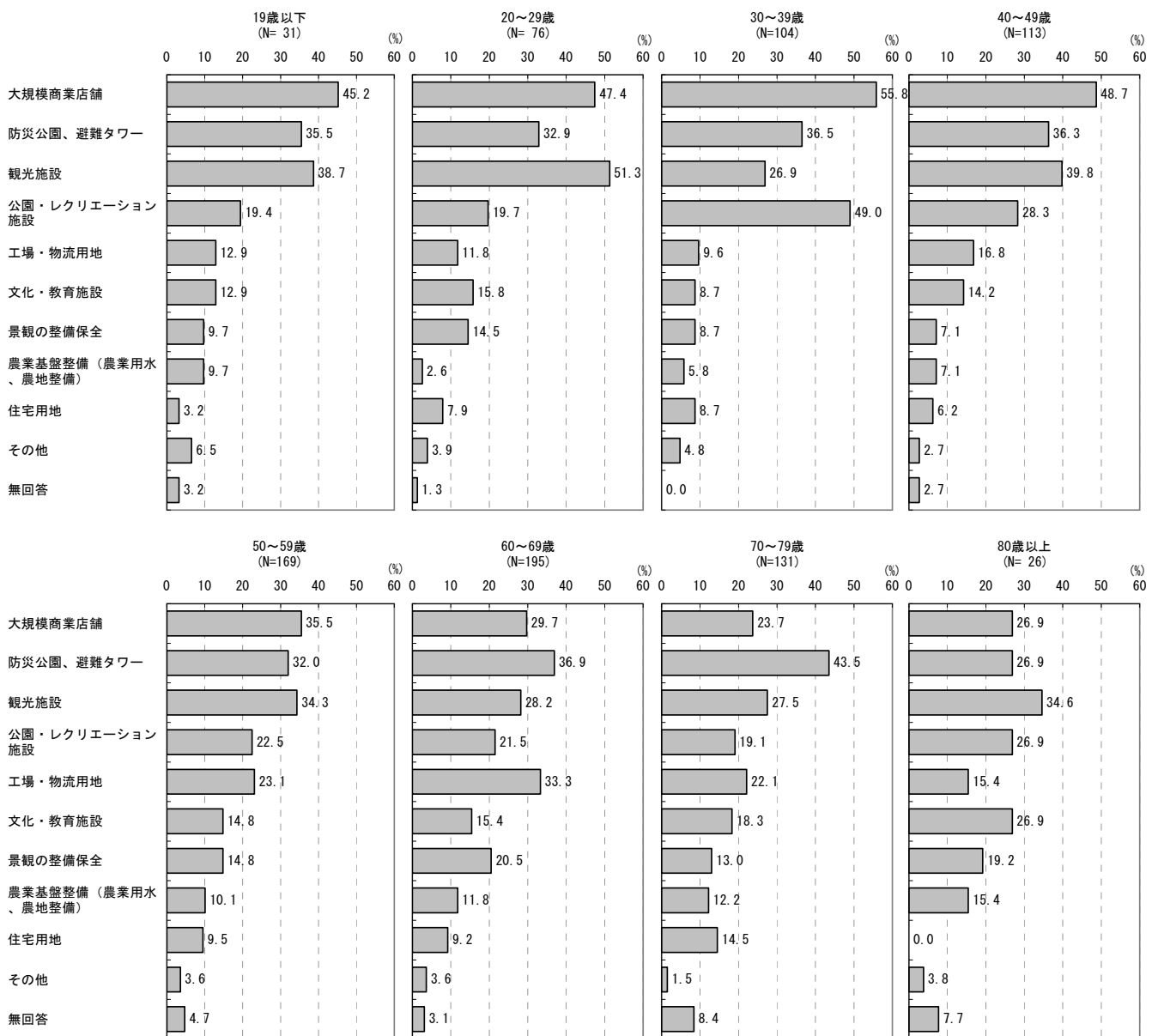
クロス集計



【性別】

男性においては「大規模商業店舗」が最も多く、女性においては「防災公園、避難タワー」が最も多く、男性を9.0ポイント上回っている。

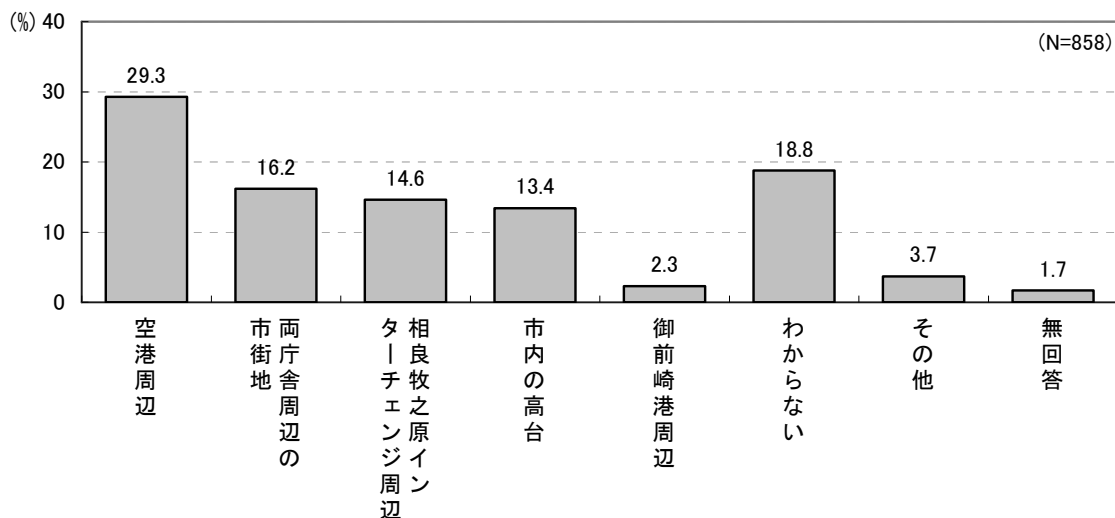
また、男性では「工場・物流用地」で10.9ポイント、「住宅用地」で6.0ポイント、女性を上回っている。



【年代別】

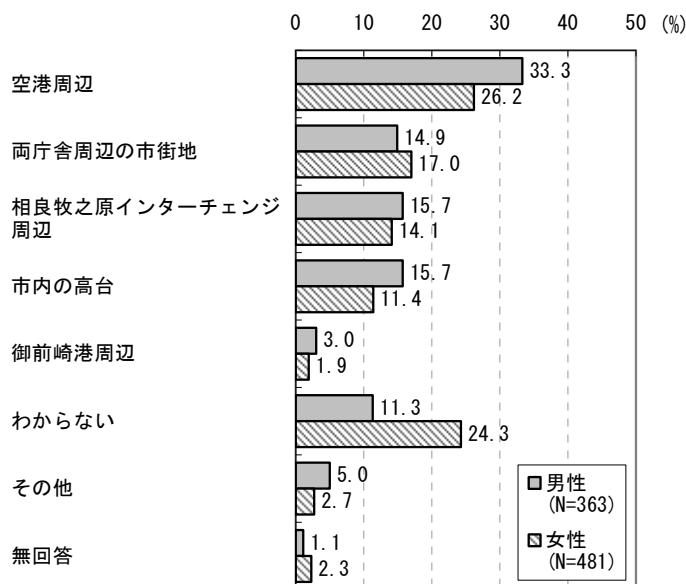
19歳以下、30～50歳代では「大規模商業店舗」が最も多く、20歳代、80歳以上では「観光施設」、60～70歳代では「防災公園、避難タワー」が最も多くなっている。また、子育て世代である30歳代では「公園・レクリエーション施設」、80歳以上では「文化・教育施設」、60歳代では「工場・物流用地」や「景観の整備保全」が、他の年代に比べて多くなっている。

問19 あなたは、市内のどこの場所を活性化したらよいと思いますか？
 あてはまるものに1つ〇印をつけてください。



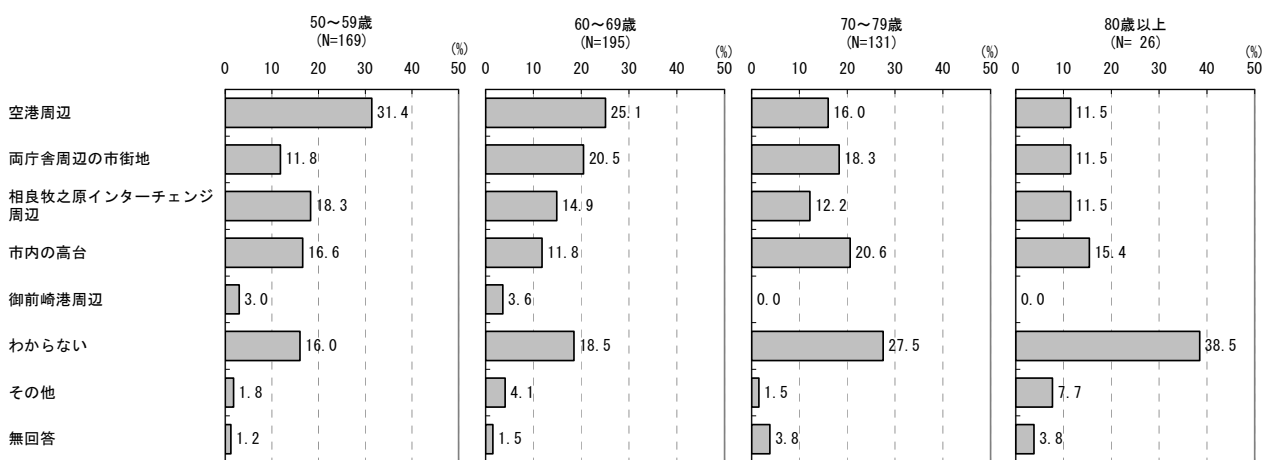
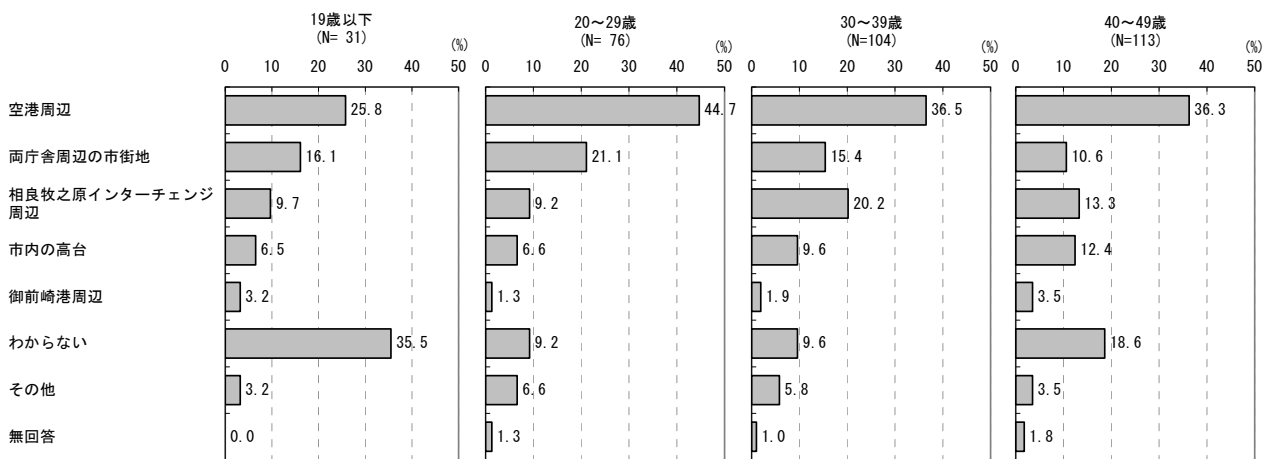
活性化したらよいと思う市内の場所については、「空港周辺」が 29.3%と最も多く、次いで「両庁舎周辺の市街地」が 16.2%、「相良牧之原インターチェンジ周辺」が 14.6%、「市内の高台」が 13.4% などとなっている。

クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっているものの、男性においては「空港周辺」で、女性を 7.1 ポイント上回っている。

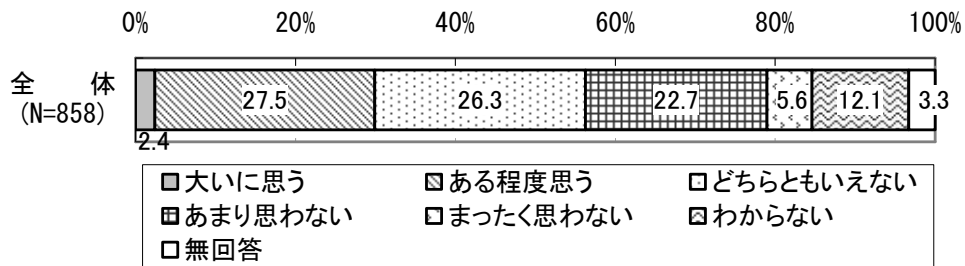


【年代別】

70歳未満では「空港周辺」が多く、70歳以上では「市内の高台」が多くなっている。

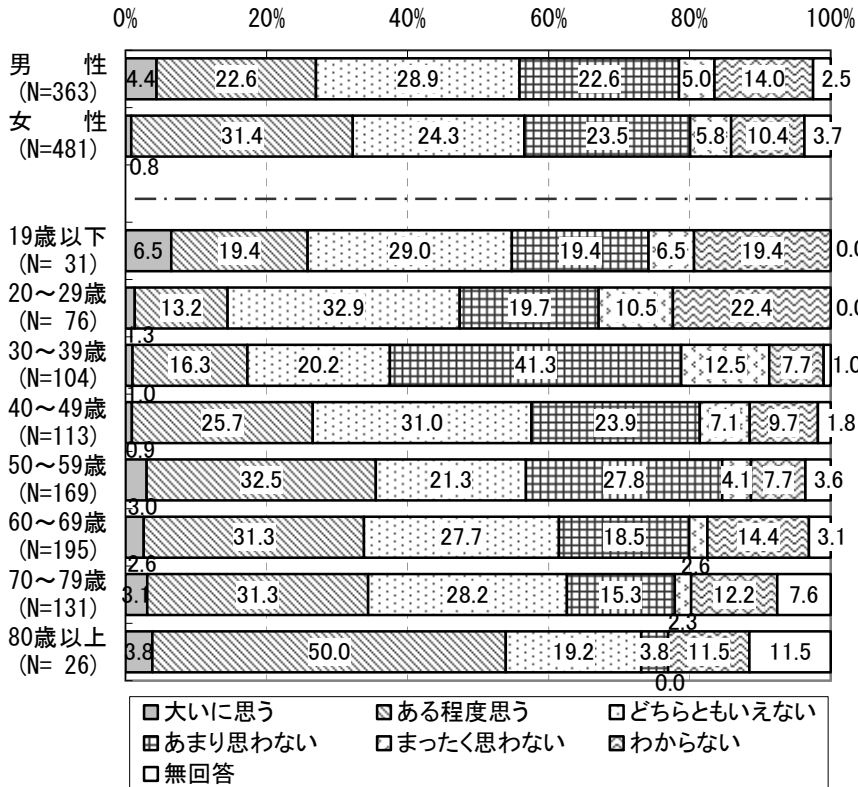
<子育て環境について>

問20 あなたは、牧之原市は子どもを産み育てやすい環境だと思いますか？
 あてはまるものに1つ○印をつけてください。



子育て環境については、「(産み育てやすいと) ある程度思う」が27.5%と3割近くを占め最も多く、「大いに思う」(2.4%)と合わせると、“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が約3割を占めている。一方で、「あまり思わない」が22.7%と2割以上を占め、「まったく思わない」(5.6%)と合わせると、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が3割近くを占めている。

クロス集計



【性別】

男性においては、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が“子どもを産み育てやすい環境だと思う”をやや上回っているものの、女性においては“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が3割以上を占め、“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”を上回っている。

【年代別】

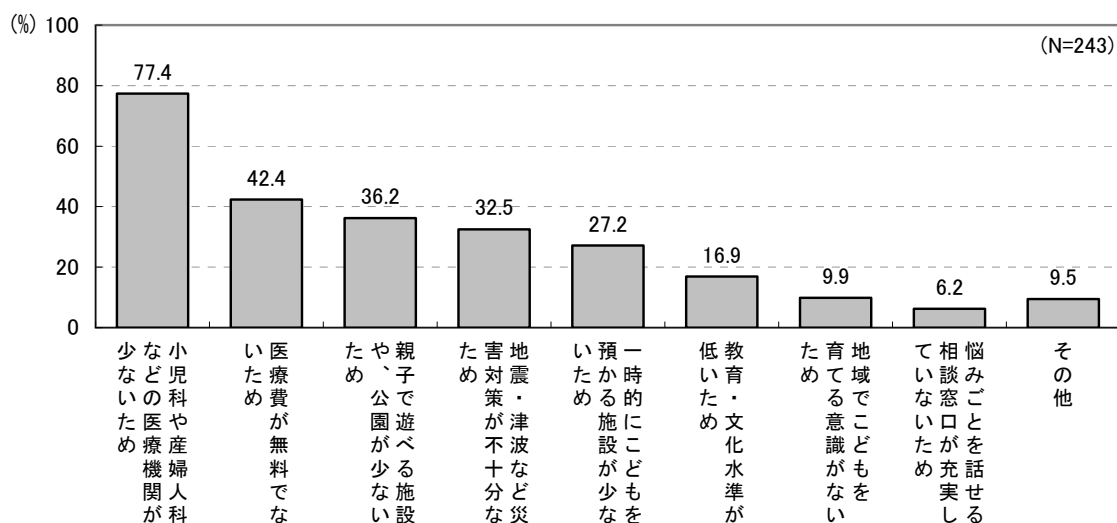
30歳代において“子どもを産み育てやすい環境だと思わない”が半数以上を占めている。

一方で、80歳以上では“子どもを産み育てやすい環境だと思う”が半数以上を占めている。

(問 20 で「4 あまり思わない」または「5 まったく思わない」と答えた方にお聞きします。)

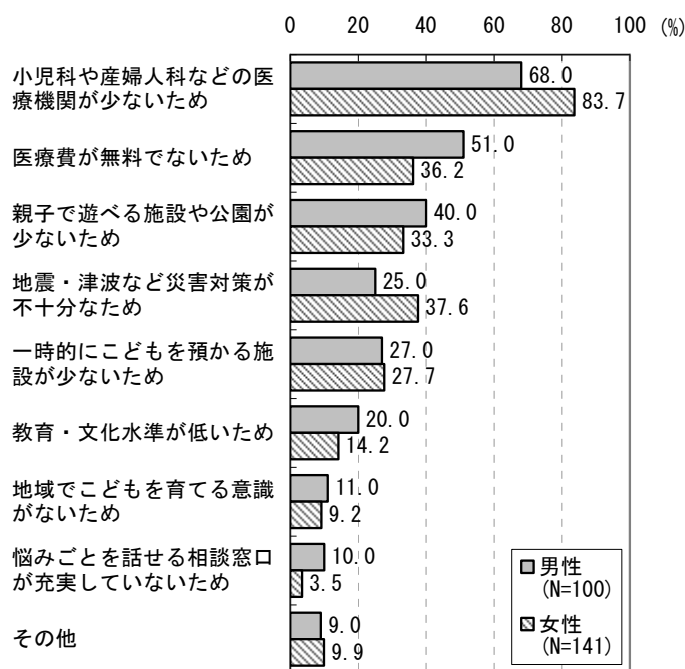
問 21 こどもを産み育てやすいと思わない理由は何ですか？

次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。



問 20 で「あまり思わない」または「まったく思わない」と回答した 243 人にこどもを産み育てたいと思わない理由についてうかがったところ、「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」が 77.4%と最も多く、次いで「医療費が無料でないため」が 42.4%、「親子で遊べる施設や、公園が少ないため」が 36.2%などとなっている。

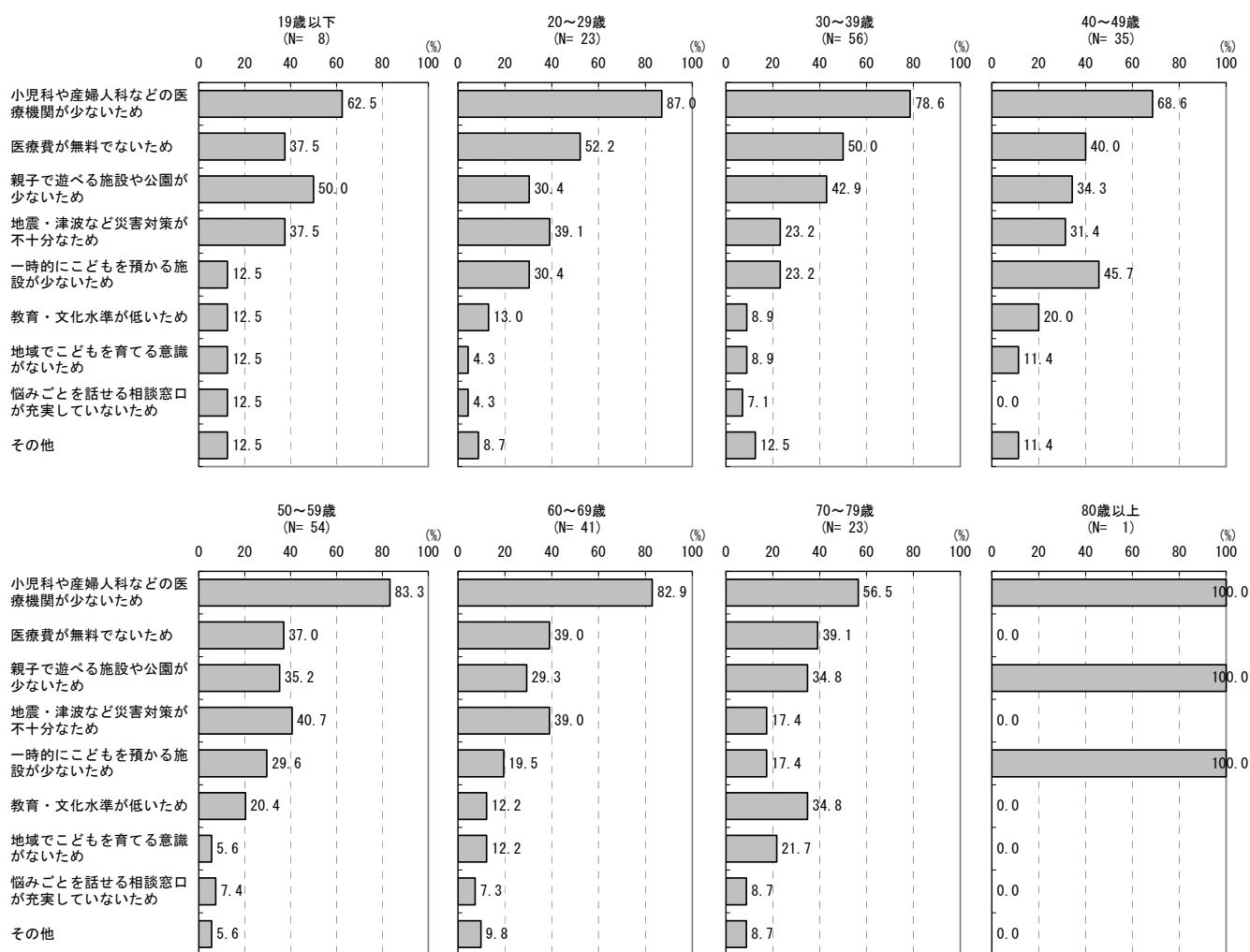
クロス集計



【性別】

回答割合の高い項目は同様の傾向となっているものの、男性においては「医療費が無料でないため」で女性を 14.8 ポイント上回っている。

女性においては、「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」で男性を 15.7 ポイント、「地震・津波など災害対策が不十分なため」で 12.6 ポイント上回っている。



【年代別】

すべての年代において「小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため」が最も多くなっている。また、30歳未満、50～60歳代では「地震・津波など災害対策が不十分なため」が、20～40歳代では「一時的に子どもを預かる施設が少ないため」が、70歳代では「教育・文化水準が低い」が、他の年代に比べて多くなっている。

<牧之原市の行政サービスについて>

問22 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？

また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に○印をお付けください。

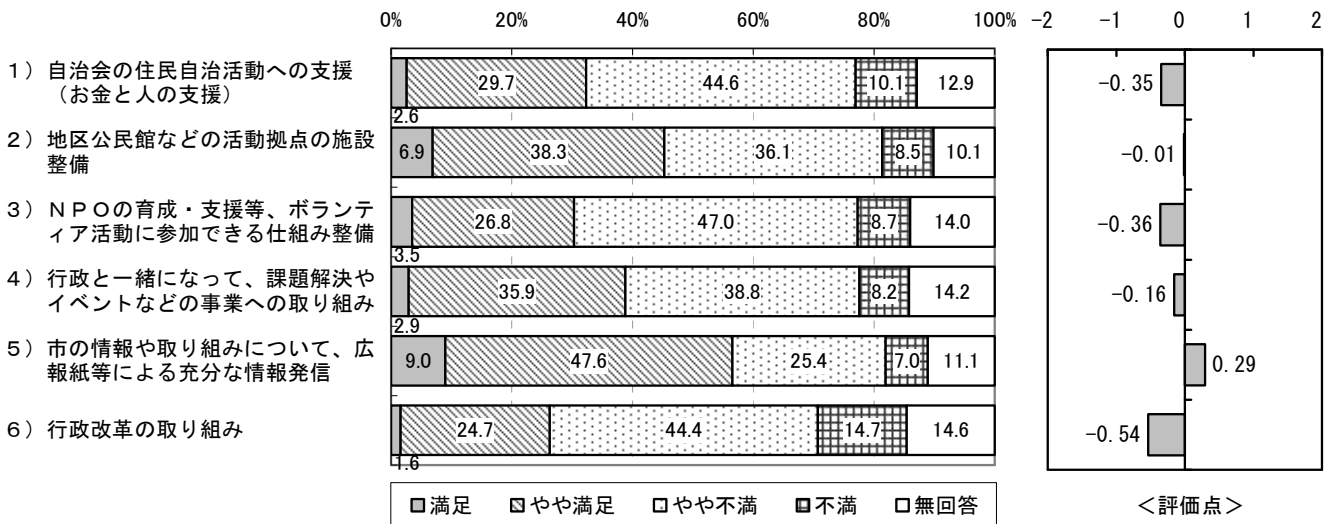
※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれることと思いますが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

評価点の算出方法

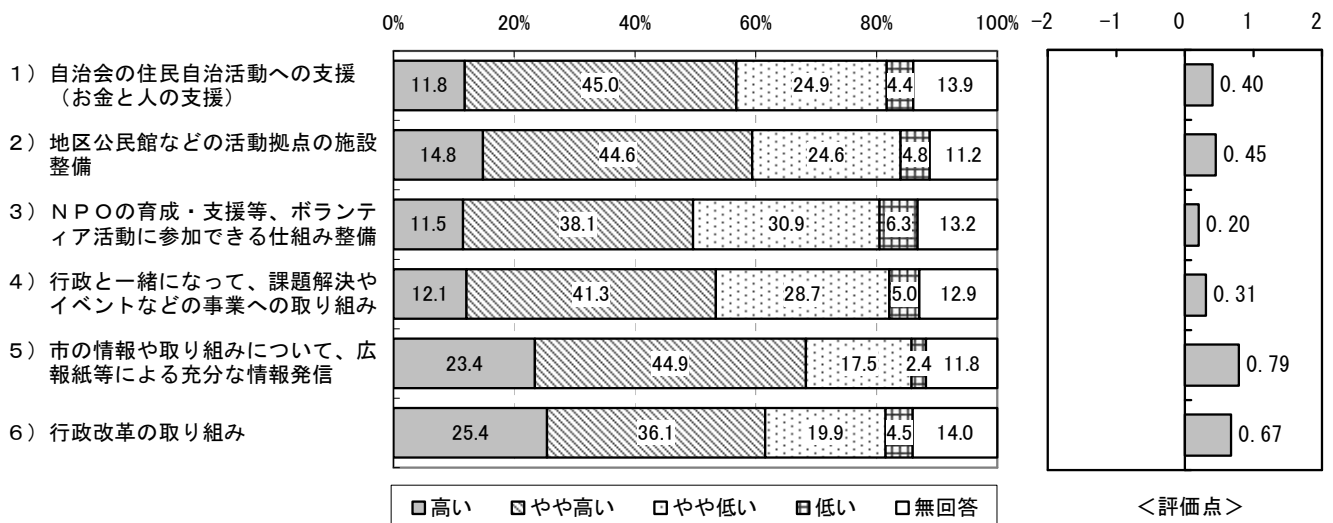
「満足」「重要度高い」と回答した人を+2点、「やや満足」「重要度やや高い」は+1点、「やや不満」「重要度やや低い」は-1点、「不満」「重要度低い」を-2点とし、それぞれの点数にそれぞれの回答者数を掛け、それらを合計した数字を回答者数（「無回答」は回答者数に含めない）で割り、算出している。評価点は、プラスの大きいものは評価が高く、マイナスは評価が低いことを表している。

《 みんなが主役 想いが実現するまち 》

満足度

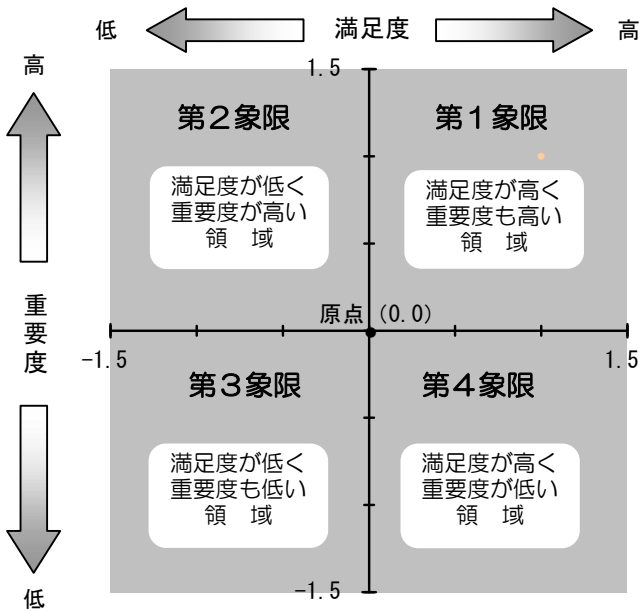


重要度



《みんなが主役 想いが実現するまち》で満足度が高いのは、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の 0.29 点であり、唯一プラスの評価点となっている。一方、『6 行政改革の取り組み』は、「やや不満」と「不満」の合計である“不満である”が 59.1%と約6割を占め、評価点も-0.54点と低くなっている。

《みんなが主役 想いが実現するまち》で重要度が高いのは、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』の 0.79 点であり、満足度、重要度ともに高い取り組みとなっている。次いで『6 行政改革の取り組み』が 0.67 点と高く、この2項目において 0.50 点を超えている。

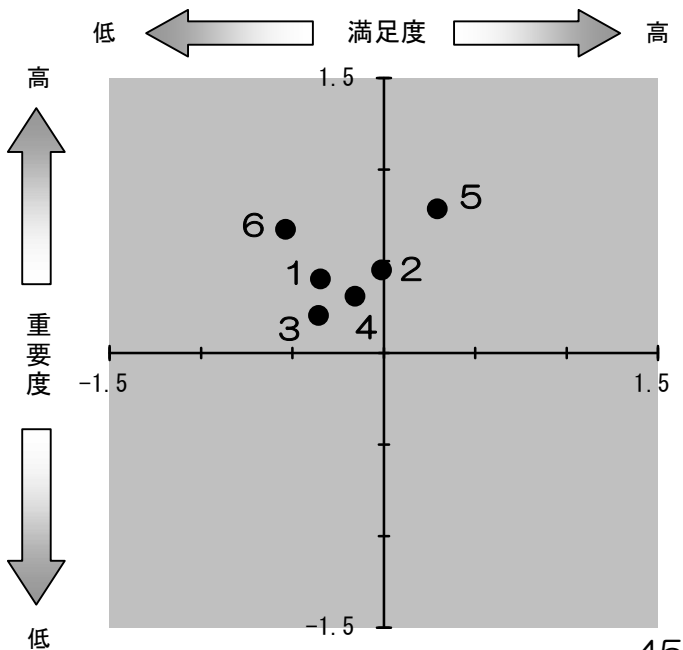


参考

各取り組みについて満足度、重要度の評価点を散布図にした場合、左のグラフのように、4つの象限に評価をみることができる

*散布図中の番号は、各取り組みの通し番号であるため、各散布図上記表を参照

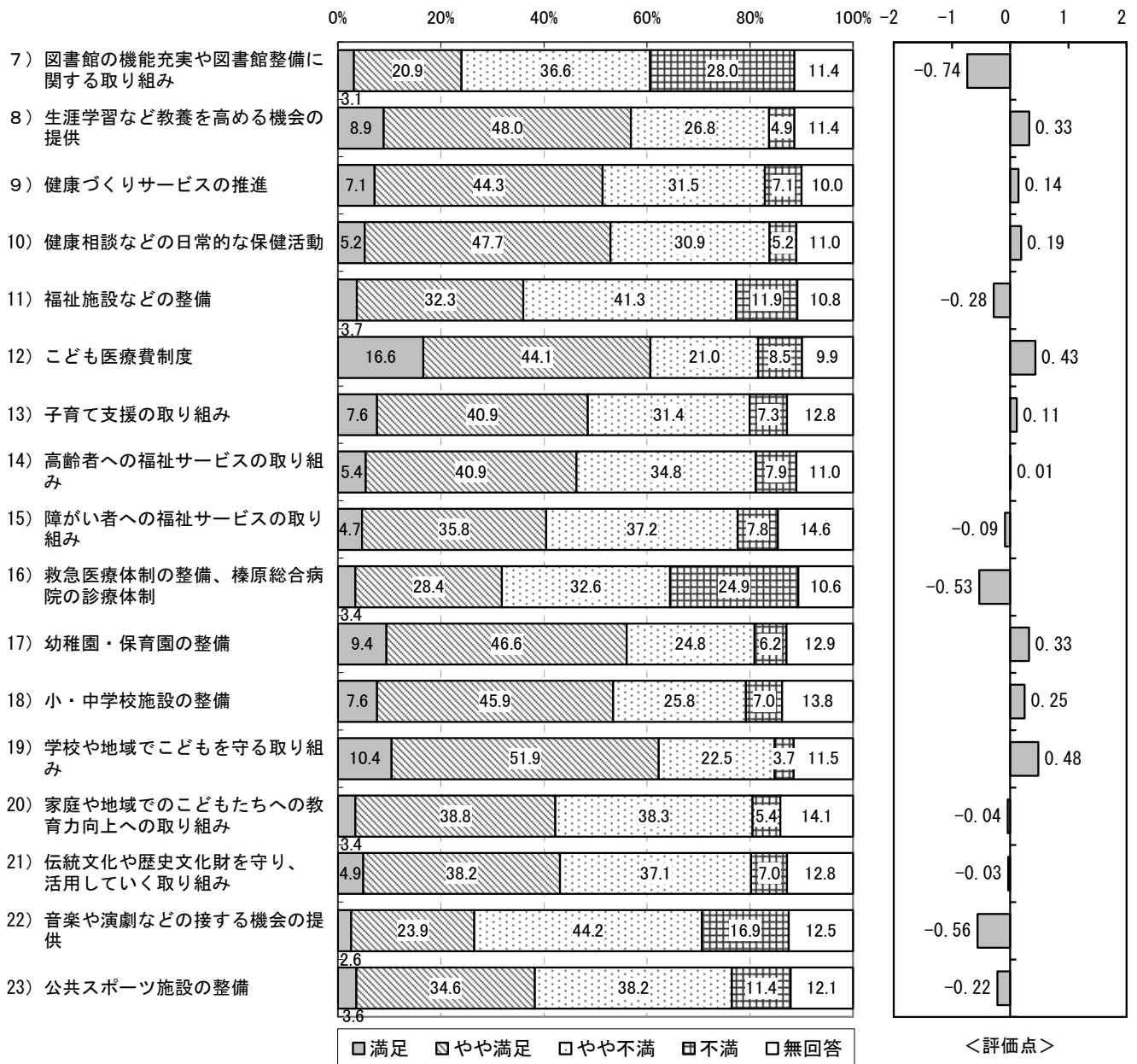
《みんなが主役 想いが実現するまち》		満足度	重要度
1	自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	-0.35	0.40
2	地区公民館などの活動拠点の施設整備	-0.01	0.45
3	NPOの育成・支援など、ボランティア活動に参加できる仕組み整備	-0.36	0.20
4	行政と一緒に、課題解決やイベントなどの事業への取り組み	-0.16	0.31
5	市の情報や取り組みについて、広報紙などによる十分な情報発信	0.29	0.79
6	行政改革の取り組み	-0.54	0.67
平均		-0.19	0.47



散布図でみると、『5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信』が、満足度、重要度ともに高い第1象限の領域にある。それ以外の項目については、いずれも満足度がマイナスで重要度がプラスの第2象限の領域に位置している。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

満足度

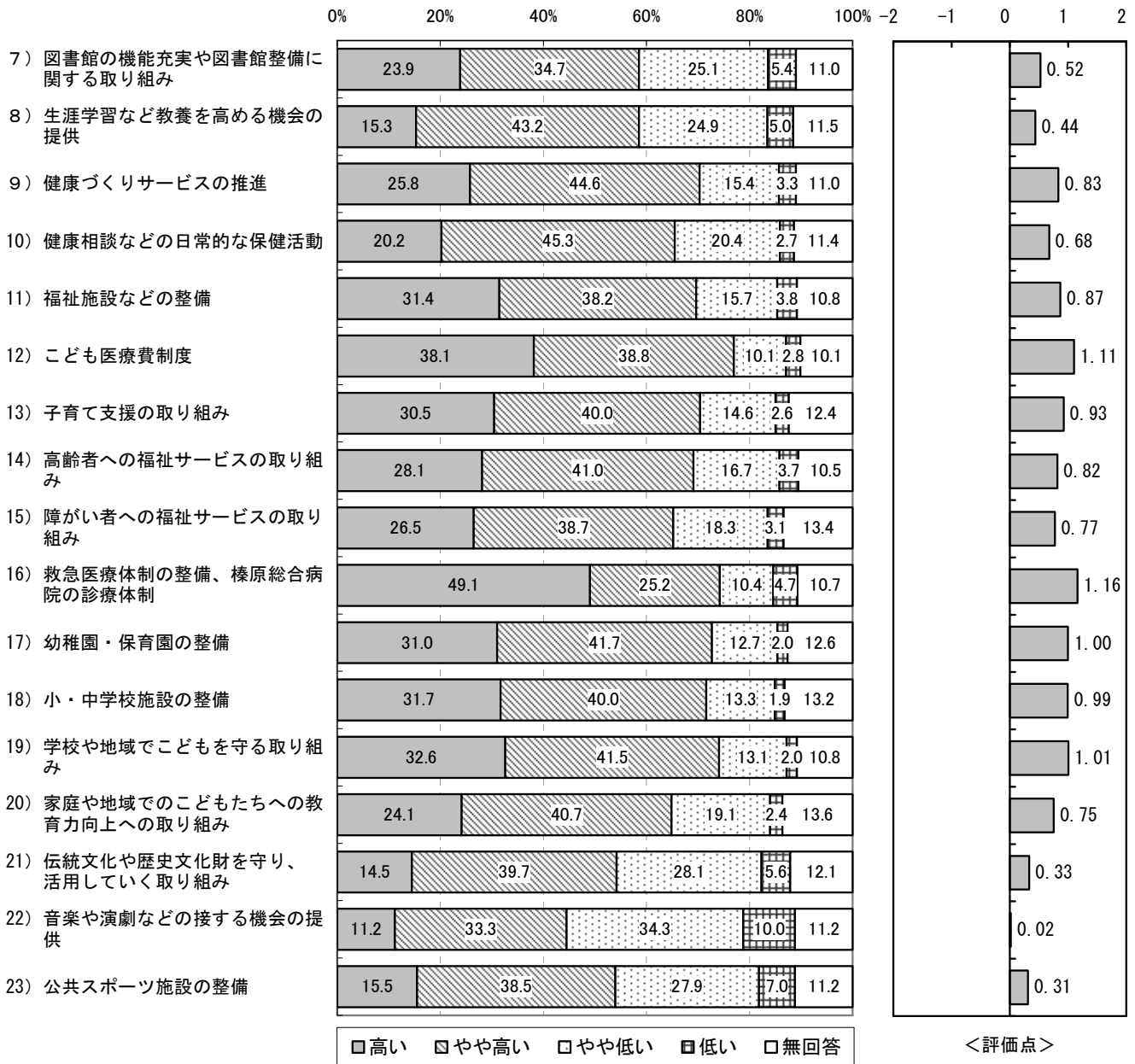


《支えあい学びあう幸せのまち》で満足度が高いのは、『19 学校や地域で子どもを守る取り組み』で、「満足」が1割を超えており、評価点が0.48点となっている。次いで『12 こども医療費制度』が0.43点で続いている。

一方、『7 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み』は、「不満」が28.0%と多く、評価点も-0.74点と低く、次いで『22 音楽や演劇などの接する機会の提供』が-0.56点、『16 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』が-0.53点で続いている。

《 支えあい学びあう幸せのまち 》

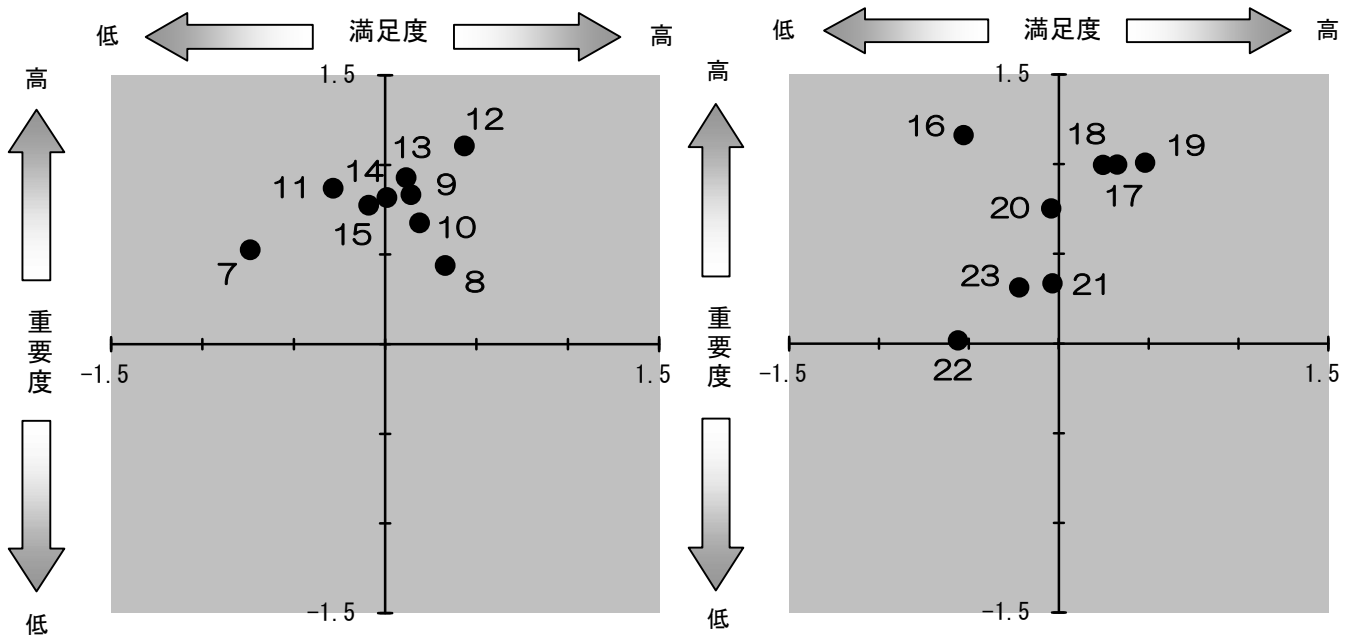
重要度



《支えあい学びあう幸せのまち》で重要度が高いのは、『16 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』で、「高い」が49.1%と約半数を占めており、評価点は1.16点で、全項目の中で最も高い評価点となっている。次いで『12 こども医療費制度』が1.11点、『19 学校や地域で子どもを守る取り組み』が1.01点、『17 幼稚園・保育園の整備』が1.00点となっており、この4項目において1.00点を超えている。

《支えあい学びあう幸せのまち》		満足度	重要度
7	図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	-0.74	0.52
8	教養を高める機会の提供・サークル活動への参加機会の提供	0.33	0.44
9	健康づくりサービスの推進	0.14	0.83
10	健康相談などの日常的な保健活動	0.19	0.68
11	福祉施設などの整備	-0.28	0.87
12	こども医療費制度	0.43	1.11
13	子育て支援の取り組み	0.11	0.93
14	高齢者への福祉サービスの取り組み	0.01	0.82
15	障がい者への福祉サービスの取り組み	-0.09	0.77
16	救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制	-0.53	1.16
17	幼稚園・保育園の整備	0.33	1.00
18	小・中学校施設の整備	0.25	0.99
19	学校や地域で子どもを守る取り組み	0.48	1.01
20	家庭や地域での子どもたちへの教育力向上への取り組み	-0.04	0.75
21	文化や歴史の活用などの取り組み	-0.03	0.33
22	音楽や演劇などの接する機会の提供	-0.56	0.02
23	公共スポーツ施設の整備	-0.22	0.31
平均		-0.01	0.74

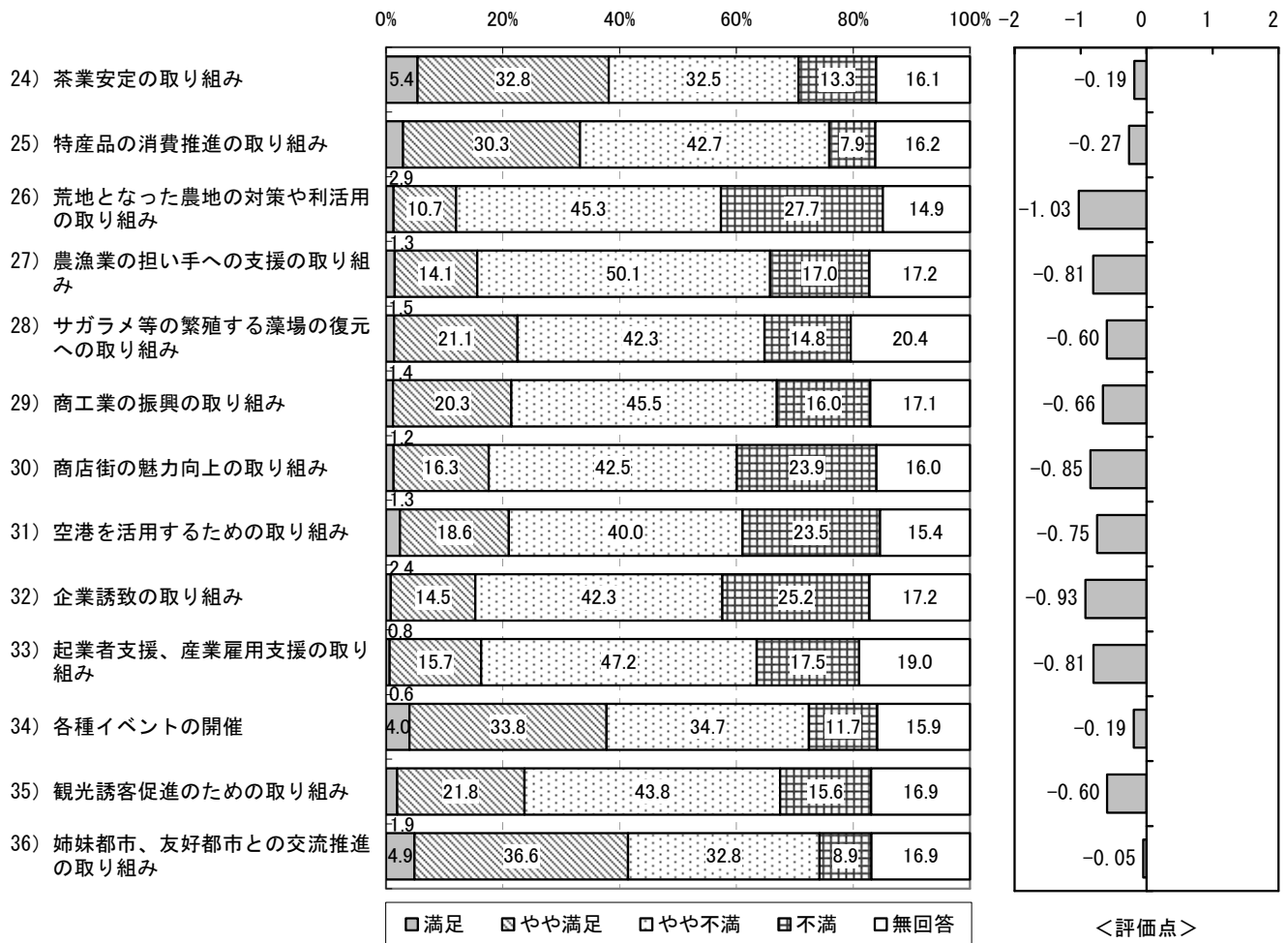
* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している



散布図でみると、『16 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制』が、第2象限の上方に位置しており、特に重要度が高くなっていることが分かる。また、『22 音楽や演劇などの接する機会の提供』を除くすべての項目で重要度は高くなっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

満足度

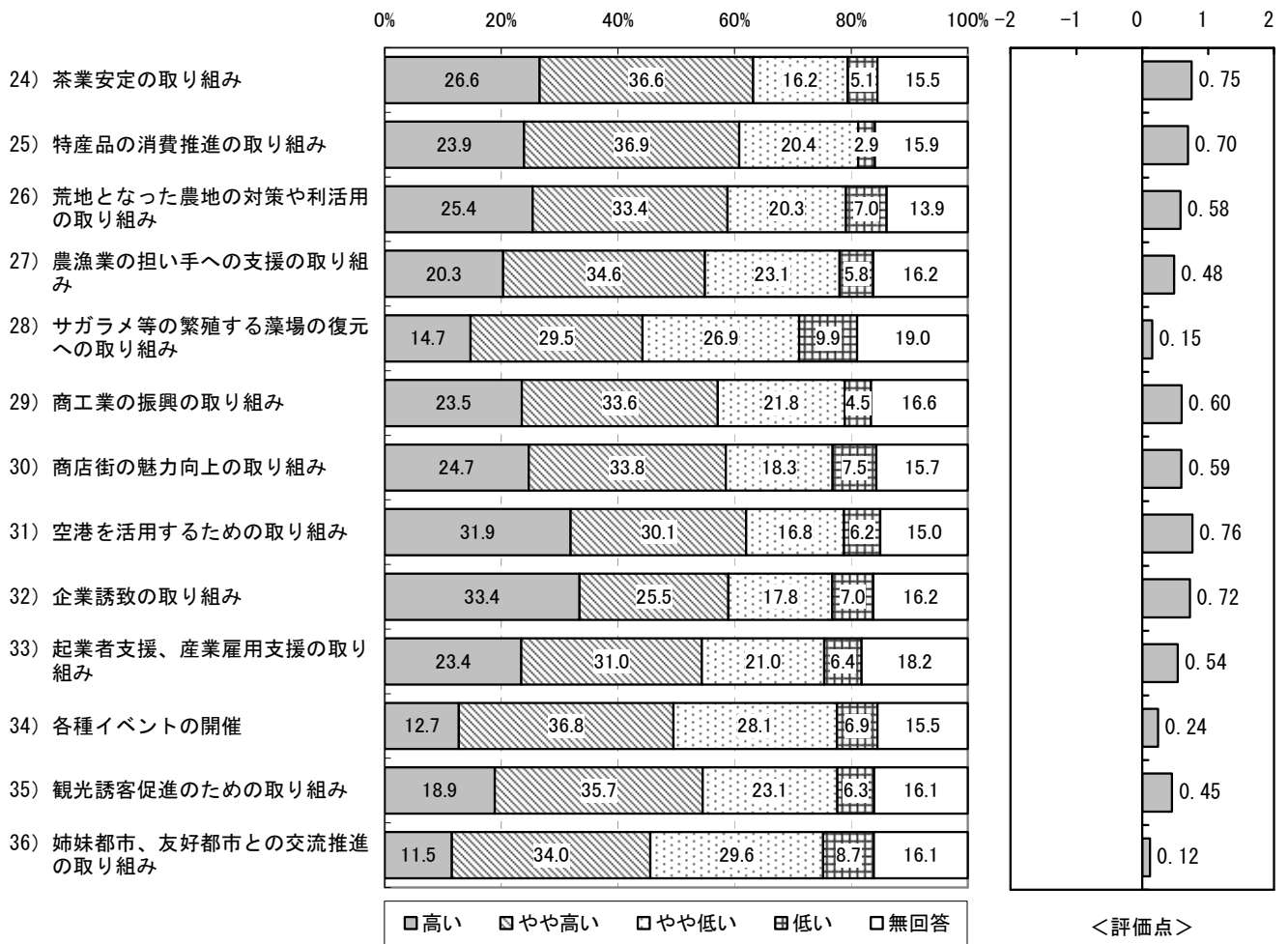


《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で満足度が高いのは、『36 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み』で、評価点が-0.05 点となっており、最も満足度が高い項目でもマイナスの評価点となっている。

最も満足度が低い項目である『26 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』では、「不満」が27.7%と3割近くを占め、評価点が-1.03 点となっている。

《 知恵や技術を活かした活力あるまちづくり 》

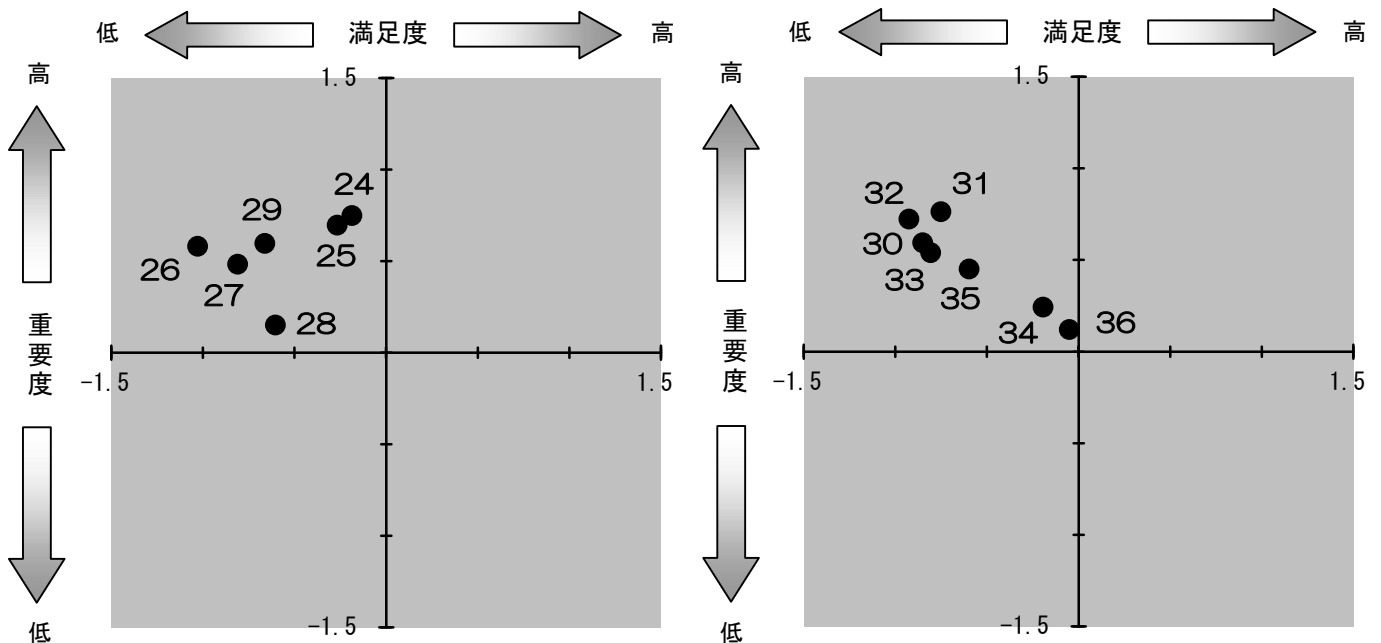
重要度



《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》で重要度が高いのは、『31 空港を活用するための取り組み』で「高い」が31.9%、『32 企業誘致の取り組み』で33.4%と、この2項目で3割を超え、評価点はそれぞれ0.76点、0.72点となっている。その他、『24 茶業安定の取り組み』が0.75点、『25 特産品の消費推進の取り組み』が0.70点となっており、この4項目で0.70点を超えている。

《知恵や技術を活かした活力あるまちづくり》		満足度	重要度
24	茶業安定の取り組み	-0.19	0.75
25	特産品の消費推進の取り組み	-0.27	0.70
26	荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	-1.03	0.58
27	農漁業の担い手への支援の取り組み	-0.81	0.48
28	サガラメなどの繁殖する藻場の復元への取り組み	-0.60	0.15
29	商工業の振興施策の取り組み	-0.66	0.60
30	商店街の魅力向上の取り組み	-0.85	0.59
31	空港を活用するための取り組みの推進	-0.75	0.76
32	企業誘致の取り組み	-0.93	0.72
33	起業家支援、産業雇用支援の取り組み	-0.81	0.54
34	各種イベントの開催	-0.19	0.24
35	観光誘客促進のための取り組み	-0.60	0.45
36	姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み	-0.05	0.12
平均		-0.59	0.51

* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している

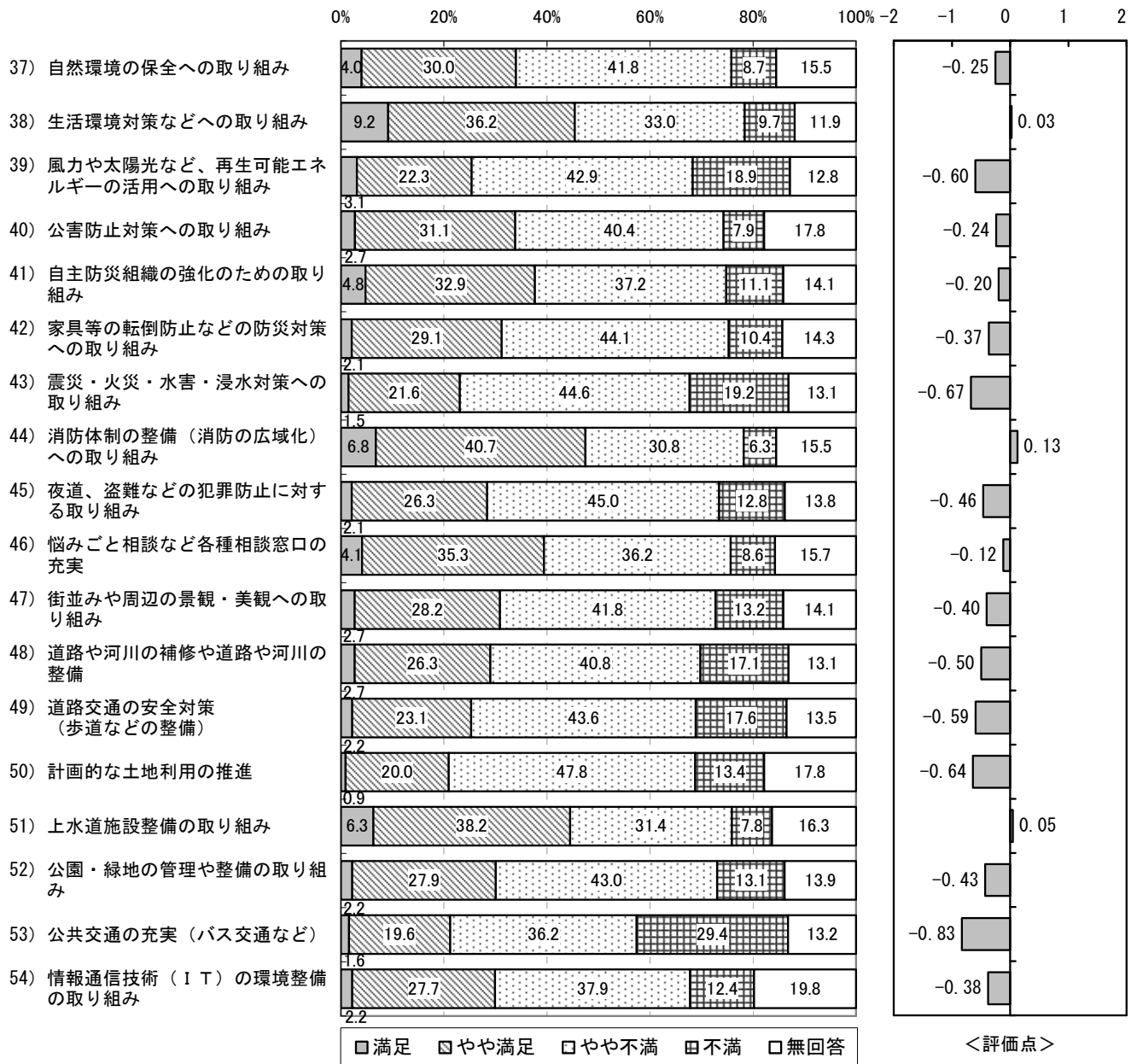


散布図でみると、いずれの項目も重要度の評価点はプラスで、満足度の評価点はマイナスの第2象限に位置している。

その中で、『26 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み』は、全項目において最も満足度が低くなっている。各項目の平均で算出した4つの将来都市像ごとの満足度・重要度では、最も満足度が低い分野となっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

満足度

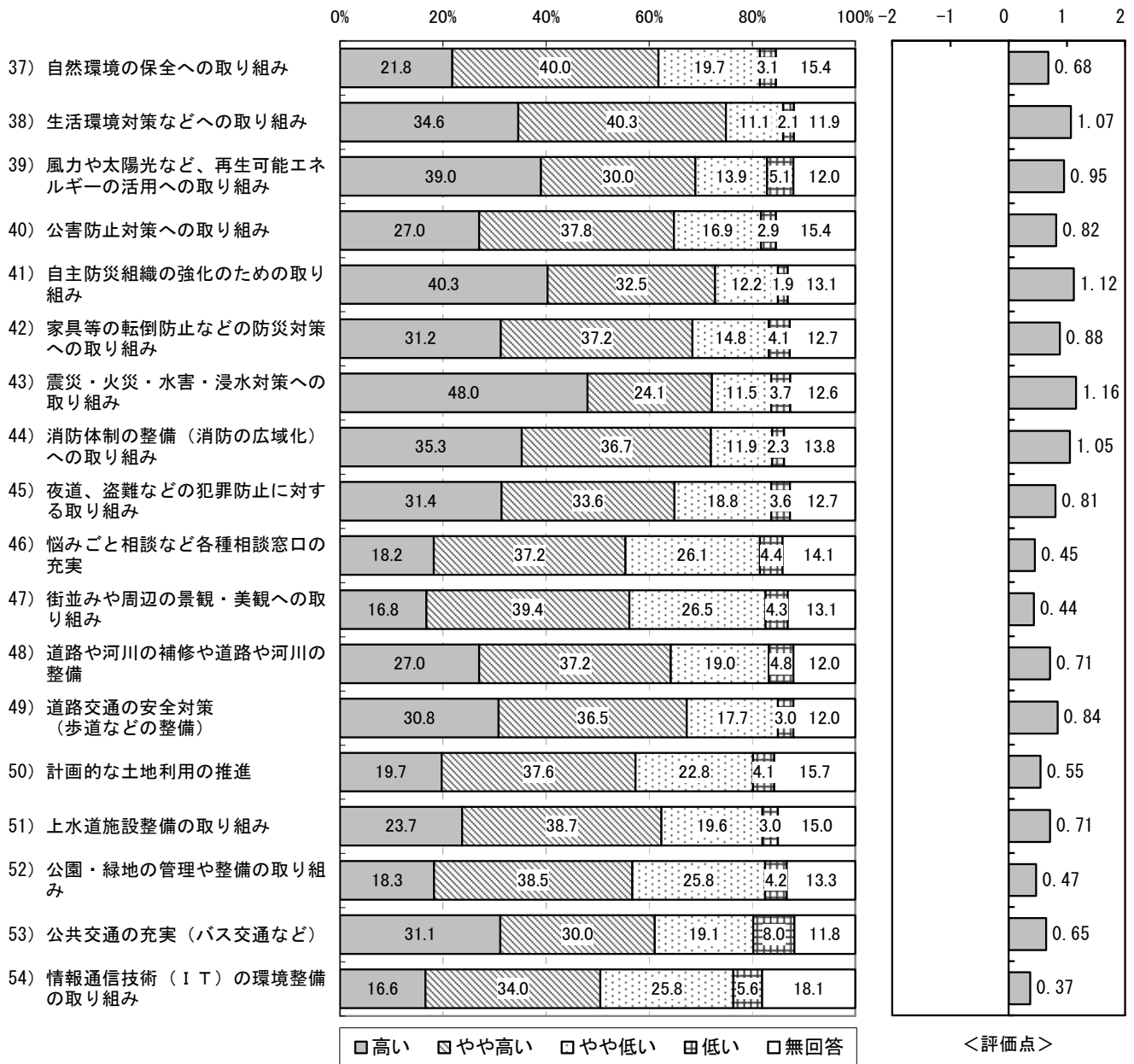


《うみ・そら・みどりと共生するまち》で満足度が高いのは、『38 生活環境対策などへの取り組み』で、「満足」が約1割を占め、評価点が0.03点となっている。その他、『44 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』が0.13点、『51 上水道施設整備の取り組み』が0.05点となっており、この3項目で満足度がプラスの評価点となっている。

一方、『53 公共交通の充実』では、「不満」が29.4%と約3割を占め最も高く、評価点も-0.83点と低い。次いで『43 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、-0.67点となっている。

《 うみ・そら・みどりと共生するまち 》

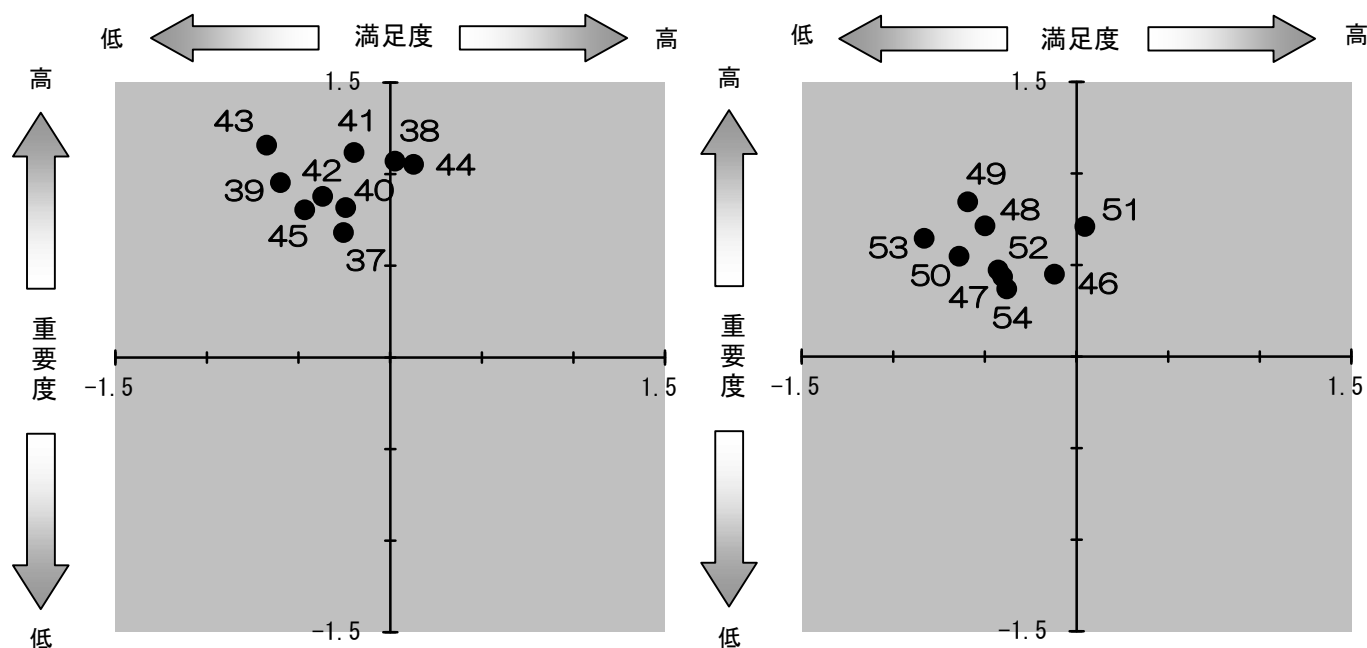
重要度



《うみ・そら・みどりと共生するまち》で重要度が高いのは、『43 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み』で、「高い」が48.0%と半数近くを占め、評価点は1.16点と最も高くなっている。次いで『41 自主防災組織の強化のための取り組み』が1.12点、『38 生活環境対策などへの取り組み』が1.07点、『44 消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み』が1.05点と続いており、この4項目において1.00点以上となっている。

《うみ・そら・みどりと共生するまち》		満足度	重要度
37	自然環境の保全への取り組み	-0.25	0.68
38	生活環境対策などへの取り組み	0.03	1.07
39	風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	-0.60	0.95
40	公害防止対策への取り組み	-0.24	0.82
41	自主防災組織の強化のための取り組み	-0.20	1.12
42	家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	-0.37	0.88
43	震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	-0.67	1.16
44	消防体制の整備（消防の広域化）への取り組み	0.13	1.05
45	夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	-0.46	0.81
46	悩みごと相談など各種相談窓口の充実	-0.12	0.45
47	街並みや周辺の景観・美観への取り組み	-0.40	0.44
48	道路や河川の補修や道路や河川の整備	-0.50	0.71
49	道路交通の安全対策	-0.59	0.84
50	計画的な土地利用の推進	-0.64	0.55
51	上水道施設整備の取り組み	0.05	0.71
52	公園・緑地の管理や整備の取り組み	-0.43	0.47
53	公共交通の充実	-0.83	0.65
54	情報通信技術（IT）の環境整備の取り組み	-0.38	0.37
平均		-0.36	0.76

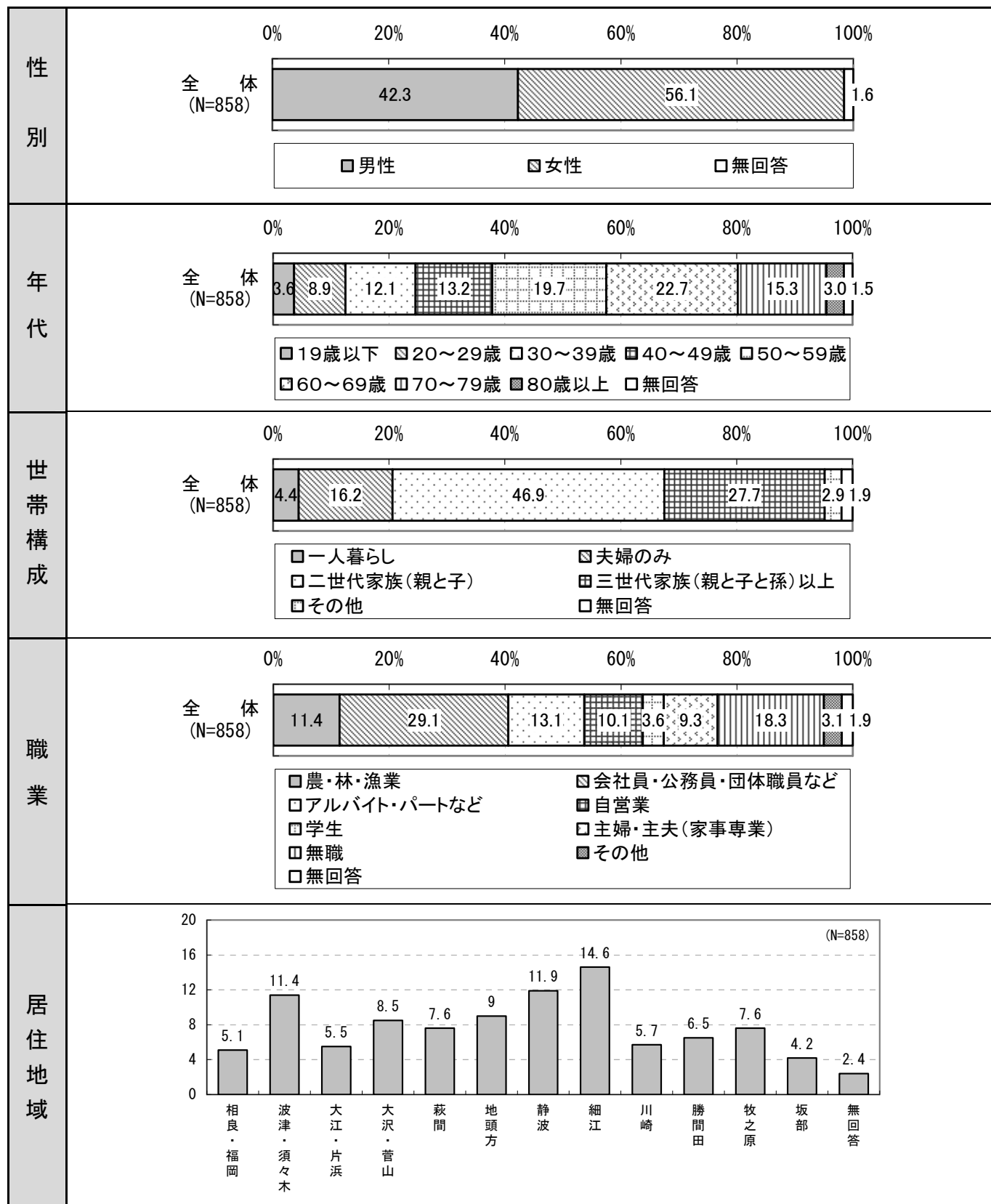
* 1つの散布図では分かりにくいので、2つの散布図に分けて表記している



散布図でみると、『38 生活環境対策などへの取り組み』、『44 消防体制の整備への取り組み』、『51 上水道施設整備の取り組み』が、満足度も重要度も高い第1象限に位置している。

また、重要度はいずれも高く、マイナスの項目はみられない。各項目の平均で算出した4つの将来都市像ごとの満足度・重要度では、最も重要度が高い分野となっている。

<回答者の属性>



性別は、「男性」が42.3%に対して、「女性」が56.1%と、女性の方が13.8ポイント高くなっている。年代は、「60～69歳」が22.7%で最も多く、次いで「50～59歳」が19.7%、「70～79歳」が15.3%の順となっている。

居住地は、「細江」が14.6%で最も多く、次いで「静波」が11.9%の順となっている。

3 調査票

牧之原市の取り組みに あなたの声を！

牧之原市 市民意識調査

～ 調査ご協力 の お 願 い ～

日ごろより市政推進のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、牧之原市では、平成19年度から平成27年度を目標年次とする「第1次牧之原市総合計画」に基づき、市の基本理念である幸福実現都市を実現するために、様々な取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、近年、私たちを取り巻く社会経済情勢は激変し、さらには、東日本大震災の教訓から「地震津波」への備えなど、新たな課題も山積しており、厳しい財政状況の中においては、どこに重点を置くか判断し、スピード感を持って課題を解決していくことが求められています。

このような中、市では、次期総合計画を1年前倒し、平成27年度からスタートさせるため、今年度から現行総合計画の見直しに着手してまいります。

今回の調査は、次期総合計画の策定にあたり、市民の皆さんの意向を把握し、よりよい牧之原市を作るために実施するものです。

調査の対象は、市内にお住まいの16歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた1,400人の方々としており、この度、あなたに回答をお願いすることとなりました。

調査結果は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしませんので、お考えのままをご記入ください。

昨年調査に比べ設問数が増え、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、牧之原市の発展のため、ご協力をよろしくお願いします。

なお、調査結果については、平成25年9月に公表を予定しています。

平成25年7月

牧之原市長 西原茂樹



■記入にあたってのお願い

1. この調査はあて名のご本人がご記入ください。

※ご本人が高齢等で記入できない場合は、お手数ですが、ご家族が聞き取り等でご記入ください（ご家族がご対応できない場合は職員が伺いますので、下記担当までご連絡ください）。

2. 回答は無記名でお願いします。

3. 回答は、設問ごとに（1つに○）、（3つ以内）などそれぞれ指定されています。

お間違えのないようお気を付けてください。

○は番号を囲むように濃くつけてください。例（①）

■調査票の返送と調査に関するお問合せ

調査票への記入が済みましたら、同封した返信用封筒により、市役所政策協働部企画課までご返送ください。（切手は不要です。）

お手数をお掛けしますが、お近くの郵便ポストへ7月26日（金）までにご投函ください。

この調査や質問内容についてのお問い合わせは下記までお願いします。

牧之原市 政策協働部 企画課（担当：北西・本間） 電話0548-23-0040

<牧之原市での暮らしについてお聞きします>

問1 あなたは、今お住まいの場所に今後とも住み続けたいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 住み続けたい

2. 市内の他の場所へ移りたい

3. 市外へ移りたい

4. わからない

(問1で「2 市内の他の場所へ移りたい」または「3 市外へ移りたい」と答えた方にお聞きします。)

→問2 他の地域へ移りたい理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 公共施設や商店がなく生活に不便だから

2. 通勤や通学などに交通面が不便だから

3. 道路などの生活基盤が整備されていないから

4. 子育てや教育環境が良くないから

5. 医療や介護の環境が良くないから

6. 自然環境が悪化しているから

7. 地震や津波などの被災のおそれがあるから

8. 人間関係やしきたり等が煩わしいから

9. 知人や親族がいないから

10. 故郷ではないから

11. 勤めたい会社が市内にないから

12. その他（具体的に： _____）

問3 あなたは、今現在、幸せだと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 大いに思う

2. ある程度思う

3. どちらともいえない

4. あまり思わない

5. まったく思わない

6. わからない

(問3 で「1 大いに思う」または「2 ある程度思う」と答えた方にお聞きします。)

→問4 幸せだと思う理由を、次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 健康であるから

2. 生きがいがあるから

3. 生活環境が良好であるから

4. 家族や友人との関係が良好だから

5. 治安が保たれているから

6. 住まいがあるから

7. 生活に余裕があるから

8. 災害がないから

9. 食生活が良好であるから

10. いい職場に勤めているから

11. 活躍できる場があるから

12. 社会貢献する場があるから

13. スポーツ活動が充実しているから

14. その他（具体的に： _____）

<原子力発電についてお聞きします>

問5 あなたは、浜岡原子力発電所の今後についてどう思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 浜岡原子力発電所は、停止しておいたほうがよい
2. 浜岡原子力発電所の安全が確認できれば、稼働したほうがよい
3. どちらともいえない
4. わからない
5. その他（具体的に： _____)

<牧之原市が今後目指すべき姿についてお聞きします>

問6 あなたは、牧之原市が今後目指すべき姿はどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 教育の充実したまち | 2. 地震・津波など災害への備えが万全なまち |
| 3. 自然環境を大切にしたまち | 4. 国際交流が盛んなまち |
| 5. 公共交通が利用しやすいまち | 6. 観光交流が活発なまち |
| 7. 医療・福祉が充実したまち | 8. 市民と行政が一緒に考え取り組むまち |
| 9. 子育て支援の充実したまち | 10. スポーツが盛んなまち |
| 11. 農水産業が盛んなまち | 12. 商工業の盛んなまち |
| 13. 道路交通の充実したまち | 14. 歴史文化財を生かしたまち |
| 15. その他（具体的に | ） |

問7 あなたは、次の5年間に、市が重点的に取り組むべき分野はどれだと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 1. 防災・減災 | 2. 観光交流 | 3. 健康増進 |
| 4. 保健医療 | 5. 教育 | 6. 子育て支援 |
| 7. 市民協働 | 8. 生涯学習 | 9. 農水産振興 |
| 10. 商工振興 | 11. 国際交流 | 12. 環境保全 |
| 13. 男女共同参画 | 14. 情報発信 | 15. 障がい者支援 |
| 16. 高齢者福祉 | 17. 文化振興 | 18. 交通基盤 |
| 19. その他（ | ） | |

問8 あなたが牧之原市役所の運営に求めるものは何ですか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 対応の丁寧さ | 2. スピード感 |
| 3. 民営化・外部委託の推進 | 4. 民間人の登用 |
| 5. 市民と行政との協働推進 | 6. 情報公開の推進 |
| 7. コストの削減 | 8. 職員能力の向上 |
| 9. 他市にない斬新な取り組み | 10. その他（具体的に |
| | ） |

<市のイメージについてお聞きします>

問9 あなたは、牧之原市を市外の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

1. 犯罪が少なく安心して暮らせる
2. 温暖な気候で生活しやすい
3. マリンスポーツが盛んである
4. 観光名所がたくさんある
5. 親しみやすい市民が多い
6. 市内に空港があり便利である
7. 特産品が豊富で、おいしいものがたくさんある
8. 農水産業が盛んである
9. インターチェンジ、バイパスがあり道路交通の便がよい
10. 商工業が盛んである
11. 景観が良好で、映画やドラマのロケ地によく利用される
12. 大手企業が多く立地し、働く場が多い
13. 子育て環境が充実しており、安心してこどもを育てられる
14. 高齢者施設が充実しており、安心した老後を過ごせる
15. その他（具体的に)

<市からの情報発信についてお聞きします>

問10 あなたは、市からの情報の中で、どんな情報を得たいと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 子育て | 2. 健康・医療・福祉 | 3. 防災・防犯 |
| 4. 道路整備 | 5. 環境 | 6. 教育 |
| 7. 産業 | 8. 生活 | 9. 文化・歴史 |
| 10. その他（) | | |

問 11 あなたは、市からの情報を何によって知ることが多いですか？あてはまるもの全てに○印をつけてください。

1. 広報まきのはら	2. ホームページ	3. 議会だより
4. 教育委員会だより	5. 新聞、テレビ、ラジオ	6. 区、町内会の会合
7. 市民グループの会合	8. 議員の話	9. 職員の話
10. 家族や知人	11. 公共施設の資料等	12. その他 ()

問 12 あなたは、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を知っていますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 13 市では、7月からSNSにより、行政情報や地域の話、市の魅力などの情報配信に取り組みます。あなたは、このサイトを利用してみたいですか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 利用したい	2. 利用しない	3. 必要があれば利用する
4. わからない		

(問 13 で「2 利用しない」と答えた方にお聞きします。)

→ 問 14 利用しない理由は何ですか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

1. 利用する手段（パソコンや携帯情報端末）を持っていないから
2. SNSの利用方法がわからないから
3. 自分の情報が多くの人に知られてしまいそうだから
4. 必要な情報が得られそうにないから
5. 他の方法で必要な情報が得られているから
6. その他（具体的に)

<公共施設についてお聞きします>

問 15 あなたは、市内で、新設・整備する必要がある公共施設はどれだと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。
(新設・整備が必要ない場合は、問 16 へ進んでください)。

1. 公営住宅	2. 高齢者福祉施設	3. 障害者福祉施設
4. 図書館	5. スポーツグラウンド	6. 公民館・コミュニティセンター
7. 公園	8. 児童館	9. 体育館
10. 保育園・幼稚園	11. 小中学校	12. ごみ処理施設
13. 火葬場	14. 給食センター	15. 消防署
16. プール	17. 市役所	18. その他()

問 16 あなたは、市内で、統合・廃止をする必要がある公共施設はどれだと思いますか？
次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。
(統合・廃止が必要ない場合は、問 17 へ進んでください)。

1. 公営住宅	2. 高齢者福祉施設	3. 障害者福祉施設
4. 図書館	5. スポーツグラウンド	6. 公民館・コミュニティセンター
7. 公園	8. 児童館	9. 体育館
10. 保育園・幼稚園	11. 小中学校	12. ごみ処理施設
13. 火葬場	14. 給食センター	15. 消防署
16. プール	17. 市役所	18. その他()

<市の活性化についてお聞きします>

問 17 あなたは、市全体の土地の利用の仕方についてどう思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 観光、商業施設などの賑わい拠点が少ない | 2. 工場用地が少ない |
| 3. 新たに整理された住宅用地が少ない | 4. 高台に住宅用地が少ない |
| 5. 公園などの憩いの場が少ない | 6. 文化・教育施設が少ない |
| 7. 空港、港、インターチェンジなどの交通基盤を生かしていない | 8. 農業基盤の整備が不十分 |
| 9. 優れた景観を生かしていない | 10. 空き地や未利用地が多い |
| 11. 住宅、工場、農地などが混在している | 12. その他 () |

問 18 あなたは、市の活性化には何が必要だと思いますか？次の中から3つ以内で選んで○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 観光施設 | 2. 大規模商業店舗 |
| 3. 工場・物流用地 | 4. 住宅用地 |
| 5. 文化・教育施設 | 6. 公園・レクリエーション施設 |
| 7. 農業基盤整備（農業用水、農地整備） | 8. 景観の整備保全 |
| 9. 防災公園、避難タワー | 10. その他 () |

問 19 あなたは、市内のどこの場所を活性化したらよいと思いますか？あてはまるものに1つ○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 両庁舎周辺の市街地 | 2. 空港周辺 |
| 3. 相良牧之原インターチェンジ周辺 | 4. 御前崎港周辺 |
| 5. 市内の高台 | 6. わからない |
| 7. その他 () | |

<子育て環境についてお聞きします>

問 20 あなたは、牧之原市はこどもを産み育てやすい環境だと思いますか？あてはまるものに 1 つ〇印をつけてください。

1. 大いに思う

2. ある程度思う

3. どちらともいえない

4. あまり思わない

5. まったく思わない

6. わからない

(問 20 で「4 あまり思わない」または「5 まったく思わない」と答えた方にお聞きします。)

問 21 こどもを産み育てやすいと思わない理由は何ですか？次の中から 3 つ以内で選んで〇印をつけてください。

1. 小児科や産婦人科などの医療機関が少ないため
2. 親子で遊べる施設や公園が少ないため
3. 医療費が無料でないため
4. 悩みごとを話せる相談窓口が充実していないため
5. 教育・文化水準が低い
6. 一時的にこどもを預かる施設が少ないため
7. 地震・津波など災害対策が不十分なため
8. 地域でこどもを育てる意識がないため
9. その他 (具体的に：)

＜牧之原市の行政サービスについてお聞きします＞

問 22 あなたは、市の取り組みについて満足していますか？ また、その取り組みが重要であると考えますか？ 該当する欄に○印をお付けください。

※取り組みによっては、あなたに直接関係のない取り組みも含まれるかもしれませんが、ご家族や知人の状況や、あなたの考えなどを照らし合わせ、いずれかの欄に○印をつけてください。

（満足度・重要度について、○はそれぞれ1つつ）

評価項目	満足度				重要度			
	満足 ←		→ 不満		高い ←		→ 低い	
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
〔記入例〕 行政改革の取り組み	1	2	③	4	1	②	3	4
みんなが主役 想いが実現するまち								
1 自治会の住民自治活動への支援（お金と人の支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
2 地区公民館などの活動拠点の施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
3 NPOの育成・支援など、だれもが安心してボランティア活動に参加できる仕組み整備	1	2	3	4	1	2	3	4
4 行政と一緒にあって、課題解決やイベントなどの事業への取り組み（市では協働を進めています。）	1	2	3	4	1	2	3	4
5 市の情報や知りたい取り組みなどについて、広報紙などによる十分な情報発信	1	2	3	4	1	2	3	4
6 行政改革の取り組み（効果的、効率的な取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
支えあい学びあう幸せのまち								
7 図書館の機能充実や図書館整備に関する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
8 生涯学習など教養を高める機会の提供 趣味などのサークル活動への参加機会の提供 （はりはら塾や田沼塾などの取り組み）	1	2	3	4	1	2	3	4
9 健康づくりサービスの推進 （介護予防、健診、スポーツ支援）	1	2	3	4	1	2	3	4
10 健康相談などの日常的な保健活動	1	2	3	4	1	2	3	4
11 福祉施設などの整備（介護の必要な方や障がいのある方が利用する施設などの整備）	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
12 こども医療費制度 (現在、中学生まで医療費助成を行っています。 基本的には1回の受診は個人負担が500円)	1	2	3	4	1	2	3	4
13 子育て支援の取り組み (放課後児童クラブや学習支援教室などの取り組み、 子育て支援センターや児童館の施設整備など)	1	2	3	4	1	2	3	4
14 高齢者への福祉サービスの取り組み (介護予防や高齢者の自主的な活動への支援など)	1	2	3	4	1	2	3	4
15 障がい者への福祉サービスの取り組み (生活支援の取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
16 救急医療体制の整備、榛原総合病院の診療体制 (平成22年3月から指定管理者制度が導入されて います。)	1	2	3	4	1	2	3	4
17 幼稚園・保育園の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
18 小・中学校施設の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
19 学校や地域で子どもを守る取り組み (軒先運動や青色パトロールなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
20 家庭や地域でのこどもたちへの教育力向上へ の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
21 伝統文化や歴史文化財を守り、活用していく取 り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
22 音楽や演劇などの接する機会の提供	1	2	3	4	1	2	3	4
23 公共スポーツ施設の整備 (グラウンド、体育館、プール、テニスコートなど)	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
知恵や技術を活かした活力あるまちづくり								
24 茶業安定の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
25 特産品の消費推進の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
26 耕作者がいないなど、荒地となった農地の対策や利活用の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
27 農漁業の担い手への支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
28 サガラメ（海草の一種）などの繁殖する藻場の復元への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
29 商工業の振興の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
30 商店街の魅力向上の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
31 空港を活用するための取り組み（情報発信や交流の推進）	1	2	3	4	1	2	3	4
32 企業誘致の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
33 起業者支援、産業雇用支援の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
34 各種イベントの開催	1	2	3	4	1	2	3	4
35 観光誘客促進のための取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
36 姉妹都市、友好都市との交流推進の取り組み（市では三戸町、松川町など、交流推進に取り組んでいます）	1	2	3	4	1	2	3	4
うみ・そら・みどりと共生するまち								
37 自然環境の保全への取り組み（活動団体への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4
38 生活環境対策などへの取り組み（ゴミの収集や処理、ゴミ減量化の啓発、資源回収への支援など）	1	2	3	4	1	2	3	4

評価項目	満足度				重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	高い	やや高い	やや低い	低い
39 風力や太陽光など、再生可能エネルギーの活用への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
40 公害防止対策への取り組み (工場や事業所に対する取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
41 自主防災組織の強化のための取り組み (防災訓練や防災資機材整備の補助など防災体制整備への取り組みなど)	1	2	3	4	1	2	3	4
42 家具等の転倒防止などの防災対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
43 震災・火災・水害・浸水対策への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
44 消防体制の整備(消防の広域化)への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
45 夜道、盗難などの犯罪防止に対する取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
46 悩みごと相談など各種相談窓口の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
47 街並みや周辺の景観・美観への取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
48 道路や河川の補修や道路や河川の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
49 道路交通の安全対策(歩道などの整備)	1	2	3	4	1	2	3	4
50 計画的な土地利用の推進 (住宅地、商業地、工場、農地など土地利用の特性に基づいた機能分担)	1	2	3	4	1	2	3	4
51 上水道施設整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
52 公園・緑地の管理や整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4
53 公共交通の充実(バス交通など) (通勤・通学など生活交通の利便性向上、日常の買い物の利便性の向上の取り組み)	1	2	3	4	1	2	3	4
54 情報通信技術(I T)の環境整備の取り組み	1	2	3	4	1	2	3	4

<最後に、あなたご自身のことについてお聞きします>

それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。

1 あなたの性別は？

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

2 あなたの年齢は？

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 | 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 |

3 あなたを含む同居世帯の構成は？（○はひとつ）

- | | | |
|--------------------|-----------|----------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 二世世代家族（親と子） |
| 4. 三世世代家族（親と子と孫）以上 | 5. その他（ ） | |

4 あなたの職業は？

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1. 農・林・漁業 | 2. 会社員・公務員・団体職員（役員含む）など |
| 3. アルバイト・パートなど | 4. 自営業 |
| 5. 学生 | 6. 主婦・主夫（家事専業） |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） |

5 現在、あなたが住まいの地域はどちらですか？

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. 相良・福岡 | 2. 波津・須々木 | 3. 大江・片浜 | 4. 大沢・菅山 |
| 5. 萩間 | 6. 地頭方 | 7. 静波 | 8. 細江 |
| 9. 川崎 | 10. 勝間田 | 11. 牧之原 | 12. 坂部 |

ご協力ありがとうございました。

引き続き、牧之原市議会アンケートにもお答えください。

お手数ですが、この調査票と議会アンケートを同封の返信用封筒にお入れいただき、お近くの郵便ポストに7月26日（金）までにご投函ください。

平成 25 年度
牧之原市 市民意識調査
報告書

発行 平成 25 年 9 月
発行者 牧 之 原 市
企画・編集 政策協働部 企画課
〒421-0495
静岡県牧之原市静波 447 番地 1
TEL : 0548-23-0040 FAX : 0548-23-0059
E-Mail seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp
<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/>